

候は、早々追出可申候事

一諸商人近年出入候者成共其商人在所亦は親類不存候は、宿貸申間敷候事

一當所生之もの他國仕罷歸候は、近年居候所改之子細無之候は、差置可申候但し當所に親類無之候は、可爲無用候事

一他處者之義は勿論同村百姓仲間に而茂少之儀成共手形取之以來六ヶ敷無之様に可仕候百姓仲間出入候は、名主五人組立合依怙無之様に取唆相濟可申候自然埒明不申候は、早々可申上候事
一不依何事他處之公事取持申間鋪候村内之儀成共脇を取持六ヶ敷仕出候は、急度曲事可被仰付候事

一村中之者何方の用事有之一夜泊り物參なり共罷越候は、其子細先々落着處迄名主組頭を爲申間可罷出候名主儀は五日成其他出仕候は、其段御代官の御斷申上可被出候事

一百姓仲間振舞構仕間鋪候祭禮佛事祝儀事成とも其身に似合候様に軽く物入り不申様に可仕候酒麵類何にて茂費成儀仕間鋪候事

一耕作念入仕附可申候新田新畑を茂地在り次第に伐開可申候獨り身之百姓相煩作等仕附申事成兼候は、郷中立合仕付引立可申候事

一馬喰仕間敷候遣馬賣買仕候は、名主五人組に爲申間買所致吟味手形取置以來六ヶ敷無之様可仕事

一近年御法度之通捨馬仕間敷候牛牛犬等之畜類病死仕候共名主五人組立合見分之上埋可申野晒川

流に捨申間敷候事

一竹木前々御法度之通堅相守可申銘々屋敷に而も伐申候共御斷可申事

一百姓跡鋪子に而茂親類に而も讓申候は、名主組頭相談仕讓可申候子何人在之候共壹人に跡爲立可申候若高多く分候は、其段御代官の御斷御差圖次第に可仕候御年貢諸役賄不成田畑屋敷質物に入れ誰に渡候共名主組頭立合致證文判形以來六ヶ敷無之様に可仕候田畑山屋敷永代に賣申間敷候事

一夜中に郷中立廻り候者在之候は、捕之致穿鑿少茂不審成もの有之候は、早々可申上候他所之者に而住所知れ候は、其所之名主組頭相渡可申候事

一御陣屋近所に火出在之候は、郷中男女不殘出合火消道具持寄燒廣げ無之様に情出働可申候少茂油斷仕間敷候事

右之條々少茂相背もの有之は名主五人組共曲事可被仰付候毎々度々御法度書之通女童部まで一合點仕候様に爲申間堅相守可申爲後日五人組手形差上申候以上

頭	小左衛門	頭	太郎兵衛
	三郎左衛門		新左衛門
	喜兵衛		平一郎
	長兵衛		平左衛門
	吉右衛門		

(註・原本では一段書きに記す)

文化四年卯三月 日

大野 伴右衛門殿
栗原久米右衛門殿

(註、右の五人組合員並びに村役人の印は凡べて名主と同一のものを捺す)

組頭	小左衛門	印
百姓代	新左衛門	印
名主	平左衛門	印

〔備考〕

- 一 所在 原本、桑原三郎氏所藏。
- 一 舊領主 高岡藩。
- 一 形式并に種類 連判原簿。

(表書)

下總國香取郡高岡領
五人組手形帳
文化二年寅三月 四津谷村

- 一 箇條數 二十五箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。

文化三年相模國高座郡新田村五人組證文 (第八十二)

五人組證文之哀

- 一 第一農業情出し万端儉を守り何夏に不寄奢ケ間敷儀不仕御年貢者□情出し相納年内限り皆済可仕候事
- 一 山林之儀御林は不及申に百姓山に而□^(もカ)猥に伐取又は枝葉等かき爲取申間敷候万一心得違之者有之候は、爲過錢と錢五百文宛々差出し可申候事
- 一 博奕三□^(笠カ)附之儀段々從 御公儀様御禁制に被爲 仰付候依之忤共又は家來等に至迄壹錢賭之勝負たりとも堅く爲仕間敷候勿論假初之宿たり共仕間敷候事
- 一 田畑山林とも先規之通相守自然境木等枯失申候節は双方の地主立合にて植直し可申候無相談に候儀堅く有間敷候事
- 一 賣地質地等證文之儀は御條目之通り拾年季に相定年明き賣主證文之通り金子返濟成兼候は、流地は本名之格式を以諸□^(夏カ)相納可申候但し質地之儀者年季之内たり共金子調候は、相互に相談合に可仕候事
- 一 聲養子相定儀者前々より能く親類相談之上五人組中組附役所へ訴可申候處近年心得違に而内證にて相定其上不宜者をも相極□譯にも相成不屈之至に候向後は□たり共無沙汰にて相極申間敷

候

- 一 萬事の作物等あらし申間敷候殊に菜大根等盜取候を見附候者爲過料と錢五百文宛々爲差出し可申候若し見通し候義相知候者可同事候事
- 一 行衛不知者に宿貸し申間鋪候縦親類縁者たりとも諸浪人を□沙汰にてかくまい置申間敷候事
- 一 道端山際之土狼に取申間敷候事并に近年不寄田畑に地主々外に道端に肥し作り候義地主難儀に罷成候間向後地主々外田畑近所に土肥し作置申間敷候事
- 一 無盡之儀前方數多く有之村方困窮に罷成候間相談之上相止め前方之分落切候迄は一切相企申間敷候事
- 一 一村中家主は不及申に忤家來等に至まで於隣村に喧嘩口論仕出し不申候様常々可申付候若し何事不限出入ケ間敷義致出來候は、近所組合致世話取斗可申候自然出入ケ間敷儀出來致候て近所組合之了簡にも不及候而出訴(を)相願□譯にも相成候は、右願人路用諸賄爲差出し可申候事
- 一 先年々くさじきの儀苗代肥に致來候依之其節役所より觸出し一同苅取候所近年心得違之者も有之候譯に付以來者役所々觸出し候は、村中一同出合役人差圖有之候間猥り無之苅取可申□
- 一 幼きを以て致相互に余慶に苅取申間敷候事
- 一 芝居之儀堅く可爲停止候其外万夏先規之通り相守り新法之儀無相談相企申間敷候事
- 一 此度惣村中相談之上大勢水揚□御仕立被成候此所先年々土留揚場有之其上に川南太郎左衛門名四畝七歩之所古來揚場に候得共連々土留場所いつとなく地窪に罷成此邊之川左右之田地惡田に

相成敷ケ敷存候土留め并上之揚場相止此所壹ヶ所に相成候然上は満水又は用水戸明け建之節は時之役人相談之上可成趣此度御定め被成候事

右之通箇條の趣少茂無相違急度相守り可申候自然此ヶ條之趣相背申者有之候は、御披露之上何分之曲事にも可被仰付候其節毛頭御恨み申上間敷候以上

文化三丙三月 日

- | | | | |
|------|-------|-----|-------|
| 惣百姓 | 藤左衛門 | 小組頭 | 十右衛門 |
| 治兵衛 | 金兵衛 | | |
| 十左衛門 | 市郎左衛門 | | |
| 源左衛門 | 彌治右衛門 | | |
| 源右衛門 | 忠右衛門 | | |
| 安右衛門 | 喜兵衛 | | |
| 三左衛門 | 久兵衛 | | |
| | 甚右衛門 | | |
| 小組頭 | | 小組頭 | 七郎右衛門 |
| 長右衛門 | | | 次郎右衛門 |
| 彌兵衛 | | | |
| 六右衛門 | | | |

御名	主殿	小組頭	源之丞	市左衛門	五兵衛	利兵衛	茂兵衛	久左衛門	作兵衛	長左衛門	嘉左衛門	新右衛門	安兵衛	伊野右衛門	小組頭	半左衛門	市郎兵衛
			平印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印	門印
															小組頭		
															小兵衛代印		

御組頭中

〔備考〕

- 一 所在 原本、桑原三郎氏所藏。
- 一 舊領主 未詳。(現、神奈川県高座郡座間村新田)
- 一 形式并に種類 連判原簿。

(表書)

文化三丙寅年
五人組證文
三月吉日
新田村 惣百姓

- 一 箇條數 十五箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。名主・組頭に宛てて提出した村内規約である。

文化十三年三河國寶飯郡一宮村五人組前書御定目 (第八十三)

差上申五人組前書

一五人組御改被仰付候に付村中家持は不及申上借屋水吞迄寄合帳面連判差上げ申候若組合不申者御座候は、御穿鑿之上急度御仕置可被仰付候且又召使等に迄五人組仲間として随分致吟味惡黨仕出し不申候様に可仕候不吟味にて惡事御座候は、組中へ御掛り可被遊候勿論五人組寄合年年組替可申候事

附五人組仲間身持惡敷田地耕作に無情成者御座候は、隨分致意見用ひ不申候は、可申上候並に徒者御座候節籠舎被仰付候者五人組之内にて朝夕給させ番等の儀急度可相勤候事

一さりしたん宗門郷中に御座候儀は不及申上何方より參り候共擲置可申上候隱置候は、一郷不殘曲事に可被仰付候由常々被仰付候御法度之趣無油斷吟味仕候猶以後御公儀様之御高札堅く相守り可申候借家借地之者召使等迄寺請狀取吟味仕候事

一博奕之儀は不及申上何にても賭の諸勝負一切仕間鋪候事

一御公儀様御用之儀何方より申來り候共如時付御配符杯先々々無遲滯相届け時付日付相違候は、曲事に可被仰付候並に御用之御觸狀不限晝夜先々々相届け可申候事

一郷中に火事致出來候は、村中壹人も不殘火消道具を持出御藏をかこひ可申候御藏之氣遣ひ無之火事に御座候は、火元を參り消留め可申候尤近郷之者も見付次第に駈付け可申候自然出合不申者御座候は、御穿鑿之上曲事に可被仰付候事

一御年貢皆濟無之以前米金共に脇々借用之方之差引仕間敷候勿論百姓仲間にも遣し申間敷候附御年貢あらぬかくだけ青米死米無之様且又繩俵念入榊取之者年々引替可申候事

一御年貢御割賦御渡し被成候は、村中惣百姓立會無高下致勘定被仰付候日限に急度皆濟可仕候御年貢納所仕次第に庄屋方より手形遣し可申候勿論庭帳に付置可申候不念仕後日に出入無之様可仕候若火事盗人に逢申候歟又は、惡敷罷成候は、郷中に急度相辨可申候事

一郷中掛り物何にても御年貢を割入申間鋪候其時々各別に割を致埒明可申候惣而郷中入用掛り物其年々の分明細に帳面仕立御役所へ持參仕御奥書御印形取置可申候事

一田地荒不申候様可仕候若作面之所餘り候は、毎年正月中に御役所へ可申上候左様に無之荒申候は、御年貢之儀は世並に御取被成其上曲事に可被仰付候且又五人組仲間にて申合耕作に精を入可申候若農業之時分相煩申者御座候は、五人組仲間にて助合可申候

附男女共に常々相應に持可仕候事

一御林之竹木盜取申間敷事並に百姓四壁等迄念入相定可申候四壁にても家作等仕不叶入用御座候節は御山奉行を奉願御指圖を以伐取可申候事

一堤河除池井堀等正月十日迄に御役所へ御願申上得御指圖可仕候御普請人足御觸狀之通り不足無之様罷出可申候並洪水之節は川筋之儀は不及申上堤雨池等心を付け晝夜にかぎらず庄屋組頭人足召連れ罷出情出し防可申候事

一郷村水論之儀先規之例を以兼て相定用水之所御座候は、爭論無之様田地渴水不仕候内に可申上理不盡に水引申間敷候事

一古荒起返切添等御座候は、壹畝壹歩も無隱可申上候若隱置申候は、曲事に可被仰付候由奉畏存

候事

一一〇四

一田地屋敷年季を定質物入申候は、庄屋組頭加判仕候而双方證文取かはし可申候それも拾年より永年季に入申間敷候質物に預け申儀庄屋五人組私曲を構へ加判不仕候は、御役所へ可申上候惣而田地永代に賣候儀御法度之由奉畏存候事

一身分不罷成百姓を理不盡に追出し候て其跡之田地持添に仕間敷候又死失申百姓の田地は早速御役所へ御註進可申上候並に百姓子供之田地分け仕候共無考少高なる田地分けくれ申間鋪候庄屋組頭相談之上に可仕候並に百姓跡式之儀不(依)老若病中に親類打寄念入書付致置其趣庄屋組頭を爲申間加判取置可申候事

一往還之道者不及申上田畑通行道筋被仰付無之共惡敷所御座候は、作り直橋等落申候は、掛直し可申候事

一御役人方郷中之御出之節一汁二菜其外御馳走がましき事仕間敷候之旨附御役人方御手代衆御足輕中並に庄屋組頭郷中之無理成御借物又は御貨物或は押賣押買無躰成御作法御座候は、急度可申上候事

一百姓仲間公事出來候は、庄屋組頭能く遂吟味内證にて相濟可申候若落着難成事に御座候は、證據之書付仕庄屋組頭同道にて御役所へ可申上候庄屋組頭を相手に仕候は、五人組仲間にて證文持罷出候事附り他領と出入有之候は、其子細書付を以御指圖次第に可罷出候事

一百姓家作結構に不仕境目海道を少しも建出し申間鋪候或は居屋敷の堀を廣げ埋出し用水を留め

先々致迷惑或は田畑の障に罷成候處を竹木を仕立指柳等仕候は、其者急度曲事可被仰付候旨奉畏存候且又川除け堤にて芝猥にきり申間敷候事

一村中盜賊又は喧嘩有之時は鳴を立棒を持出とらゑ置早速御註進可申上候他所より參り候盜人雜物見出し先様より其届け有之候は、庄屋五人組立會詮儀仕埒明け可申候縱令如何様之者申來候共疎略に仕間鋪候且又他所より參り候手負並に行衛不知者路次にて相果候は、雜物之品々庄屋組頭立會相改是又早速御註進可申上候附怪敷者に一夜之宿も貸し申間敷候事

一當村之百姓他所を參り候は、庄屋五人組を立御役所之得御意可罷越候男女共に不得御意何方へも奉公に出申間敷候事附他領より參候浪人者村中に差置申間敷候乍去由緒慥にて村の用にも立申ものに候は、得御下知差置可申候事

一印形の替り候歟又は拾申候は、早速庄屋組頭を相斷可申候仲間にて印形の借り貸し仕間敷候庄屋組頭印形の替り御役所へ可申上事

一衣類之事名主は絹縮布木綿脇百姓は布木綿斗着可申候万事百姓不相應之奢り仕間敷候附り佛事祭禮嫁娶之儀儉約を相守分限より輕可仕候事

一百姓他領より嫁娶又は養子入聲取候共宗門等念入相改先村之名主より手形取申上候而呼取可申候事

一輕重によらず御奉公人之對し百姓慮外仕間敷候且又庄屋組頭を不禮仕間鋪候事

一元文五申之年從 御公儀様御改被仰出候趣は村々年中諸入り請拂方帳面を以相改庄屋年寄立會

一一〇五

遂勘定惣百姓方えも明細に爲讀聞出入無之從双方印形取かはし置候御役所え宗門人別御改之節
 事濟候段書付差上げ可申候右之思召は定たる事に候得共年々之儀無念致出入に罷成候事間々有
 之候向後入念其旨可相守候由被仰渡奉畏候若違背仕候は、如何様の曲事に成共可被仰候事
 右之趣被仰出候間向後急度相守年々勘定無相違候宗門人別御改之節書付差上げ可申候事
 右之通郷中御法度之儀被仰付候御箇條の趣奉拜見候

文化十三年

子閏八月吉日

〔備考〕

- 一所 在 司法資料、第十七號、一六一頁。
- 一舊領主 未詳。(現、愛知縣寶飯郡一宮村一宮)
- 一形式并に種類 不明。
- 一箇條數 二十六箇條。
- 一内容并に系統 系統未詳。

文化十三年武藏國多摩郡落川村五人組書上帳 (第八十四)

一前々從 御公儀度々被 仰出候御法度之趣彌以堅相守御制法之義不相背候様村中大小之百姓子
 供下々迄急度可申付候事

- 一五人組最寄次第家五軒宛組合子供下人等地借り店借り之もの迄惡事不仕候様に組中常々無油斷
 可令詮義候若し不埒成もの有之候て名主組頭之申付を茂不相用候は、早速可訴出候之事
- 一宗門帳之儀前々被 仰出候通三月迄之内相改可申候若し御法度之切支丹有之候は、早速可申出
 候
- 從 御公儀被 仰出候御高札之通人別相改宗門濟候而後召抱候下人等寺請狀別紙可取置候事
- 一御年貢皆濟不仕以前穀物一切他所に申出申間鋪候拂米堅可致無用候自分之金銀差引等に至迄決
 而無用以外に金銀取散申間鋪候能米を賣替義者勿論何分粉米等無之様米拵致し繩俵拵迄諸事定
 之通入念可納候事
- 一御鷹御用之義先達而組合村々相究候由右之村々御用御手支無之様可仕候惣而御用場之内は不及
 申鳥捕賣買等も仕間鋪候事
- 一博奕之儀は不及申惣而賭之諸勝負三笠附取退無盡等一切不仕候様村中申渡候若し右躰之義宿
 仕候もの有之候は、早速注進可申候事
- 一拾石以下之百姓私に分地分家仕間鋪候無據分地分家仕候は、村役人相談之上可申付候事
- 一用水川除御普請之節朝五つ時罷出夕七つ半時迄隨分情出し口論等不仕候様取圍可申候事
 附り御普請之節不參人足有之候は、五人組之内に而可致吟味候事
- 一御料私領御用傳馬人足相當候は、無間違相勤可申候事
- 一田畑永代賣買一切致間敷事

一 田畑屋鋪共質入に致候節は名主五人組加判可致候年季は拾ヶ年を限永年季に書入申間鋪候以來
 五人組無加判に而質に取候義決而致間鋪候事
 一 小百姓死失候跡相續之もの無之候共五人組打寄相續致不潰様に可取斗候若し手段付難候は、村
 役人の申立可請差圖候事
 一 不拘男女欠落もの郷中の參り候は、押置早速可訴候浪人致候由申聞候は、村役人寄合穿鑿之上
 儘成證人有之筋分候は、差置可申候事
 一 家業を茂不勤節、致遠出博奕其外賭之諸勝負を好み候者惣而不似合衣類等を着し平日不審多き
 もの有之候は、早速可申上候事
 一 假初に一夜泊りたり共其行先用事之子細五人組の斷可罷越候事
 一 小百姓煩候而耕作成兼候節は五人組に而助合作り田畑不荒様可仕候事
 一 祭禮佛事等彌輕執行可申候事
 一 百姓衣類縮紬木綿麻布此内を以分限に應し妻子共着用致し下男下女は帶等迄布木綿可用候事
 右者從 御屋鋪様被 仰出候通宗門人別五人組村中
 御公儀様御法度之儀何に而茂惡事ケ間鋪義仕間敷候依之村中得心之上印形仕差上申候然上者御箇
 條之通急度相守可申候若し此上違背之もの有之候は、如何様之御仕置に茂可被 仰付候以上
 文化十三年三月
 庄左衛門 平右衛門
 儀次郎 與五右衛門

紋之丞 只 八
 彦右衛門 三 次郎
 右之通五人組前書被 仰付大小之百姓奉承知則組合仕差上申候處相違無御座候以上
 文化十三年三月 落川村

大久保矢九郎様
 御役人中
 名主 政右衛門
 組頭 三之丞
 由太郎

〔備考〕

- 一 所在 原本、桑原三郎氏所藏。
- 一 舊領主 旗本大久保忠方。(現、東京府南多摩郡多摩村落川)
- 一 形式并に種類 村控。

(表書)

是迄御改々書上候下書取用可申事
 文化十三年
 五人組書上帳
 子三月 武州多摩郡
 日野領
 落川村

一箇條數 十八箇條。

一内容并に系統 系統未詳。

一一〇

文政三年出羽國村山郡大沼村山御法度五人組帳 (第八十五)

- 一從 御公儀被爲仰渡候御條目勿論自往古一山御掟道御下知之趣不寄何事急度相守可申御入組不申様隨分念入寺家御門前御持抱御百姓縁組等に至る迄紛敷無之様古來之通堅相守可申御事
- 一強訴徒黨大勢寄集一列仕候儀前々より御制禁御座候決而五人組之外大勢相集候儀仕間敷候平日遊日に無之時節無謂ぶら付居申間敷候御事
- 一賭之諸勝負博奕道重御法度候宿仕候者は勿論其場に罷在候もの共迄同罪曲事可被仰付候平生五人組仲間にて相互吟味仕可申候若見逃に仕及露顯候は、五人組共に急度御咎可被仰付候御事
- 一對往來旅人狼藉ケ間敷儀仕間敷候別而帶刀人へ乗打又は無禮之振舞仕間敷候御事
- 一出火之節御朱印御録所御祈禱所へ早速相驅付可申候其外の者共火元へ驅付相防可申候自分の身構決而仕間敷候勝手を構へ不働之者後日急度御咎可被仰付候自身番夜廻り暮六ツ時より明六ツ時迄山中不殘相廻可申候隣村出火等も候は、早速御注進可申上候御事
- 附山野へ無謂亂(亂)に火を付申候者は御定法之通過料可被仰付候相互亂見逃に仕間敷不時之溢物參り狼藉に及候は、早速相集取計可申候何も早鐘次第無遲參驅付可申候御事

- 一 一山家督相續之義先規々被仰渡候通奉請御下知相續可仕候尤他出之節者御届申上可罷出候御事
- 一 一寺家之面々御朱印御文言通御別當所より御配分申請月次三ヶ度御祈禱相勤め候儀に御座候得者一坐たりとも無解怠出勤可仕候若闕坐及度々候は、古來之通可被仰付候御事
- 一 一御社中御寺内御普請傳馬人足古來之通被仰付次第無遲滯急度相勤可申候御事
- 一 附惣普請之節者前々之通二番螺に相揃三番螺に不殘打立可申候無謂不參仕候者は御定法之通過料可被仰付候若佛事又者親類に不幸等御坐候は、其旨御届可申上候御下知無之吾儘に退出仕間敷候御事
- 一 一垣柴四負薪伐木は勿論其外被仰付候通知先規御觸次第急度相納可申候御事
- 一 一御社林之義別而手入堅不仕差置申間敷候御事
- 一 附神池之邊に而山の芋決而堀取間敷候毒もみ川狩惣而殺生等亂成儀仕間敷候御事
- 一 一自先規御留林之義者山伏峠若神子山神中峰水頭山圓頂山洞圓山横澤山地獄澤山花ノ外山花藏山松坊山右之通堅手入仕間敷候御事
- 一 一大野地伐苧壹通者格別新開苧野畑等仕候節は古來通御願申上其年之物成を以て五斗俵に付三升つゝ御年貢急度上納可仕候亂に苧野畑決而仕間敷候御事
- 一 一水林之義は自分々々之林足共水土之木は猥に伐取間敷候御事
- 一 一當山參詣之道者へ食物商仕候儀は勿論何茂差支相妨申儀決而仕間敷候御事
- 一 一當山へ參掛り候者行幕宿相願候而御役人中より御差圖有之候は、壹人足共無遲滯可仕候若人馬

一一一

入用之儀御坐候節者被仰付次第無遲滯差出可申候賃錢の義者御差圖に御任請取可申候御事
一御追放之者又は無謂當山立退候者決而登山申候共宿申間敷候若後日に相知候は、急度可被仰付候御事

一他所より参り候浪人者縦へ存候者足共猥にかくまひ置申間敷候乍去無據筋に而欠込候者御坐候は、其品得と相糺御披露之上一夜足共御差圖を請相計可申候御事

一毎年出入仕來候諸職人之外遠國他領之外懸商或は渡商賣躰之者就中行衛不知紛敷者登山致候而宿相願候共堅逗留爲致間敷候無據方々添書持參仕候は、御役所へ相達取計候御事

一地論口論不限惣而及諍論公事に取懸候とも双方之組合立入幾重にも取扱内々を以て相濟可申候若不得止事出訴に及候は、其品書付を以て御願可申上候双方御糺之上御下知被爲仰付次第急度相守可申候御事

一諸役錢御割合小走を以て御取立之節兩度に及ひ候は、借替候ても無滯早速御上納可仕候少も延置申間敷候諸割合之儀は御役元に無之宅にて猥に割合仕間敷候御事

一置忘物落物拾候は、其主得と相糺相返可申候奸曲を構へ隱置後日相知候は、急度可被仰付候御事

一米酒性合不宜物を持參致し不都合の直段を以て賣買仕間敷候尤御渡櫛を以て賣買仕櫛目不都合仕間敷候酒替之節は御披露之上御下知を得直段相立可申候御神事御節句等之節は御神酒獻上可仕候其外諸商物世間相應に直段賣買可仕候御事

一面々召使候下人共之儀行跡御定法通り急度晝夜無嫌大切可相勤候惣而穀物之類或農具等に不限酒代等之價致持參質入等に仕候共其主人へ相對無之少足共請取置申間敷候自分之勝手を專に請取候は、急度可被仰付候御事

一古來御掟之通御配分之外立萱立漆仕間敷候尤分附之所に於て立萱苜取申間敷候立漆木實吾儘に拾ひ申間敷候秣苜取候節作物有之畑へ馬引込附落亦は朝草等分附萱野苜取申間敷候馬遣候者面々能々申含差置可申候若相背候は、過料可被仰付候御事

一田畑諸作物盜取候者御座候は、御糺之上急度可被仰付候遠屋敷菜園菓物に不限樹木の實足共其主に無斷決而手入仕間敷候御事

一諸田畑山崩川欠或は變により水不足致し無據筋にて相荒候儀は格別修理不情に而相荒候儀決而仕間敷候青苧自然に失候儀は格別勝手を以て堀返植込野畑に仕候儀堅く仕間敷候御事

一青苧畑或は作物有之候畑通路に致常用相達踏荒候儀甚不宜若通路仕候者は過料可被仰付候先規より馬通路に無之通決而馬引申間敷候尤他所の者共へ畔道裏道教へ通し申間敷候御事

一居屋敷前通路之儀は春秋毎に自分々々普請仕足共宜しき様相拵通路可仕候若自分之普請に出來兼候は、得御見分道せばめ申間敷候御事

一居屋敷は勿論田畑畔境猥に堀掠取申間敷候若不得止儀御坐候は、得御吟味可奉御下知請候人之地先に於て土肥又は塊等猥取申間敷候御事

一青苧之儀越苧又は拔賣拔買仕間敷候商人登山仕候は、宿先立之上商賣可仕候私之取計決而仕間

敷候御事

一 雇日雇之儀は御掟の通召使可申候吾儘私之取計仕間敷候御事
 一番水之儀は先前之通御定不相亂分水を以て用水仕吾儘に取計決而仕間敷候御事
 一 前々より相勤來候稻番又は山番等被仰付候次第急度相勤可申候御事
 一 柔和を專一として禮儀を以て相交喧嘩口論大酒醉興之振舞相慎別而主人に忠を盡し父母に孝行を專に仕夫婦兄弟朋友睦敷家業を專要に仕決而奸曲ケ間敷儀仕間敷候御事
 右御條目從古來毎年被爲仰渡候通一々承知奉畏候然る上は御掟道急度相守可申候少茂相違無御座候若違背候者如何様の越度にも可被爲仰付候仍之御請連印一同證文差出候處仍而如件
 文政三庚辰年六月
 五人組頭

山主 御役人衆中

前書御條目通一々吟味之上一山一同連印取揃奉指上候處少も相違無御座候間奥書印形仕奉差上候以上

大沼山主 御別當

年 寄 役

御本坊所

〔備考〕

一 所在 山形縣史、第三卷、五二四頁。

一 舊領主 大沼山大行院。(現、山形縣西村山郡大谷村大沼)

一 形式并に種類 不明。村控か。

一 箇條數 三十四箇條。

一 内容并に系統 大行院領内獨自のものか。本帳により寺領の支配の様子が窺はれる。

一 備考 縣史には表題の名稱はなく「村山郡大沼村五人組頭連署、大沼山大行院と公儀以下の諸法度を遵守せんことを約す」とある。「山御法度五人組帳」は前掲近江國御上神社領内もの(第九)に做つて編者が假りに附したものである。尙、縣史の記載では片假名を使用してゐるが、本書では便宜上これを平假名に改めた。

文政三年安房國朝夷郡磴森村五人組御改前書 (第八十六)

五人組御改前書

一 今度五人組御改付親類縁者中能者計組合不申大小之百姓致詮儀組合借屋水吞等之者は下組仕惣而村中に徘徊仕候者不殘此帳面に記跡々被 仰付候御條目御法度之趣度々被仰渡候旨相守可申候御事

一 一切支丹宗門之儀毎年堅御改被仰付候得共彌以此度右之宗門并不施非典宗迄御穿鑿に付村中地借店借召仕之者并出家社人山伏行人虛無僧鉦扣其外□□乞食非人等迄不殘吟味仕候得共怪敷

宗門又は以前御法度之轉宗門壹人茂無御座候若村中宗旨不知者罷有候を隱置脇々訴人御座候は、當人五人組は不及申村中大小之百姓不殘如何様の御仕置に茂可被仰付候御事

一 召仕之男女宗旨之儀者念入相改寺請狀請人方へ取置候由請狀に爲書入手形取置可申候譜代之者之儀は男女共に且那寺相極手形取置可申候御事

附男女奉公人請に猥に立申間敷候若請に立不申候而不叶子細候は、儘成下請取請人相立可申候無下請請に立申候は、曲事可被 仰候御事

一行衛不知者一夜成共宿借申間鋪候怪敷者は不申及親類縁者好身之者たりといふ共從他所窄人いたし來候は、名主長百姓致僉儀儘成者證人に立手形取置其上御披露仕差置可申候御事

附遊女之類御法度被 仰付候通堅相守差置申間敷候若隱置露顯仕候は、其者は不及申名主五人組迄何様の曲事にも可被 仰付候御事

一 用所御座候而他國へ罷越候か又は奉公に罷出し候儀は不及申佛神參詣仕候は其子細名主五人組方へ相斷可參候名主儀は御代官様へ申達可罷越候無其届け他所に罷越夜泊り仕常々身持惡敷不見届け者候は、早速御披露可申上候御事

附用所なくして他所より來る輩村中指置申間敷候御事

一 喧嘩口論出來候は、所之者出合相留埒明可申候親類縁者に候共荷擔仕間敷候若内々にて不相濟儀に御座候は、双方申分有躰に可申上候勿論手負之者候は、早速可申上候御事

一 往還之旅人喧嘩仕人を切立退申候節所之者出合留置御注進可申候若切拂逃候は、先々落着所付

したい相斷其上早速訴可申候御事

一 往還之旅人其外他所之者郷中へ參煩候敷或者あやまち仕先の參候事成がたく候(者能く看病仕先へ送届可申候若し快氣難成躰に御座候は、乞食非人等によらず在所等委細承届け早速御注進申上御差圖可申候相果候は、彌以御注進可仕候尤諸道具有之は名主長百姓立合相改置御注進可申上候御事

附行衛不知死人御座候は、是又早速御注進可申上候御事

一 不男女依欠落者郷中へ參候は、留置早速可申上猶以先々構有之由に候は、如何様成輕もの申届け候とも留置即時名主惣百姓寄合僉儀仕其品申上得御差圖埒明可申候御事

一 村之儀は勿論雖兩隣村惡黨有之時分はなりを立可申候其節出合召搦可申候惡黨之者郷中堂宮山林にからまり又は不審成者見出し候は、郷中之者相談仕搦捕御注進可申上候自然捕申儀不罷成候は、何方迄茂跡を慕落着所へ斷召搦可申候如何様成者に候共殺申間鋪候出家社人山伏行人虛無僧鈕扣□□乞食盜人之宿仕又は同類も可有之候や常々僉儀仕怪敷儀候は、早速可申上候御事

一 村中之百姓所盜人入候は、被取候雜物之品々委細書付早速可申上候他所を盜人之届け又は被盜候雜物見出し其届け有之候は、名主五人組立合僉儀仕埒明可申候如何様成輕者申來候共疎略に仕間敷候致油斷若し其盜人欠落致候か斷之雜物紛失爲致候者其者は不及申名主五人組曲事可被 仰付候御事

附り輕者見付候共其段名主五人組へ相斷御注進可申上候

- 一 不依何事に郷中御穿鑿之儀に付 御公儀様御役人衆御出候は、御尋之品少茂無相違可申上候尤書付上げ申候は、其通寫留早御注進可申上候若又怪敷難見届者書付出し候様にと申候者其趣御披露仕御指圖次第に可仕候如何様之儀を申候共金銀米錢等遣仰申間鋪候振舞も仕間敷候御事
- 一 御傳馬人足之儀は前被 仰付候御法度之趣相守人馬無遲滯相立可申候御事
- 一 御公儀様御用之儀は勿論御屋敷様御用之御配符等先々送り相届け或は日付時付違候は、持送り之者は不及申名主年寄百姓曲事可被 仰付候

房州磴森村

〔備考〕

- 一 所在 原本、桑原三郎氏所藏。
- 一 舊領主 旗本東條氏。(現、千葉縣安房郡北三原村磴森)
- 一 形式并に種類 轉寫本。

(表書)

文政三年
五人組御改前書
辰六月日 磴森村

- 一 箇條數 十四箇條。(原本、第四條・第九條・第十二條には「一」がないが、寫脱と見て編者がこれを補つた)
- 一 内容并に系統 系統未詳。村の自警自衛に關する條項が大部分を占め、これに公用の尊重に關する條項を二箇條添へてゐる。尙本帳は、天明九年安房國長狹郡横尾村五人組帳(第四十四型)第一條―第二十八條と符合する點が多い。

文政五年三河國碧海郡今川村條目 (第八十七・一號)

定

- 一 從 公儀前々被仰出候御條目は勿論追々被仰出候御法度之趣堅相守御制禁之儀少茂相背申間敷事(第一條)
- 一 親に孝行仕子を憐兄弟諸親類睦敷夫婦中能可仕事(第二條)
- 一 町在々に親孝行成者有之歟すぐれて人柄能もの有之候は、可申出事(第三條)
- 一 慈悲を専らに致し何事によらず非義成仕だらく仕間敷事(第四條)
- 一 百姓に不似合藝能を好み身持惡敷奢る儀惣て偽々間敷儀不仕諸事正直正路にいたし農業家業專要に情入可申事(第五條)
- 一 町在に人柄惡敷者有之候は、異見仕人柄能成候様可仕候至て人柄惡しく惡黨者有之候は、可申出候吟味の上急度可申付事(第六條)

- 一 町在常々火之元大切に入念風烈敷節は不限晝夜裏屋迄も相廻り可用心事(第七條)
- 一切支丹宗門並類族御制札之通急度相守大小之百姓水吞借家店借召仕之男女並出家山伏行人虛無僧鉦たゞ其外□□番非人乞食等に至迄銘々宗門相改每春宗門人別帳檀那寺印形取之三月迄に可差出候万一不吟味に仕御制禁宗門之者有之候段脇より相知候はゞ本人は不及申召仕は其主人並庄屋組頭可爲曲事候事(第八條)
- 一 町人百姓仲ヶ間組合之儀家並又は向寄次第五人組合所により五人組合難成分は四人六人組にも相定置御仕置筋其外被仰出候儀共常々堅申合相守可申候若五人組之内御法度を背惡事仕候者有之候はゞ村役人え相届組之内より可申出候組の内より不申出他所脇より相知候はゞ其組不殘可爲曲事候若又他組成共御法度を背惡事仕候もの有之候はゞ可申出候其品により御褒美可被下候或は同類親類縁者等怨を可成と存隱置不申出に於ては可爲曲事候尤訴出候とて怨不致候様取計方有之候事(第九條)
- 一 他所より召抱候年季男女一季居之者共出所相糺宗門之儀は別て入念相改寺請狀取置候旨請狀之爲書入請證文取置譜代之男女は且那寺相極是又入念寺手形取置可申事(第十條)
- 一 朝廷御用之儀は勿論被仰出候御用不依何事不限晝夜無油斷時付日限違不申候様相勤可申候配符並村繼之御用物相通候はゞ先々え相届時付之手形取置可申候若遅々仕候はゞ可爲越度候事(第十一條)
- 一 年貢割付出候はゞ庄屋組頭惣百姓立會披見之上勘定可仕候若百姓に隠し庄屋自由にいたし割付候はゞ即時に可申出候事(第十二條)

- 一 年貢米金銘々百姓前より取立候節庭帳を付置百姓壹人限り通帳に米金共書記し庄屋押切印形いたし相渡可申候且又年貢米之儀隨分撰立あらひへ青米死米われ米等無之様仕立穀取改之上にて俵え入中札に何之御年貢米四斗入刈谷領三州碧海郡何村米主誰庄屋誰組頭誰舛取誰改何之誰と相認何れも印形いたし俵え入差札にも何之御年貢米四斗入刈谷領三州碧海郡何村米主誰と表に認裏に改何之誰其下に舛取誰と認郷藏を納晝夜共に番人附置可申候俵拵之儀能干立候藁にて二重菰かゞり繩等能すり隨分入念可申事(第十三條)
- 一 郷藏之儀毎年收納前に破損之處有之候はゞ修復仕下敷等丈夫にいたし米惡敷不相成候様可致候米納候はゞ庄屋組頭見廻り盜賊出火等之手當申付置下知次第附送相納可申候若下敷薄米惡敷相成候か雨もりにて米捨り候か火事盜人に逢候か如何様の儀有之候て紛失米有之候共百姓損失仕急度辨納可仕候郷藏近所火事出來候はゞ村内は不及申隣郷に候共男女不殘馳着防可申候若不情にて遅く參候者有之候はゞ百姓仲間にて致穿鑿急度可申出事(第十四條)
- 一 田畑壹歩之處成共荒し申間敷候永不作之所は不及申野原成共田畑に可成處有之候はゞ訴出開發可致候惡地逆も荒し置申間敷事(第十五條)
- 一 新田畑開發候節は訴出改請作毛仕付年貢可相納候若新開之田畑起し候ても不訴出作取に仕候はゞ其地主答申付訴人致し候者に田地割あたへ可申候他領境紛敷は不及申川筋之附寄洲を新開に取立候儀は勿論葭真菰植出申間敷候右等の儀は寛政十二申年從 公儀被仰出候趣急度可相守事

(第十六條)

一五人組一札其外書物押候印形取替申間敷候若印形彫替又は致紛失候は、判鑑差出置可致所持事
(第十七條)

一書物に印形仕候儀有之候て庄屋方より相觸候は、小百姓銘々印形致持參書面之趣見届聞届判形
可仕候印判之儀は人にあつらへ遣申間敷候自然其身相煩歩行難叶節は親兄弟慥成好身之内にて
判形爲持遣可申候尤庄屋方に少しの内も印形留置申間敷事(第十八條)

一欠落又は死去退轉仕其外潰百姓之類其跡之田地持添いたし候事御法度に候間由緒を糺候か其外
相續之者極候儀村中相談之上百姓を仕付壹人之跡は其儘相渡可申候所之了簡に不相成候は、田
地屋敷目録にいたし差出可申候若右潰百姓之跡四壁等荒し田地持添我儘に仕候者有之候は、村
役人は不及申五人組其外及見聞候者可申出候事(第十九條)

一毎年申渡無之候共道橋入念作り可申候往還之儀は不及申脇道作場道にても田畑え切入道を迫め
申間敷候並堤川除を切田畑え仕出し作仕付申間敷候若堤川除道堀等を迫め田畑え切入候もの有
之候は、可爲曲事尤庄屋組頭可爲越度事(第二十條)

一川除並水留置候所我儘に切落し申間敷候不切落候て不叶候所有之候は、訴出可申候利害吟味を
請候上落し其場所丈夫に築可申候龜相に仕水出候時分押切候は、可爲曲事候事(第二十一條)

一水出候時分大川谷川内堀に水あまり田地損候は、庄屋組頭長百姓立會見分仕所人足を以當座に
普請可仕候若大造成損候は、早々可申出可遂吟味候其時分不申出重て田畑損候由申出候共年貢

無難之積り申渡庄屋組頭可爲越度事(第二十二條)

一急水にて堤川除防並盜賊狼藉者有之鳴を立候は、拾五歳以上六十歳以下之男は不殘罷出可申候
若其場え不出合候は、庄屋組頭遂吟味早速可申出事(第二十三條)

一火事出來候は、郷中之者火消道具を持馳着情出消可申候若出會不申者有之候は、穿鑿之上可爲
越度事(第二十四條)

一盜賊押入並惡黨者有之候て鳴を立候者有之候は、郷中出會搦捕可申候並堂宮山林等に怪敷者隱
れ居候を見出候は、郷中相談仕搦捕早速訴出可申假令如何様成輕き者に候共打殺候儀は勿論打
擲等にて堅仕間敷候事(第二十五條)

一大小の百姓は勿論神社山伏浪人行人虛無僧其外□□非人乞食等之内にても盜賊惡黨者之宿一夜
にても仕候か又は惡黨者之同類等有之候は、早速可申出事(第二十六條)

一諸普請の節賃米人足並扶持人足等遣候は、右扶持當座に割渡庄屋方え受取證文取置可申候右扶
持方を以諸役出方に引繼可申と庄屋申候は、百姓方より可訴出事(第二十七條)

一不依男女欠落者郷中え參候は、捕置早速訴出先々より構有之由届出候は、致詮儀申出得差圖埒
明可申事(第二十八條)

一手負之儀は不及申郷中にてあやまちいたし疵出來候もの早速可申出事(第二十九條)

一宿方旅籠屋は勿論其外村々にて宿取候旅人相煩候は、其所の庄屋組頭立會醫師を掛け療治を加
へ其者之名並國所等承届早速届出可申候右旅人早速快無之趣に候は、其者之在所之村役人等に

申遣親類呼(相脱カ)寄談之上可任存寄若療治も不加宿繼村繼杯にて送出候儀顯るに於ては旅籠屋問屋年寄村々にては宿いたし候者村役人可爲越度候右之外通り懸り相煩候旅人も宿村役人立會醫師を懸け療養を加へ勿論懷中往來手形有之か相糺早速届出可申候右病人早速快無之趣にて在所え歸度候得共路用貯無之間送届吳候様申候は書付取之訴出差圖を請右病人頼之趣を認相添次之村え駕籠にて送り次の村にても病人様子次第爲致服藥同様取計次の宿村え送可申候若途中にて相果候は次の村え不繼送早速届出得差圖を其處に假埋いたし置其者の在所親類村役人懸合候上其所に葬候共望に任すべし道心者廻國の類懷中に何の國にて相果候共其所に葬候様本寺觸頭其在所の親類等慥成書付有之候は其旨申出差圖を請可申最初より行倒相果候節も同様の事(第三十條)

一 喧嘩口論杯出來候は其近邊の者早速出會差留庄屋組頭五人組立會埒明可申候たとひ親類縁者又は日頃中能者たり共荷擔仕間敷候若内々にて不濟候は双方申分承届書付にいたし可申出候且又喧嘩口論有之場え無用の者馳集候儀堅仕間敷事(第三十一條)

一 親類縁者に候其他所の者人主又は請に立申間敷候郷中もの奉公に出候は親類縁者庄屋五人組の内請に立年季の内如在なく奉公相勤候様兼て可申付候若不意の儀有之候て六ヶ敷儀有之候は人主請人立會急度埒明可申事(第三十二條)

一 御林御立山の竹木は勿論枝葉にても伐採申間敷候若猥に伐採候もの於有之者其者は不及申庄屋組頭五人組迄可爲曲事候事(第三十三條)

一 百姓の持山寺社の山林並四壁の竹木たり共伐採候節は員數廻り寸尺等書付を以願出見分請可申事(第三十四條)

一 町在共五人組(天ノ彌)之儀深堅申合耕作家業可情出候耕作仕付け時分相煩候もの有之候は仲間助合荒し不申候様可仕候惣て耕作不情いたし候者有之候は異見を加へ夫共用い不申候は庄屋方へ相斷猶又急度申聞其上にても不埒に候は其旨可訴出男女共作間は相應の稼いたし可申事(第三十五條)

一 鉄炮之事前々之通御法度之趣堅可相守候勿論無謂所持いたし申間敷候若他所より來盜鉄炮打候者有之候は其鉄炮取上押置名所等承糺早速可訴出候猪鹿鳥類田畑作毛荒し候節とし鉄炮之儀は申出次第貸可遣事(第三十六條)

一 博奕三笠附前々より御法度に候條下人等に至迄急度申付假初にも賭之諸勝負爲仕間敷候若於相背は同類悉く令詮議宿仕候者並庄屋組頭五人組可爲越度事(第三十七條)

一 月待日待或は講組名附商に事寄人集いたし何にても賭之諸勝負相催申間敷事(第三十八條)

一 未進仕候者於有之は其者之暮し方人馬之數相改且又前々も未進仕候か以前庄屋庭帳を以遂吟味委細可訴之吟味之上答可申付事(第三十九條)

一 質地の儀は村役人急度相改二重質入不仕其外御定之通相違無之様取扱可申候村役人之質地は役人仲ヶ間隣村庄屋可爲加判事(第四十條)

一 御朱印地之寺社領田畑質物書入候共取申間敷候假令證文等慥に有之候共御朱印地之寺社領一切

取申間敷候並御黒印寺社地百姓御除地も可爲同前事(第四十一條)

一前々より御法度之田畑永代賣買彌以堅仕間敷自然相背出入の節相知候は、右田地取上賣主買主可爲越度事(第四十二條)

一野山論水論の類立會相糺候儀村一同の儀に候は、村中相談の上可取計事(第四十三條)

一徒黨並逃散等の儀前々御法度の事に候條急度相守若願之儀有之候節は其者並村役人差添可願出候万一村役人に對し申分有之訴出候節は五人組之内申合可申出事(第四十四條)

一不依何事致頭取公事をす、め偽を巧人の害をなし村中の難義を仕出し候不埒者有之か又は神水を吞誓紙を書一味徒黨ケ間敷儀企候者有之候は、早速注進可仕事(第四十五條)

一於町在何事によらず小前の者共申談候儀有之ば五人組頭の者共相互寄々咄合候儀は格別然るを小前一同其所の社地或は寺院又は山林其外等に多人數事ケ間敷打寄談合など致候儀は有之間敷事に候右躰心得違致候に於ては吟味の上其申談の理非に不拘寄合候頭取は不及申組合の者迄急度答可申付事(第四十六條)

一公事訴訟事有之節村役人共遂評議利害隨分申聞内々にて事濟候様可致候乍去片押成儀決して不可取計理非分明令相談相濟候様可取計候若内濟難成儀に候は、訴訟人之心次第可訴出事(第四十七條)

一其身一分之出入にて及公訴右之出入相濟候迄之諸入用金村中へ割賦仕間敷候村一同之爲にも可成出入に候は、可爲格別事(第四十八條)

一公事訴訟事に親類縁者たり共一切影にて取持申間敷候後日に腰おし候儀相知候は、急度可申付事(第四十九條)

一百姓相勤候者他領にも田地有之候て其身は他領之百姓相勤度存故當領持高は惣領を譲り置候上は譯立候儀と存無斷他領へ越候者有之候は、庄屋組頭五人組共不念に付吟味之上各可申付候勿論右之通願候者有之候は、他領に如何様之子細にて田地所持仕候と申譯他領の庄屋組頭と當方の庄屋組頭慥成證文差添並惣領へ田畑不殘相渡永代出入申分無之旨證文取差圖請可申事(第五十條)

一親類縁者之浪人有之男女共のかれさるわけにて縁次第他へ罷出候内養ひ候儀有之候は、當分之儀たり共如何様の子細にて宿仕候段宗旨等庄屋組頭令吟味書付可差出事(第五十一條)

一有來者の外別家爲致新規に家作等いたし候は、其段庄屋方を相斷宗門家數増減目錄を其旨認入可申候尤其身に應ぜざる普請仕間敷事(第五十二條)

一僧俗其他所の者一夜の宿も仕間敷候假令好身の者たり其他所にて儀絶致し候者は先より慥成證文無之候は、一時も不差置尤不見届者徒者惡黨者等隱置候儀於有之は庄屋組頭可爲越度候親類又は慥成者參候は、庄屋方を斷庄屋より役所を相伺候て差置可申事(第五十三條)

一有來神事杯他領一同に申合候は、遂相談舊例相用候内にも成丈隨分軽く可相勤候一村内にて執行候祭禮佛事等は猶以軽く取計其身に不似合結構成儀一切仕間敷事

附神事遊び事寄假初にも賭之諸勝負事仕候者於有之は後日に相知候共急度可爲曲事候勿論新

法の神事堅可爲無用事(第五十四條)

一前々より新地の寺社建立の儀御停止の旨急度可相守候惣てほこら念佛題目の石塔供養塚石地藏の類他村之境道路の端に一切新規に建申間敷事(第五十五條)

一寺社の儀住持社人替り候はゞその度毎に届出可申候庵主堂守替り候節は其支配本寺より可届出候若本寺無住或は他領に本寺有之は村役人届出可申事(第五十六條)

一神佛致開帳候はゞ其趣以書付可願出候村方の神佛他所え當分相移し開帳仕候はゞ前に可届出候他所の神佛村方え引請開帳致候はゞ是又其旨可願出候並他所より神事等の類に事寄踊類送來候共一切請申間敷事(第五十七條)

一捨子捨馬等仕候者有之は組中より可申出候自然隱置他所より相知候はゞ庄屋組頭五人組迄爲越度候若村方内地に捨子有之候を見出候はゞ村役人立會取揚乳を爲吞早速訴出差圖を請入念養育いたし置右捨子いたし候者他領其外隣郷等に有之趣相知候はゞ是又早速訴出可申候若捨子いたし候者相知不申候はゞ村方に養育致置追て慥成者貫請又は出家弟子等にいたし度旨申聞候はゞ其段申出得差圖證文爲取替差遣可申候且又放牛馬村方え參候はゞ早速庄屋組頭え相知らせ村中立會致詮議是又申出持主相知候はゞ其村役人牛馬持主より一札取之相返可申事(第五十八條)

一都て百姓年貢方訴訟之爲に所を明け欠落仕候者一時成共宿仕間敷候於相背は穿鑿の上可爲越度事(第五十九條)

一證據證文無之金子及出入候訴訟不取上候間申出間敷事(第六十條)

一庄屋組頭に對し小百姓申分有之難澁の躰有之候は(天)知行所之内外村之名主云々隣村の庄屋組頭え可申達候其庄屋組頭より双方の意趣分明に相糺内々にて不濟候儀に候はゞ訴出可申事(第六十一條)

一衣類諸道具又は門橋等の鉄物類惣て何によらず出所不相知候賣物何方より持參候共一切買申間敷候質物にも取申間敷候都て質物の儀は出所相知候ものにて慥成證人無之候得ば一切申間敷事(第六十二條)

一嫁娶娶取の節馬駕籠に乗美々敷致候儀は勿論少も奢たる儀仕間敷候一汁一菜にて隨分小躰に可致候祝儀取かわし候儀も同前の事(第六十三條)

一惣て不依何事出會又は自宅にて大酒仕間敷候祭禮諸事祝儀振舞等に至迄不可及亂酒候若相背酒狂於有之は客亭主共可爲越度事

附り市町え出大酒不可致事(第六十四條)

一村中百姓並寺社院其外等え盜賊押入等にて被盜取候品々何によらず明細書付早速届出可申事(第六十五條)

一盜賊他所にて盜取候雜物村内に質入候か又は買取候者有之趣斷申來候節遂吟味早速届出可請下知事(第六十六條)

一郷中に殺害人自害人並首溢水死其外變死又は怪敷手疵負候もの於有之は早速注進可仕候惣て何事によらず不慮の儀出來候はゞ右同斷に可相心得事(第六十七條)

一遠國え稼又は奉公等に罷出候者は其子細書付を以願出下知之上可罷越候尤役所の印鑑持參可仕

事(第六十八條)

一一三〇

一 神社佛閣を參詣或は用事有之他國を立歸に罷越候者日限三十日以下に候はゞ届書差出可申候尤三十日以上に候はゞ願書差出聞濟の上可罷越候尤村役人の儀は十日以上に候はゞ願書差出可申事(第六十九條)

一 他國並他所他村の者村方有付住居いたし度旨申聞候はゞ其者の出所家職の様子聞届出所の村を斷慥成請人相立させ手形取之宗旨の儀尙更相改寺請狀取之差出下知を請差置可申候假令地借店借等如何様輕き者差置候共右同前に相心得其度々下知を請可申事(第七十條)

一 高役の儀米錢共庄屋組頭小百姓寄合明細に割付得心の上銘々印形仕置可申候役錢の儀は日限之通無未進急度差出可申事(第七十一條)

一 年貢並村入用の類役人立會遂吟味百姓をも讀聞得心の上印形取年貢受取候節米金多少によらず受取書付印形いたし遣之割返しの節も請取印形取置可申候假令前々様の儀無之候共以來急度相改割付も銘々見え讀聞せ惣て惣百姓疑無之様諸勘定明白可仕事(七十二條)

一 年貢皆濟以前米穀他所を出し申間敷候若穀物賣不申候て不叶候百姓は年貢米の員數積り立納米程上米を拵立置餘米を賣可申候萬一年貢致不足候百姓は各可申付事(第七十三條)

一 一斗桶等前々より入用被下候場所にて破損有之節は無油斷取繕可申候若朽損難用分も有之候はば時節不後候様早速願出見分請可申事(第七十四條)

一 用水懸引常々申合置少しにても爭論無之様可致候若及渴水候節は庄屋組頭立會致吟味無甲乙分

水致し差支無之様爲引渡可申候若違亂之者有之節は早速可致注進事(第七十五條)

一 一村入用成丈はぶき至極吟味の上割懸候分は毎年正月前年の入用帳認惣百姓を委細申聞銘々印形

取可申事(第七十六條)

一 衣類之儀布木綿計可着之其外はゑり帶等にも絹袖以上仕間敷事(第七十七條)

一 衣類常々分限に應じ過分の身持不致惣て五穀の費一切仕間敷事(第七十八條)

一 御傳馬宿場を定助郷より人馬寄せ候はゞ問屋年寄致吟味餘慶の人馬猥に割觸等仕間敷候勿論宿場の馬を圍面々勝手能荷物爲附申間敷候且又助郷之人馬觸來候はゞ晝夜風雨の節にても人馬の員數無不足尅限相違無之様宰領を附急度可相勤候人馬割等難心得儀有之候はゞ無滯相勤候て其以後可申出事(第七十九條)

一 朝廷御用の人馬は不及申其外武士方諸家中又は何によらず往來の旅人駄賃人馬の儀晝夜共無滯差出可申候尤宿場は問屋年寄在方は庄屋組頭常々致吟味人馬少も爲相滯申間敷事(第八十條)

一 印鑑も無之無賃の人馬を出候様申掛候者有之候共容易不差出其者の名苗字差置出所並着所聞糺其品により押置問屋年寄庄屋組頭立會致詮議怪敷躰相見へ候はゞ早々注進可仕事(第八十一條)

一 往來の旅人を對し馬士人足酒手等ねだり取候儀は勿論慮外ヶ間敷儀不仕荷主宰領合點無之荷物附替候儀仕間敷候且又百姓勝手に往還え出駄賃錢取候共御定の外賃錢多取申間敷候町場に無之所は往還定の賃錢相考道法に應じ取立惣て疎略に仕間敷候若不法の儀有之候はゞ可爲越度事

(第八十二條)

- 一 村内にて勸進能並操歌舞妓芝居惣て何によらず見物類仕間敷候若他領の村境紛敷地にて芝居いたし候はゞ未始以前に早速可致注進事(第八十三條)
- 一 祭禮の節は勿論早魃にて雨乞等いたし利生有之候節禮踊等は格別狂言ケ間敷儀一切仕間敷事(第八十四條)
- 一 獵師の外鳥獸一切取申間敷候假令獵師たりとも御法度の鶴白鳥取申間敷事(第八十五條)
- 一 濱附の村々は難船破船等の節は浦御高札之通急度可相守事(第八十六條)
- 一 檢見並見分等の節諸役人村方え罷越候砌馳走料理ケ間敷儀決して不仕一汁一菜たるべし尤所に有之物の外輕き物成共買調申間敷候酒肴は曾て不可出之諸役人え何にても音信贈物堅不可致事(第八十七條)
- 一 一家中の面々えは不及申他所の侍たり共乗打は勿論一切慮外仕間敷事(第八十八條)
- 一 諸役人始家中の面々村方え罷越非分成取計いたし又は無心ケ間敷儀申懸け惣て不宜候趣有之候はゞ可訴出候其者難儀不相成候様可申付事(第八十九條)
- 一 金銀借用に付田地貸吳候様相頼候者有之候共一切貸申間敷事(第九十條)
- 一 遊女野郎村方に差置申間敷事(第九十一條)
- 一 商いたし候者賣買諸品本方問屋直段准し不直の高利一切取申間敷候諸色正路に賣買可仕事(第九十二條)
- 一 出作のもの他の村方にて不法の儀無之様兼々可申付事(第九十三條)

右條々急度相守之庄屋組頭惣百姓入作迄請印可致候五人組帳に記置之毎年正月中大小百姓え讀聞文言不辨者えは委細申諭し惣百姓承知之旨書付相認毎春可差出者也

文政五年壬午閏正月

〔備考〕

- 一 所 在 司法資料、第十七號、一七五頁。(原本、愛知縣碧海郡富士松村今川、八幡社史料)
- 一 舊領主 刈谷藩。(現、愛知縣碧海郡富士松村今川)
- 一 形式并に種類 不明。
- 一 箇條數 九十三箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。第八十七・二號參照。
- 一 備考 前書傍註に「天」とあるのは安政五年天津村御條目五人組帳(第八十七・二號)に據つて附したことを示す。

安政五年安房國長狹郡天津村御條目五人組帳 (第八十七・二號)

定

- 一 御公儀御法度之儀被 仰出候趣堅く相守可申候事(第八十七・一號、第一條に同じ)

- 一 親に孝行仕子を憐れみ兄弟諸親類むつましく夫婦中能く可仕候事(同、第二條に同じ)
- 一 村中親に孝行成もの有之候歟勝れて人柄能者有之候は、可申出候事(同、第三條に同じ)
- 一 慈悲を専らにいたし何事によらず悲儀(非義カ)なる仕方仕間敷候事(同、第四條に同じ)
- 一 百姓に不似合藝能を好み身持あしく奢たるを惣(義カ)而偽巧ケ間敷義不仕諸事正直正路にいたし農業專要に情入可申候事(同、第五條に同じ)
- 一 村中に人柄悪敷もの有之候は、異見仕人柄能相成候様に可仕候事(同、第六條に同じ)
- 一 村中常々火之元大切に念入風烈之節は不限晝夜申合見廻り堅く可用心事(同、第七條に同じ)
- 一 一切支丹類族御制札之通急度相守り前々之通召仕等に至迄銘々宗門相改メ毎春宗門人別帳日那寺印形取之三月迄に可差出候万一不吟味に仕り御制禁門之者有之段脇々相知候は、本人は不及申召仕は其主人并に名主組頭とも可爲曲事候事(同、第八條に同じ)
- 一 百姓仲間組合之儀家主又は最寄次第五人宛組合所により五人組合に難成分者四人六人組に茂組合相定置御仕置筋其外被仰渡候儀共常々堅申合相守可申候若五人組之内御法度を背き惡事仕候者有之候は、村役人相届ケ組之内より可申出候組之内より不申出他所々相知候は、其組不殘可爲曲事候若又他組成とも御法度を背き惡事仕候もの有之候は、可申出候其品により御褒美可被下候或は同類親類縁者等怨を存候て隱置不申出におゐては可爲越度尤訴候とて怨不致様取計ひ有之事(同、第十條に同じ)
- 一 五人組にはつれ候もの有之候は、可爲越度事

- 一 御公儀御用之儀は勿論被仰渡候御用不限何事何方を申來候とも晝夜をかきらす油斷なく時付ケ日限違ひ不申候様相勤可申候配符并に村次之御用通り候はは先々相届け時付之手形取之可申候若遅々仕候は、可爲越度事(一號、第十一條に同じ)
- 一 年貢割付出候節名主組頭惣百姓不殘立合披見之上割合勘定可仕候若惣百姓に隠し名主自由に割付いたし候は、即時に可申出事(同、第十二條に同じ)
- 一 年貢米納方之儀立毛蒔入候は、隨分手廻仕米拵出來次第九月より段々無滯相納十二月十日を限急度皆濟可仕候尤年貢納之石數に隨ひ定法之作徳引取候は各別百姓自分拂米諸差引とり(濫)みたり不仕不納之石高隨分出精定之通り可相納候事
- 一 高役之儀米錢共に名主組頭小百姓寄合明細に割付得心之上銘々印判仕置可申候役錢之儀者日限之通無未進急度差出可申事(一號、第七十一條に同じ)
- 一 年貢米金銘々百姓前々取立候節は庭帳に付置百姓壹人切に通帳に米金共に書記名主押切印判いたし相渡可申候尤皆濟仕候節は皆濟帳に名主致印形銘々百姓に相渡可申候且又年貢米隨分撰立拵あらひへわれ米無之様吟味いたし繩俵等念入可申候事(同、第十三條に類似)
- 一 郷藏之儀毎年納收前々破損之處有之候は、修復仕下敷等丈夫にいたし米惡敷成不申候様致置年貢米郷藏に納候は、晝夜番人附置相守名主組頭等も見廻り候様に可仕候若下敷薄く米惡敷成候歟雨もり候て米捨り候歟火事盗人に逢候歟如何様之儀有之候而破船紛失米等在之候とも百姓損失に仕急度辨納可仕候郷藏近所に火事出來候は、隣郷に候とも男女不殘罷出防可申候若不情に

- 一 遅く参り候もの有之候は、百姓仲間にて穿鑿いたし急度可申出事(同、第十四條に同じ)
- 一 田畑一步之所成とも荒し申間敷候永不作之處は不及申野原川原成とも田畑に可成所有之候は、訴出開發可致候惡地とて荒し置申間敷候事(同、第十五條に同じ)
- 一 新田畑開發候節は訴出反歩改請作毛仕付年貢可相納候若新開之田畑起し候ても不訴出作取に仕候は、其地主各申付訴人致候者に田畑割あたへ可申候事(同、第十六條に同じ)
- 一 五人組一札其外書物に押し申候印判取替申間敷候若印形彫替又は紛失いたし候は、判鑑差出し印判可致所持事(同、第十七條に同じ)
- 一 書物に印判仕候儀有之候而名主方より相觸候は、小百姓に至迄銘々印判持參致書面之通見届け聞届判形可仕候印形之儀は人に誂遣し申間敷候自然其身相煩難叶節は親子兄弟慥成好身之内に而判形遣し可申候尤名主方に少之内も印形留置申間敷候事(同、第十八條に同じ)
- 一 欠落又は死去退轉仕其外潰百姓之類其跡之田畑持添にいたし候事御法度に候之間由緒を糺候歟其外相續之者極メ候儀村中相談之上百姓を仕付壹人之跡は其儘相渡可申候所之了簡に不相成候は、田畑屋鋪目録にいたし差出可申候若右潰百姓類之跡四壁等あらし田畑持添我儘仕候もの有之候は、村役人は不及申五人組其外及見聞候者可申出事(同、第十九條に同じ)
- 一 毎度申渡無之候共道端念入作り可申候往還之儀は不及申脇道作場に而茂田畑切入道を廻し申間敷候并堤川除を切田畑に仕出し作仕切申間敷候若堤川除道場等を廻し田畑切入候もの有之候は、可爲曲事候尤名主組頭可爲越度事(同、第二十條に同じ)

- 一 川除并水留置候處我儘に切落申間敷候不切落候而不叶所有之候は、訴出可申候利害吟味之上落し其場所丈夫に築可申候儀相仕水出之時分押切候は、可爲曲事候事(同、第二十一條に同じ)
- 一 水出候時分大川谷川内堀之水余り田畑損し候は、名主組頭長百姓立會見合仕所人足を以當座に普請可仕候若大變地に成候は、早々可申出可遂吟味候其時分不申出重而田畑損候由申出候共年貢無難之積り申渡名主組頭可爲曲事(同、第二十二條に同じ)
- 一 普請扶持方人足遣ひ候は、當座割渡名主方に受取證文取置可申候右扶持方を以諸役出方に引次可申と名主申候は、百姓方より可訴出事(同、第二十七條に同じ)
- 一 火事出來候は、郷中之もの火消道具を持馳付情出し消可申候若出會不申者在之候は、穿鑿之上可爲越度事(同、第二十四條に同じ)
- 一 知行所に而惡黨者在之候而なりをたて申者在之候は、郷中出會搦捕可申候并郷中堂宮山林等に怪敷ものか、まり在之候を見出し候は、郷中相談仕搦捕早速訴出可申候事(同、第二十五條に同じ)
- 一 不依男女欠落もの郷中参候は、捕置早速可訴出候先々より構有之由届在之は早速寄合致詮義申出得差圖埒明可申候事(同、第二十八條に同じ)
- 一 手負之儀者不及申郷中に而あやまち疵出來いたし候もの當座可申出事(同、第二十九條に同じ)
- 一 往還之者路次に而相煩居候は、見のかし捨置申間敷候名主百姓立會其者之名ならひに國處宿等承届近所之家人引入看病いたし置早速其者之宿所へ可申越候縦乞食非人に候とも郷中にて行倒

相果候者有之候は、様子相改早速に可申出事(同、第三十條に類似)

一捨子捨馬等仕候もの於在之者組中より可申出候自然隱置他所より相顯に於いては名主組頭五人組迄可爲越度事(同、第五十八條に類似)

一親類縁者に候とも他所之者人主又請に立申間敷候郷中之者奉公に出候者親類縁者名主五人組之内請立年季之内如なく奉公相勤申様兼而可申付候若不道之儀有之候て六ヶ敷義有之候は、人主請人立會急度埒明可申候事(同、第三十二條に同じ)

一所之林にて竹木枝葉にて伐間敷候若みたりに伐採候もの於有之は其者は不及申名主五人組可爲曲事事(同、第三十三條に同じ)

一林之竹木風折根通り候共訴出差圖次第に可仕候隱置申間鋪事

一村々五人組之儀彌堅く申合耕作可情出候作之時分相煩候もの有之候は、仲間助合荒し不申様可仕候惣而耕作互にはけみ可申候若不情にいたし候者在之候は、異見を加へ夫にて茂用ひ不申候は、名主方より相斷猶又急度爲申聞其上少茂不埒に候は、其旨可訴出候男女とも作間は相應之稼いたし可申事(同、第三十五條に同じ)

一鉄炮之事彌前々之通御法度之趣急度可相守候弓矢之儀是迄之通猥之儀無之様可致候若猥之儀於有之は吟味之上可爲越度事(同、第三十六條に同じ)

一博奕三笠附等前々より堅御法度に候之條下人に至まで急度申付假初にも賭之諸勝負爲仕間敷候相背に於いては同類悉令詮儀宿仕候者并に名主組頭可爲越度勿論博奕事より出来候出入を別儀に

なぞらへ公事訴訟等仕候は、後日相知候共吟味可爲重科事(同、第三十七條條末増)

一百姓并に寺社領山林四壁共に竹木猥に伐採申間敷候破損作事等之儀に付可入子細有之候は、竹木員數書付を以名主組頭方より相斷差圖可請事(同、第三十四條に同じ)

一未進仕候者於在之は其者之暮方人馬之數相改且また前々も未進仕候歟五ヶ年以來之名主庭帳を以遂吟味委細可訴之吟味之上答可申付事(同、第三十九條に同じ)

一質地之儀村役人急度相改御定之通り相違無之様取扱可申候村役人之質地は役人仲間又は隣村名主等可致加判事(同、第四十條に同じ)

一御朱印地之寺社領田畑質物に書入候共取申間敷候縦證文等儘に在之候共 御朱印之寺社領一切取申間敷事(同、第四十一條に同じ)

一前々御法度之田畑永代賣買彌以て堅仕間敷候自然相背出入之節相知候は、右田畑取上賣主買主共に可爲越度事(同、第四十二條に同じ)

一野山論水論之類立合相糺候儀村一同之儀に候は、村中相談之上可取計候事(同、第四十三條に同じ)

一徒黨并に逃散等之儀前々より

御公儀御制禁之事に候條急度相守若願之儀在之節は其者并に村役人差添可願出候萬一村役人並對し申分有之訴出候節は五人組之内申合可申出候事(同、第四十四條に同じ)

一公事訴訟事有之節村役人共遂吟味利害隨分申聞せ内々にて事濟候様可致候是等之儀に付江戸表

出候ては村入用嵩不可然候乍去片押成儀決而不可取計候名主組頭惣百姓打寄理非分明に令相談相濟候様可取計候若内濟難成儀に候は、訴訟人之心次第可差出事(同、第四十七條に同じ)

一 其身一分之出入に而江戸に相詰出入相濟候迄之諸入用全村中の割符仕間敷候勿論他領との出入に候とも一分立候儀は可爲同斷但村一同之ためにも可相成出入に候は、可爲格別事(同、第四十八條に同じ)

一 他領のもの、公事訴訟事に親類縁者たりとも一切影にて取持申間敷候後日に腰押仕候儀相知候は、急度可申付勿論知行内之出入在之節も他領のもの腰押爲致間敷事(同、第四十九條に同じ)

一 出作之者他之村方に而不法之儀無之様兼々可申付候事(同、第九十三條に同じ)

一 知行所百姓勤候者他領にも田地有之候而其身は他領之百姓相勤度存故此方之持高は惣領に讓置上者譯立候儀と存無斷他領に越候者於在之者名主組頭五人組共に不念に候之間吟味之上答メ申付候勿論右之通願候者在之候は、他領如何様之子細に而田地所持仕と申譯他領之名主組頭と此方名主組頭慥成證文差添并に惣領に田畑不殘相渡永代出入申分無之旨證文取可請差圖事(同、第五十條に同じ)

一 高拾石以下之百姓みなりに次男等へ配當すへからず候惣領之外は成人次第奉公に出し面々之器量次第に勵み渡世可仕候若又盲目に候は、惣領たりとも田畑わけす持高不殘次男に譲りもらうもくの子は養ひ置口すさ之様可仕候其者望にて座頭仲間に入候は、官金等分限相應可致過分之合力金仕間鋪事

一年々溜堀破損繕等并に川除は前々之通百姓可爲普請事

一 親類縁者之浪人在之男女共にのかれさる譯にて縁次第に他へ罷出候内養ひ候儀在之候は、當分之儀たりとも如何様之子細にて宿仕候段并に宗旨等名主組頭令吟味書付可差出事(一號、第五十一條に同じ)

一 有來者之外に親類縁者たりとも新規に家作致し候は、其段相届可申候尤其身に應しざる普請仕間敷事(同、第五十二條に同じ)

一 衣類之儀布木綿斗可着之其外はるり帶等にも一切紺紬以上仕間敷事(同、第七十七條に同じ)

一 僧俗共に他所之者に一夜之宿も仕間敷候たとへ好身之者たりとも他所に而儀絶いたし候ものは先さへ慥成證人無之候は、一時も不可差置尤不見届惡黨もの等隱置候儀在之に於いては其名主組頭可爲越度事(同、第五十三條に同じ)

一 有來神事など他領一同之申合に候は、遂相談舊例相用候内にも成たけ隨分軽く取計ひ其身に不似合結構成儀一切仕間敷事

附神事遊ひ事によせ假初にも賭之勝負事仕候者在之に於ては後日に相知れ候とも急度可爲越度并に前々致し來らざる新法之神事佛事堅く可爲無用事(同、第五十四條に同じ)

一 自他領之百姓年貢方訴訟のため所を明け欠落仕候ものを一時成共宿仕間敷候於相背は穿鑿之上可爲越度事(同、第五十九條に同じ)

一 證據證文無之貸方借方之公事不取上候間申出間敷事(同、第六十條に同じ)

一名主組頭に對し小百姓申分有之名主組頭方難澁之躰在之は知行所之内外村之名主組頭に可申達候其名主組頭より双方之意趣分明に相糺し内々に而不濟儀に候はゞ可訴之支(同、第六十一條に同じ)

一 躰取智取之節馬駕籠等に乘美々敷致少し茂奢たる儀堅仕間鋪候一汁一菜にて隨分小躰に可致候勿論互に祝儀取かわし候儀も同前之事(同、第六十三條に同じ)

一 惣而不依何事出會又は自分宅にて茂大酒仕間敷候祭禮法事祝儀振舞等に至迄不可及亂酒に若相背醉狂有之は客亭主共に可爲越度事

附市町へ出大酒致へからず候事(同、第六十四條に同じ)

一 檢見并に年貢取立に役人罷越候節馳走料理ケ間敷儀等決而不仕一汁一菜たるへし尤所に有之候もの、外は輕きもの成共買調申間敷候酒肴は會而不可出之役人の何にて茂音信土産堅不可出之支

附役人共非分成取計いたし又は無心ケ間敷義申懸け惣而不宜趣在之候はゞひそかに書付封印いたし江戸表屋敷に可差出候尤申立候通り相違無之に於いては訴候當人難儀に不相成候様取計ひ候事(同、第八十七條・第八十九條に同じ)

一 此方々役人參候節勝手の大勢詰候て無用之隙を費し申間敷候勿論内證にて料理酒もり仕間鋪事一衣服常々分限に應し過分之身持不致惣而五穀之費申儀一切仕間敷事(一號、第七十八條に同じ)

一 伊勢參宮湯殿山參其他西國順禮物語之ため他國仕度旨申者在之候はゞ名主組頭令吟味身上不成

者借金杯にて存立候儀に候はゞ無用に可致候勿論商事杯にて他國いたし候とも其度々名主組頭に急度相届可請差圖事

一月待日待遊山ケ間敷儀に人集め等仕間敷事(同、第三十八條に同じ)

一 村入用之儀成たけはふき至極吟味之上割懸け候分は毎年正月前年之入用帳認め惣百姓に委細申聞せ銘々印形取可差出事(同、第七十六條に同じ)

一 年貢米之儀定例之通儀に入候中札に依入舛目國郡村付記米主米見舛取名主組頭名印いたし可入之上は札には國郡村名米主名前相認め可申候尤餅米大豆同斷之事(同、第十三條に類似)

一 俵入之儀は本石三斗五舛に差米欠米共に四斗入納口米は定法之通可納之候江戸着之節貫目相改廻し俵計立欠米在之候はゞ其村切りに其俵數次第右不足米割懸け候間此旨可相心得事(同、第十三條に類似)

一 納米江戸廻し之儀其村向寄之河岸々可令出船運賃之儀御定之通可渡之上乗慥成もの吟味仕入念可相廻候事

一 取箇之儀百姓仲々間に而他給割付と見合候はゞ定而高下在之御仕置取計ひ等相違之儀も可有之候取箇之高下御仕置筋取計善惡ともに他領之仕方構ひ無之其年々出來方に隨ひ取箇相極め候條違背仕間鋪事

一 年貢并に村入用之類役人立會遂吟味百姓に茂銘々讀聞せ得心之上印形取年貢請取候節米金多少によらず請取書付に印形いたし遣之割返し候節茂百姓より請取印形取置可申候縦前々様之儀

無之候とも元文五申年御料私領一同右之通急度可相守旨被 仰出候事に候條已來急度相改メ割付茂銘々見せ讀聞惣而百姓疑無之様諸勘定明白に可仕候事(同、第七十二條に同じ)

一畑金納方夏成六月晦日限秋成九月十五日限冬成十一月晦日限年々急度可相納事

右御條目之趣拜見仕則名主組頭小百姓入作百姓并に水吞召仕等に迄急度相守被 仰付候通毛頭相背申間鋪候尤右御定書五人組帳に記置每春正月中大小百姓に讀聞奉畏候段書付每春差上可申候爲後日連判仕差上申候處依而如件

安政五年三月

〔備考〕

一所 在 原本、讀律書屋所藏。

一舊領主 未詳。(現、千葉縣安房郡天津町)

一形式并に種類 轉寫本。

(表書)

御條目五人組帳
安房國長狹郡天津村

一箇條數 七十三箇條。

一内容并に系統 第八十七・一號、九十三箇條の中、第十(他所より召抱云々)・二十三(急水にて堤川除防云々)。

二十六(大小の百姓は勿論寺社山伏云々)・三十一(喧嘩口論杯云々)・四十五(不依何事致頭取云々)・四十六(於町在何事によらず云々)・五十五(前々より新地の寺社云々)・五十六(寺社の儀云々)・五十七(神佛致開帳云々)・六十二(衣類諸道具云々)・六十五・七十(村中百姓並寺院其外等云々)「他國並他所他村の者云々」・七十三(年貢皆濟以前云々)・七十四(坑樋等云々)・七十五(用水懸引云々)・七十九・八十六(村入用成丈はぶき云々)「濱附の村々は云々」・八十八(家中の面々えは不及申云々)・九十(金銀借用に付云々)・九十一(遊女野郎云々)・九十二(商いたし候者云々)の三十一箇條を缺き、新しく十箇條(本帳第十・十三・三十四・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七)を加へてゐる。その他條文の移動離合がかなりある(特に後半に多い)が、同一系統に屬するものと見做される。尙一號で「朝廷御用」とあるのは二號では「公儀御用」に、「町在々」は「村中」に、「庄屋」は「名主」に夫々改められてゐる。

文政八年伯耆國日野郡西成村五人組合人別改 (第八十八)

一村内徒黨ケ間敷相集候義兼て従公儀被 仰出も有之嚴敷御法度に付村々御制札に相口候事にて何れも承知可致事に候へ共近來心(得)違之ものも有之様相聞へ候若左様之義相企候もの有之に於ては早速召捕令入牢吟味之上曲事可申付事

一諸願向に付役義之次第も不歴内々たりとも地頭向歎ケ間敷義申出候もの於有之者越訴之筋に候間不拘善惡右申出候ものは曲事可申付事

一博奕諸勝負堅停止并右等之宿致候もの後日相知れ候節は御吟味之上科料可申附事

一諸殺生停止之事
附り鐵砲之義取持致し候ものは見付次第取上可申事
一犬飼置候義堅停止之事

一御領内之義は都て農業第一に相働餘之商ひ事致間敷様被 仰出候事

附り小間物商ひ其外茶屋風之商ひ致しうどん蕎麥煮賣等之義別て不相成候ヶ様之商ひ向も於有之者自然と酒宴遊興等に長し農業等も等閑に可相成義に候間此旨一統精々差心得可申若相背もの有之候は、當人は勿論其組内并に隣家三軒兩隣之者御咎之上其人に身代見合科料可申付事

一盜人野荒し之義兼て被

仰出義有之候得は尙又此度嚴敷被 仰出候間組内隣家は(五カ)に心を付友

吟味可致万一違背之者有之候得ば其罪輕重を糺當人は追放隣家并組内には御咎上科料可申付事

一無縁之もの一夜之宿も決て致間敷且又無帳者留置事堅不相成若違背之者有之候得は御吟味之上科料可申付事

一御用向に付村方寄合申觸候節は村役人より刻限相究置其刻限に不參候もの有之候節は禁足申付置名前書付大庄屋所へ差出し可申候事

一五人組合之内扶出しに相成候ものは鉢屋組に致毎月朔日鉢屋之所へ挨拶に參り可申事
右之條々被 仰渡候趣村中一同奉畏候以上

文政八年酉三月 日

一組

頭 富

藏印

伊

助印

善

藏印

政

藏印

柳

藏印

一組

頭 林

兵

衛印

久

助印

臺

助印

重

左衛門印

五人組

丈

兵

衛印

右之通り印形爲仕差上申候以上

〔追加〕

年貢上納可爲大切儀者勿論之儀自然及未進者甚以重科に付御大法も有之候事故兼て此旨一統堅相

心得可申處近來村々種々難澁申立御藏并院内共致未進候輩も有之に付以來上納及不埒候者於有之者其組合内之償被 仰付候間御藏は庄屋院内之外者年寄役より取立急度勘定相立可申候尤臨時格別之災難等有之衆人も能相知る程之儀有之候ものは其仔細に寄敷之趣御聞届も可有之候得共爲差儀も無之に難澁申立候共決て御取上ケ無之候當御領内之儀は

御法中之□取上にて他領と違何角に付格別御慈悲厚候處却て心弛男女共に平日業作相怠り遊惰に送光陰仍之未進等候段言語同斷不届至極に候向後不顧他五人組合精々農務相勵可申候以來別農業相怠候もの有之候は、其組中締合之不行届に候間組親は勿論其組中可爲越度候

文政八酉年改被 仰出五人組合掟之趣彌堅相守組親は不及申組合内互に異見心添いたし合若不相用もの有之候は、早速組親より村役人へ申出大庄屋所へ可訴出候前明之通未進者何後組合内より償被 仰付候間其節敷ケ間敷義申出候共御取上ケ無之候尤組内引受其上に力に難叶程之儀有之候は、得と取調之上前々之通村中へ償被 仰付候間心得違致間敷もの也

天保二卯年八月 日

右被 仰渡之趣村中一同奉畏候以上

久代具治

〔備考〕

- 一 所在 日野郡史、上卷、七二八頁。(原本、鳥取縣日野郡大河原村、吉川政太郎氏所藏)
- 一 舊領主 伯耆大山寺領。

一 形式并に種類 連判原簿。天保二年の追加あり。村据置帳か。

一 箇條數 十一箇條。

一 内容并に系統 系統未詳。恐らくは伯耆大山寺領内獨特のものか。

一 備考 前書第十一條中の「鉢屋組」は明らかでない。「鉢屋」は苦鉢屋・茶筌などと稱へ、古くは毎年正月農家に來て鳥追ひ・萬歳・採鳥舞等をしたと云ふ。尙詳しくは日野郡史、七七〇頁参照。

文政九年五人組御仕置帳 (第八十九・一號)

(五人組法規集、四四〇頁、所收)

〔備考〕

一 所在 原本、讀律書屋所藏。

一 舊領主 不明。

一 形式并に種類 轉寫本。

(表書)

文政九年
五人組御仕置帳
戊三月

一箇條數 四十四箇條。(後書には右四拾六ヶ條云々とあり。第八十九・二號ノ一參照)
 一内容并に系統 第三十一・一號、六十箇條の中、第三(拾牛馬取締)・四(生類憐)・六(耕作勸奨)・十一(公儀御林保護)・十二(持高分割)・十四・十九(年貢納入并に藏番)・二十五(無益殺生禁止)・三十二(公事取締)・三十四(乗物禁止)・四十(店請)・四十二(獨身者扶助)・四十四(火之用心)・四十六(寺社代り目届出)・四十七(浮浪人取締)・四十八(跡式決定)・五十六(織物幅員)・五十七(音物の禁)・五十八(組合村定)・六十(五人組仕法)の二十四箇條を缺き新しく八箇條(本帳第十五・十六・三十七・三十八・三十九・四十一・四十三・四十四條)を加へてゐる。その他條文に離合増減があり、順序も異つてゐるが、三十一型と同じ系統を引くものと思はれる。

天保六年出羽國村山郡柴橋村條々 (第八十九・二號ノ一)

條々

(第一條—第十二條省略。第八十九・一號、同條に同じ。)
 一御公儀御用之儀者不及申候…賃錢可請取之事
 附御用之廻狀先々急度相届請取書可取置事(第八十九・二號、第十三條附増)
 (第十四條—第十六條省略。第八十九・一號、同條に同じ。)
 一小百姓病氣片輪者に而渡世成兼候は、憐を加へ相應之稼相勤候様名主五人組心得可致候事

(第八十九・二號、第十七條變、「附」移動)

一跡式の儀老若によらず病中に書付いたし其趣名主五人組相達加判取置死後出入無之様可仕候事(第三十一・一號、第四十八條に同じ)

附子供兄弟無之候は、親類并名主立會相談之上由緒有之は跡式可致讓事(第八十九・一號、第七條「附」に同じ)

(第十九條—第三十八條省略。第八十九・一號、第十八條—第三十七條に同じ。)

一火の用心常に念を入可申若火事出來候は、其村は不及申隣村たり共火消道具持早速走着消可申候尤役所々注進すへき事(第三十一・一號、第四十四條に同じ)

一往還の道橋破損候は、早速可致修理事

(第四十一條—第四十二條省略。第八十九・一號、第三十八條—第三十九條に同じ。)

一御年貢割附出候は、…手形無之村入後日申出間敷事

附質地證文田畑引質證文等名主組頭之内致奥印可申候奥印無之證文は御取用無之段被 仰渡奉畏候(第八十九・二號、第四十條附「増」)

(第四十四條—第四十七條省略。第八十九・一號、第四十一條—第四十四條に同じ。)

右被 仰出候四拾六ヶ條之趣なにも寫置物百姓水吞等に迄度々爲讀聞一ヶ條宛合點仕堅相守違背仕間敷候爲其連印帳面奉差上(候)以上

當御代官所

羽州村山郡柴橋村

各名主

〔備考〕

- 一所在 西村山郡史、卷之七、一四頁。
- 一舊領主 幕府領、代官池田岩之丞、柴橋役所管内。(現、山形縣西村山郡柴橋村)
- 一形式并に種類 不明。役所控か。
- 一箇條數 四十七箇條。(請書には「右四拾六ヶ條云々」とある)
- 一内容并に系統 第八十九・一號、四十四箇條の中、第十三條・第四十條に「附」が加はり新しく三箇條を加へ(本帳第十八・三十九・四十條)尙第十七條は内容が稍々異つてゐる。
- 一備考 前書は四十七箇條あるが、末文は「右四十六箇條云々」と記されてゐる。第一條―第四十六條は寛延三年以前に出来てゐて、その後第四十七條(強訴徒黨逃散の禁)が追加されたものであらう。

嘉永四年出羽國村山郡留場村御仕置五人組帳 (第八十九・二號ノ二)

(前書全略)

嘉永四亥年二月

小前五人組

三郎右衛門

〔備考〕

- 一所在 西村山郡史、卷之七、五五頁。
- 一舊領主 幕府領、代官吉田條太郎、寒河江役所管内。(現、山形縣西村山郡白岩村留場)
- 一形式并に種類 不明。
- 一箇條數 三十九箇條。
- 一内容并に系統 第八十九・二號の一、四十七箇條の中、第三十六條―第四十二條を缺き、第三十五條は第四十三條と合してゐる。この間落丁のまゝ寫されたものかと思はれる。請書は同じく「右四拾六條云云」と記されてゐる。

文政十年上總國上野村五人組帳 (第九十)

五人組前書之事

一毎年被 仰付候五人組村中家持之儀は不及申上借屋面々抱之者并子供下人等迄壹人茂不殘連判
 差上申候殊親子兄弟中能者斗り組不申他人と組毎年組替申候若不入もの御座候は、無隱可申候
 御穿鑿之上急度被 仰付候事

- 一 從跡々被 仰出候切支丹邪蘇宗門に御座候と申者御座候は、何方迄茂罷出申譯可仕候爲其召使に迄迄寺請證文を取置候事
- 一 從 御公儀様御用之儀は不及申上に萬事名主申付候通り相背申間鋪候事
- 一 御年貢米御割付被 仰出候は、大小之百姓不殘寄合無高下様勘定仕御割付之日限次第に急度皆濟可仕候尤御年貢壹合壹錢茂無未進何方成とも被 仰付候次第に急度上納可仕候事
- 一 男女賣買仕間鋪候年季に抱候共十年限り差置可申候永年季は御法度之由被 仰付候通り相背申間鋪候事
- 一 田方之儀は米秋中出來候は、霜月十日限皆濟可仕候勿論舛目俵拵之儀(前)毎々より仕來候通り彌以念を入われ米又は碎米無御座候様吟味可仕候尤畑方御同前皆濟可仕候事
- 一 親類縁者たりと言共浪人者一日茂差置き申間鋪候事
- 一 親子兄弟縁者たりといふとも他國罷出年月を経て參り候は、御下知を請其上に而差置可申候事
- 一 他所々入嫁嫁を取申候は、名主組頭相談を以其所々堅手形を取其上差置可申候事
- 一 五人組仲間(胡亂)論成者出來候歟又は夜泊り致候者御座候は、様子見届内證に而御注進可申候事
- 一 諸勝負一切仕間鋪候惣而掛之諸勝負仕間鋪候若諸勝負仕者御座候は、當人は不及申上兩隣之者迄急度曲事に被 仰付候事
- 一 村内々奉公に罷出候歟又は商人に罷出候者先々落付所を名主五人組にしらせ可參候若無斷罷出候は、急度曲事被 仰付候事

- 一 毎年正月十一日ヶ堤川除井堀道橋等迄普請仕耕作等迄念を入大切に植仕付可仕候若壹畝壹歩荒候者御座候は、急度曲事可被 仰付候事
- 一 鶴白鳥惣而御法度之諸鳥を取申間鋪候尤右之鳥共村内に死居り候は、見付次第名主組頭相斷早速御注進可申上候左様成義隱置他所々相顯候は、急度曲事に被 仰付候事
- 一 御林之竹木は不及申上に百姓居屋敷之竹木たり共猥伐取申間鋪候名主組頭御斷可申候若我儘伐取候は、如何様成曲事に茂可被 仰付候事
- 一 田畑永代賣買之儀御法度之由奉得其意候若田畑質地差置候共名主組頭相談仕相究可申候自然相對に而田畑取引申候は、御穿鑿之上急度曲事可被 仰付候事
- 一 郷御藏御年貢米納候時分庭帳念を入手形を取六ヶ敷義無御座候様可仕候事
- 一 郷御藏破損之處は無油斷毎年修覆仕勿論御米くさり又はふけ不申様可仕候事
- 一 遊女賣多一切抱置申間鋪候事
- 一 其所不似合諸道具縮布他所々持來安賣候共無證據買取申間鋪候事
- 一 村内に罷在候出家山伏行人等其外□□乞食非人等迄常々致吟味有來之者候共慥成者無御座候は、差置申間鋪候事
- 一 新開又は隱田御座候は、無隱可申上候左様成儀隱置後日に顯候は、當人は不及申上村内者迄曲事可被 仰付候事
- 一 御國廻様方御上使御通り之刻道橋等迄惡鋪無御座候様人足大勢出し無滞り御通被遊候様大切可

仕候事

- 一作人商人諸職人身持之儀家職情入可申候若耕作賣買茂不仕徒月日を送候者御座候は、無隱置可申上候事
- 一何成茂質物請人無御座候而一圓取申間鋪候其外無筋者方々預り者一切仕間鋪候事(ともカ)
- 一似せ金銀遺候者見出候は、急度可申上事
- 一何事に而茂印形仕候節自分之印形を人に貸人之裏判を借り又は御用に付何方成共罷出候節印形仕事に自分之印形を誂越申間鋪候勿論不埒に而印形を失候は、早々印形を求め候而名主方々斷五人組帳名前脇へ何月何日に求め候と書付可申候事
- 一從此以前山中筋鐵炮御赦免之處格別其外里方有之處所持致間鋪候御條目之通り相背申間鋪候又は殺生を好み山野に晝夜罷有候者御座候は、急度可申上候事
- 一今般被 仰付候村々五人組之儀堅申付耕作情出可申候若耕作之自分相煩候者へは仲間(時)に而肝煎可仕候尤下人等不埒致候歟又は百姓植附之時分相煩候は、作不荒様に致吟味相互に助合可申候若耕作をも不致而徒に日暮候者御座候は、内證に而異見致承知不致候は、御役所無隱可申上候如何様成曲事に茂可被 仰付候事
- 一晝夜に不限火事盗人出來鳴渡申候時分壹人茂不殘立合可申候若火事之節作場に罷有候者御座候は、無隱可申上候事
- 一乞食非人等辻に相果申候は、名主方へ相斷道筋々村次に送届可申候事

- 一於國々所々新規祭禮無用之事有來之神事祭禮等無懈怠輕執行可申候事
- 一田畑永代賣買御法度之由此以前々被 仰付候通彌以堅御禁制之事
- 右之趣急度相守可申候若於相背には可爲曲事者也
- 一大小によらず百姓分地仕候は、持高等書上可請下知候若我儘に分地仕候は、如何様之曲事に茂可被 仰付候事
- 一田畑質地に取候は、御年貢諸役等之儀は不殘相勤可申候若勤ざるもの有之候由相聞候は、不届之至御停止之趣可被 仰付候事
- 右之條々少茂相背申間鋪候五人組帳二冊仕立候而御公儀様者の壹札差上名主方へ壹冊差上毎年壹度宛名主所に而惣百姓寄合前書之通堅相守可申候若相背申候物御座候は、如何様曲事被 仰付候共少茂御恨申上間鋪候以上

〔備考〕

- 一所在 原本、桑原三郎氏所藏。
- 一舊領主 未詳。
- 一形式并に種類 轉寫本。

文政十年
五人組帳下書寫
亥ノ
四月
上野村

- 一 箇條數 三十四箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。請書は第十七型と同一である。
- 一 備考 上總國上野村は夷隅郡及び埴生郡にある。本帳は何れのものか明らかでない。

文政十一年尾張國西春日井郡下河原村村方定書 (第九十一)

- 一 博奕者勿論賭之諸勝負は素より御制禁に候得共近來心得違背之者有之哉に風聞有之候風聞之通において以外之事候五人組合は不及申村方一統互吟味いたし以來右体博奕背筋等の風聞無之様心懸可申事
- 一 若き者共成立之儀は大事之事候間風義宜様其親には不及申村役人等よりも精々相身出錢等にて寄合呑喰等致間敷博奕等惡敷風聞無之様無油斷相示可申候事
- 一 近來何となく在々迄も奢の風俗押移候右は心得違の事候間以來隨分質素に心懸農業專出精可致

候事

- 一 村々山林竹木背伐致間敷事
- 一 御場内並御溜池川にて魚鳥背殺生致間敷事
- 一 肥し取に罷出候節作法宜可仕候兩三人は同道不苦候得共五人十人同道不致柄杓不差出様必棒にかけ可申雨天之節傘相用候者有之全心得違候間堅笠相用可申候事
- 一 馬長綱不相成候事
- 一 押車片かぢ前々より御法度候處近來心得違に相成御觸不相用候是又可相守事
- 一 日待雨乞神祭等の節は質素に仕神いさめ迄に銘々費無之様儉約事に心懸可申候事
- 一 若き者共村方ひとり者或は後家暮の者方へ寄合出錢等仕候者も有之是等は隣家又は近々より精々相示可申事
- 一 御年貢は勿論諸上納物無遲滞期日必上納可仕候事
- 一 寺社寄進等の義も農業作間見合罷出候事
- 一 附右等に事寄せ若き者共遊興ケ間敷儀致間敷事
- 一 遊藝并番人助精迄申立辻打万歳致間敷候事
- 一 村方休日之儀若き者共心得違ひ定日の外休日不相成候事
- 一 宗門帳に無之者差置間敷候若親類等にて引請村方に差置度節は願濟み上宗門帳に書載差置可申候事

一 農業等不出精之者或は田畑荒作の者有之候得は急度相訂可申候事
一新田所地主より申渡候儀急度相守可申候不相用者有之候得は役所より元村を差戻し吟味の上急度可申付候事

一 小商之義飴菓子等に至迄不相成事

一 奉公人之分主人より申付候通相守可申候不相用候者は吟味之上急度可申付候事

一 火之元入念候事

丑の日灰心懸候事

右ヶ條之趣今般改めて申渡候間何れも急度相守可申候若以後相背におゐては急度可申付候

子 正 月

大郷代官方役所

今般御書付を以被仰渡候御ヶ條之趣村中一同奉畏候以來御書付五人組合毎に寫置相互に急度相守可申候依之一統連印仕差上申候

子 正 月

今般御書付を以被仰渡候御ヶ條之趣村中一同奉畏候以來御渡御座候御書付寫五人組合毎相渡置申候勿論私共よりも猶又精々申渡急度爲相守可申候依之村中連印差上申候以上

〔備考〕

一 所在 司法資料、第十七號、二〇五頁。(原本、愛知縣西春日井郡新川町下河原、馬島賢一郎氏所藏)

一 舊領主 未詳。(現、愛知縣西春日井郡新川町下河原)

一 形式并に種類 不明。

一 箇條數 二十箇條。

一 内容并に系統 系統未詳。

天保二年下總國海上郡仁玉村五人組帳 (第九十二)

差上申五人組帳

一 今度當村五人(組)之儀前々被仰付候通り村中大小之百姓不殘吟味仕五人組連印差出候御事

一 博奕寶引賭之諸勝負決而仕間敷候勿論何様の惡事出來候共五人組にて引受急度埒明可申候御事

一 行衛も不知者に一夜之宿成共立宿成共一切借申間敷候御事

一 從御公儀様被仰付候御法度は不及申上諸事堅守り可申候御事

一 御年貢被仰付候日限に急度皆濟可仕候御事

一 近年別而從御公儀様被仰付候御觸之趣拜見之上奉承知畏候此已後博奕寶引賭之勝負之義は不及申上何事によらず不届義仕間敷候御事

一 此度被仰付候冬田耕し出精可仕候猶又残り候分は春彼岸前に耕し可仕候且又堰候水猥に落し申

間敷候諸作出精可仕候御事

一此度被仰付候こさ切仕候猶又往來道幅不足の場所は幾重にも弘可申候御事

天保二卯年三月 日

〔備考〕

一所在 千葉縣海上郡誌、一八七頁。

一舊領主 旗本、力石小次郎。(現、千葉縣海上郡富浦村仁玉)

一形式并に種類 不明。

一箇條數 八箇條。

一内容并に系統 系統未詳。

天保四年信濃國小縣郡武石組五人組御條目御請一紙帳 (第九十三)

五人組常々可相心得條々

一五人組之儀家並最寄次第五軒宛組合相極其内にて可然者一人判頭相立惣て地借店借寺社門前其外下人等に至迄諸事吟味致し惡事出來不致様組合相互に平日より申合若徒もの有之組合之申談に洩庄屋組頭の申付を不用候はゞ其旨訴出可申事

但組合最寄にて二組宛相組合立置自然一組限にて不辨儀有之節は相互に助合候様兼々可申合候

一前々從公儀被仰出候御條目之趣彌以嚴重に相守向後何様の御制法被仰出候共不相背候様村中小百姓末々迄堅可申合事

一御高札場掃除等常々無油斷申付上は屋柵木其外破損之場所所有之候はゞ早々可申出若又最寄に火事有之節は御高札焼失不致候様はゞし取早速可注進候

一切支丹宗門之儀重き御制禁に候間御高札之趣常々堅相守地借店借寺社門前其外召仕等迄一人も不殘寺受證文を取念入吟味可仕候萬一あやしき法をすゝめ其外不審なる者有之候はゞ早速注進すべし若見遁し聞遁しいたし外より露顯に及候はゞ當人は勿論庄屋組頭迄も急度罪科に行るべき間精々堅相守可申候

一とたうごうそてうさんは重き御法度に候間御高札之趣堅相守若左様之儀申すゝめ候者有之候はゞ早速注進可致候

一毒藥似せ藥似せ秤似せ楯等並人賣買人勾引御法度に候間万一左様之者見當候はゞ是又早速注進可致候

一在々鐵炮之儀御免之者之外隱鐵炮所持いたし候儀御制禁に候間前々員數相定候獵師筒威筒用心筒之外村中に隱置べからず惣て年々申付候證文之通堅相守猥り之儀無之様可相心得候

但御留場之外にても鶴白鳥之類御法度の鳥打申間敷其外常に變りたる鳥獸打候はゞ可致注進

候且又他人之鐵炮讓渡又は他組え讓候儀不相成たとひ親類たりとも願なく讓引一切致間敷候
一男女に限らず身元知れざるもの、請に立候儀一切致間敷若無據子細候は、其者の國所親類等承
届下請を取候上請に立可申候下請もなく身元知れざる者之請人に立何等異變之儀有之節は其請
人不念難遁候間能相心得可申候

一捨子有之候は、取揚養置可致注進候若煩候は、早速醫師にかけ申出べし右捨子貫候もの有之候
は、其者様子承届其段申出差圖を請可申候内證にて遣し候儀堅致間敷候
但後日に至貫人有之候節も十歳迄之内に候は、其趣相届差圖を受可申候

一荷附馬牽候者はつな三尺之御定に候間夫より長く致し往來を妨候様の儀仕間敷行違候節は双方
共左之方牽除半々に相心得別て橋細道等にては猶更心附可申其外馬牽並往來を妨或は作毛之
場牽放し候様之儀致間敷候

一捨牛馬致べからず若他所より捨牛馬並放れ牛馬來候は、見附次第庄屋組頭を申出村中立會詮儀
致持主知候は、其村之名主並持主より手形を取引渡其段早々可致注進主出不申候は、養置是又
可致注進候

一馬之筋を交候儀堅致すべからず牛馬賣買致候は、出所相改請人取置可申内證にて出所知れざる
牛馬賣買致間敷候

一侍中に對し乗打かふり物其外共聊無禮致間敷若不法之儀いたし候段其届有之候節は咎をも申
付候儀に付心得違無之様可致候

一御役人之由申偽在々徘徊いたしねたりケ間敷儀申かけ候もの有之候共一切取合申間敷候若理不
盡之致方有之候は、其所に留置早々可訴出手荒なる取扱いたし候儀は斟酌可致候

一主親を大切にいたし銘々身持を慎家職を勤下々を引立物事に憐之心をいたし神佛を敬ひ夫婦兄
弟傍輩之中睦しく勿論組合之儀は兄弟同様に心得諸事無底意可申合事

一孝行なる者貞實なるもの奇特なる者有之候は、不捨置組合として可申出候

一百姓常々耕作を大^(第)に致し冬春之間に山稼藁細工等無油斷心をかけ候儀肝要に候其外足弱老人
之類一人前之稼ならざるものにては藥草を堀藁細工其外心かけ次第相應之稼方有之ものに候間
夏冬共手を明居不申様に心がくべし惣て百姓に似合ざる風俗いたし長脇差を帶喧嘩口論を好大
酒致醉狂に及遊事賭之諸勝負を好身持不精者有之候は、其組合打寄異見を加其上
にも不相用候は、其趣可訴出候

一組合之内病氣其外無據事にて農業時節に後候は、相互の事に候間助合其上にも手餘候は、相組
合村中にて申談田地荒し不申様可仕候勿論譯なくして農業を懈いたづらに暮し居候者其組合と
して異見を加其上不用候は、其趣(可)申出候

一百姓跡目之儀老若によらず病中書置いたし庄屋組頭加判取置死後争論無之様可仕候跡目無之書
置之心掛も不致候者有之は庄屋組頭親類組合等立合病人之申^(えカ)含所存之程書付取置可申候其外不
慮に死失候は、所持品々役人組合立會之上諸色帳面に記親類縁者之内え預け置筋目の者相糾跡
目極次第引渡可申候

但末期に至一判之讓狀其取用に不相成候

一持田地少き者は小作等に成共渡世に成候程を斗年々無懈怠可致開作候耕作を怠小商或は炭焼山稼のみにかかり居候儀致問敷候

一持田地少く其外無據譯有之作問稼に諸職諸商賣等致度もの自今私に相始候儀仕問敷候若無據子細有之候は、其趣申出べく吟味之上其承に(品カ)寄耕作に不障候儀は差免可申候間向後無願諸職諸商賣相始候者有之ば村役人組合並其仲間として相互に改可申候

一質屋渡世いたし候者有來員數之外無願猥りに致問敷若新規に相始候は、其趣申出差圖を受可申尤質物取候におゐては能々入念慥成證人立させ可申たとひ親類縁者知音たり共身分不相應之品並兩判不揃候質物一切取申問敷候且又紛失物有之品書を以相觸候節似寄之品有之候は、早速可致注進候

一香具仲間之儀是又村限員數取調向後猥に右仲間に入候儀爲致申問敷尤農業の障に成候者はたとひ是迄仲間たりとも急度差留其段可申候

但香具仲間共之内重立候者一兩人肝煎申付自今取締方嚴重に爲致可申候

一酒造屋之儀前々有來候員數之外酒株無之もの新規に相始候儀堅相成らず勿論株高酒造米之外餘分に造入或は内證にて酒株讓引致候儀停止候間其旨可相心得候

一蠶種商いたし他所等え罷越候もの銘々持田地之分手作又は小作入等夫々手配いたし無差支におゐては差免可申自分持田地を捨置他所出稼致候様之者は村役人差留可申候

一男女奉公人召仕候共成程不便を加奉公人のだち候様に心付遣し可申候近來農休又鎮守の祭日其外にも遊日多く相成候趣相聞耕作を妨不埒の事に候或は植付取入等相濟候節杯銘々身祝にも候得は奉公人遊ばせ候儀は主人々々心得に可有之候此外無謂遊日等たとひ是迄之仕來に候共村中申談以後無用に可致候

附近頃奉公人勤方等閑に相成出代り時節にも早速主人方え引越不申候様之儀不埒之事に候自今兼て相定候期日はづれ不申候様村中申談て取極可致候

一近頃奉公人高給金を望一人前之働に引合不申候より自と男女多召仕候者迷惑筋にも相聞候畢竟平日衣食其外之奢増長致し候故之儀にてたとひ高給金を取候てもむさと遣ひ捨候得ば差て身(不當カ)爲にも不相成事に候自今男女共身の奢を慎相當の給金を望候奉公人有之候は、其段訴出申候(可缺カ)

一他所奉公其外遠國等え罷越候節は猶更たとひ一二夜泊に出候共行先並用事之次第村役人組合え相斷可罷越候無其儀他所出いたし自然先々にて何等異變有之候節は品に寄答可申付候

一附用事等にて江戸並何方え罷越候共用向相濟次第早々罷歸永逗留仕問敷候

一農業をつとめ女は蠶飼織つむきに精を出し惣て田畑山林屋敷等持荒し不申候様心掛牛馬等作方之手操宜敷様分限に應じ其心懸可致事

一百姓田畑持候大積り庄屋二十石目以上百姓は十石目以上夫より内端に持候者は右之高猥に分け候儀御停止に候間持來候田畑を子に讓候儀等小高之百姓は勿論二十石目内之百姓は一切分け申問敷候若配分致候半て不叶之儀候は、其趣申出差圖を受可申候

一田畑一步之所も荒申間敷候若田地手餘候は、正月中に其譯申出べし其儀もなく荒し置候は、根取之通收納可申付候

一田畑を費し衣食之助にならざる品作申間敷候惣て三草四木之類衣食に付要用之品は其地味に應じ仕付可申儀に候得共是以夫々之程合有之儀に候間たとひ利潤有之品に候共猥に多く作申間敷候本畑にたばこ作候儀御停止に候間其旨相心得可申候

一諸作物實入宜品前年より心掛餘分に貯置手支無之様致置蒔入之儀時節に後れず候様平日共心掛可申若荒作にいたし地所不相應に田畑共外々と違作劣いたし毎度耕作不精成者有之候は、糾之上咎申付べく且又夫食に可成品はたとひ豊作之年たり共無油斷貯置可申候其心掛もなく猥に夫食種貸等願出候共取上無之候間兼て相心得可申候

一蠶飼の儀は古より農人妻娘之類定りたる常之業候間常々無油斷精出し可申候然所近來其利潤有之候より男女に限らず農業第一之植付時節にも耕作業を捨置蠶飼にのみ打掛り居候様之者も有之自と作方不手廻りより年々取實不足致候様に成行當座一人之利徳に迷ひ永久國所之衰微を引出し候様成儀以外心得違に候條男女夫々當前之家職を取失ひ不申候様兼々心掛自今心得違無之様可致候

一絹紬之尺一端に付大工かねにて長三丈四尺幅一尺四寸布木綿は一端に付長三丈四尺幅一尺三寸右之寸尺より不足に掛出し候儀仕間敷旨御定法に候間右寸尺に相叶候様心得を以織出し可申此旨絹紬布木綿等織出し候者共心得居候様可申間置候

一牛馬之儀は作方第一の手當候間高十石目以上之百姓は不及申少高之者にては手繰次第心掛作方手都合を考飼置可申候殊に宿驛え助郷相勤候村方は猶更惣て船車等通路便利之國所にては牛馬(脱字アルカ)之外附送り之手段無之事に候間御用私用に不限兼て運送手をつかざる様に心掛肝要に候

一出生駒有之候は、其時々注進いたし可申候其外村中持馬員數是又取調男馬女馬共糞踏馬迄も不洩様相改帳面に仕建毎年相定期月に届出し可申候

一百姓退轉いたし候跡之田畑を持添に致候儀前々より御法度に候條兼て其旨を存べし惣て一軒前の跡は死失候共百姓を仕付跡を立申候若村中之了簡に不相成候は、其趣申出差圖を受可申無其儀家を崩し取又は四壁の竹木を伐あらし其者之田畑を持添いたし一軒分の跡を潰し候は、後日相聞候共其五人組庄屋組頭迄糾之上急度咎申付候

一永荒場起返其外切添等致候は、可申出若隱置脇より訴出候は、當人は不及申庄屋組頭可爲越度候

一新田仕建候儀容易に不相成事候間自然右様之場所所有之候は、其趣申出差圖を請可申候吟味之上古田の障用水之差支等無之候は、時宜に寄差免可申無其儀内證にて切開候儀致間敷候

一前々有來一里塚其外往還之並木數地(敷カ)をせばめ申間敷若立枯等有之候は、無油斷苗木植繼可申自然風折等有之往還に差支候は、當分通路不障様致置早速可致注進候

一御林立山之竹木は不及申枝葉たり共無願伐取候儀堅仕間敷候若他より盜取候歟又は村中申合伐取燒畑に致候類不埒之者有之候は、早速可申出たとひ百姓仕建置候四壁之竹木に候共無願猥に

伐取申間敷候家作其外無據入用之節は其趣申出差圖を請可申勿論小木たり共猥伐あらし候儀致間敷候

一入會野山面々持林にても切株堀取鶴之嘴を入候儀致間敷惣て山崩等にて田畑損失無之様山林苗木植立可申候

附持林之立添いたし秣場之障に成候様之儀致間敷候

一年貢諸役急度相勤未進にならざる様に兼々心掛川除道橋普請等無油斷仕並傳馬其外之役儀無遲滯相勤不得公事出入等企候様之儀堅仕間敷事

一檢見下見帳之儀庄屋組頭田主立合坪疇目様致し夫々歩附明細に相記其趣田毎に札建可申候

一毎年相渡候免相下ケ札惣百姓出作之者迄も立合披見の上割付の趣を以夫々免割致し小物成浮役臨時物迄勘定無相違様可仕尤米銀共一人前づゝ委細書付小百姓迄も疑敷不存様其譯具に爲申聞庄屋方より出候配符に押切印形いたし百姓銘々に相渡可申候

附免相成程遂吟味申付候上は不[□]願筋等堅申立間敷候勿論大小百姓入作のもの迄も免狀披見之上無高下割賦仕存念無之段印形取置可申候且又上納物不相濟以前穀物猥に他所へ出し或は能さ米を賣拂惡米を納に出し候様之儀は有之間敷筈に候へ共自今猶更心得違無之様可致候

一金納相場書相渡候は、寫いたし庄屋宅に張出し置百姓一覽致させ疑惑無之様可仕候

一御年貢上納之儀百姓第一之勤に候間役所より申觸次第日限無相違相納可申儀勿論に候畢竟其年之作毛を以免相成程吟味之上申付收納爲致候儀に候得ば互滯可致筋無之條兼て相定候期月之通

急度可致皆濟候

一郷藏之御米詰置候節郷中にて預り晝夜番可仕候然上は盜人又は米腐氣候歟鼠喰其外何によらず損米有之候共急度相辨可申並郷藏より御米出し入之節組頭長百姓まで立合何様之急御用にても庄屋一人にて郷藏戸前封を切自由に致間敷候自然近所出火之節は村中不及申隣郷迄も翔着消防若難相防趣に候は、早速御米取出し可申候勿論たとひ燒失いたし候とも無子細辨納可仕候

附雨風等之節は猶更度々見廻り破損又は雨漏等無之哉心附可申候

一御年貢米金納候度々庄屋方え取集納主名前庭帳に書記印形爲致庄屋方よりも金銀受取手形通帳に致納候度々控帳押切印形いたし遣し置後日異論無之様可仕候惣て上納向之儀は不及申金銀米錢手形なしに取引致間敷假初之物にも證文取置可申候

附庄屋印形之儀兼て役所え印鑑差出し置可申候若取落候歟替候半^(は)で難叶儀候は、其段相届可申其外組頭小百姓迄も庄屋方にて印鑑帳に記其印判相用可申たとひ何方え罷出候にも常々身を放さず所持いたし惣てむさと人に判を預遣し候儀致間敷若又無據儀にて名代相願候様之節は其趣庄屋方え相届可申候

一御藏納其外江戸廻米等拵方之儀庄屋組頭立合青米糶米くだけ糶糠等無之様隨分致吟味升目不切様入念斗立俵拵等前々之通相心得庄屋組頭米主升取名印相記候中札入差札は木にても竹にても村名米主名印等相記可申候松井田其外共出米之分は中札差札共石改之者印形いたし差札升目貫目迄も相記尤馬士率領えも手形申付可附送候

附於途中芻荷に致候儀堅停止尤繪符大切にいたし候様精々可申付候

一 松井田其外共廻米附出候節庄屋組頭立合俵數相改日限無相違附出候節於途中米差取不申候様宰領之者能々心附候様可申付且又廻米を馬士に任置宰領は別に罷越其外途中にて惡米と引替候様成儀不致候様能々申付宰領之儀は村中遂吟味慥成もの可遣候尤諸入用多分に掛り村方難儀にならざる様爲取扱可申候

附馬士宰領等惡所惣て遊山ヶ間敷所え一切罷越申間敷並石改之もの手代等え音信又は手入ヶ間敷儀仕間敷候

一 諸役入目夫錢掛候儀何によらず入用多不相成候様庄屋組頭入念當座明細に記置惣百姓立合勘定無相違におゐては夫錢帳仕立銘々印形取之尤庄屋組頭右帳面に奥印仕候は夫々引合帳面に押切致し可相渡候間庄屋方に一冊百姓方に一冊差置役所えも右同斷一冊差出置後日無異論様可仕候若不吟味之儀有之段申出候は詮議の上立合之もの迄爲越度候

附諸普請所持米等相渡候節其外被下物拜借物之類當座に小百姓え割渡證文爲致庄屋方え取置可申候惣て諸勘定上納物に繼合候儀一切致間敷不依何事一同合點致させ取扱可申候無其儀後日異論等有之候は庄屋可爲不念候

一 永荒引高之内精に入隨分立歸候様可心掛候其地主斗之力にて難叶幾年過候ても不立歸候様之所は其村中として助合夫にても難成大造之所は訴出差圖を受可申可立歸所を粗略にいたし捨置申間敷候

附起次第之分成丈心掛早々起返候様可仕候假令百姓不精にて不起返候共其年より十三ヶ年目には無異儀年貢申付候間兼て其旨相心得尤前々より之起次第の場所も自今前書之通申付候條是又相心得居可申候惣て御所務可立筋之所於有之は是之可申出候

一 山川其外共運上を以請負有之場所は受負人之外立入申間敷候儀勿論に候
一 夫錢帳五人組帳宗門人別帳年々正月中に取調差出し可申候
一 身體不成百姓は前方より庄屋組頭五人組見斗其もの可納御年貢相考猥に遣はせ申間敷候若又欠落杯いたし候節は其御年貢村中として辨納可仕候且又庄屋手元怪敷様之儀見聞候は能々心付引負等出來不申内其心得可有之候

一 御用向其外村方申合之儀に付庄屋方え百姓寄合候節村入用掛りの食物酒肴賄申間敷候
一 在方掛り御役人其外共何によらず音信物一切仕間敷假令庄屋方にて入用割掛候共出申間敷候若内證にて音物等いたし脇より相知候は答可申付且又御役人手代其外村廻り之者等百姓え對し依怙最負其外非分之取扱無之様精々申含置候間兼て其旨を可存候

一 諸事御用向にて御役人在中罷越候節一組え掛り候儀は賃錢賄一村限之儀は村賄に相立夫々御定之通入用被下候間賄帳印形申受差出候尤右等之節馳走ヶ間敷儀決して不致召仕小者等に至迄右に准勿論金銀米錢酒肴其外何様之輕き品たり共音物堅不可仕貸借等當物之儀に候共仕間敷候若當用之品相調候は所相場に代物受取可申候

附手代其外共是又右同斷相心得泊之節逆も野菜等所に合之品を以相賄酒肴は有合候共出し

申間敷其外召仕下々等押賣買又は貸借之儀に付不埒なる儀申掛其外かさつ成致方無之様申付候間其趣相心得可申尤音信物は又一切致間敷且又所に無之品を取寄賄賂之様に直段安く賣渡候様之儀是又致間敷候

- 一 往還筋道橋損候節は早速注進致すべし前々より村普請に仕來候道橋等是又入念常々無油斷取繕人馬通路差支無之様可仕其外村々受取之扮除場町割等を以見苦敷無之様平日より可申談候
- 一 川筋村々自然洪水の節不限晝夜鳴を立候はゞ庄屋組頭は不及申惣百姓隣村迄も早速出合繩俵薦杭木持籠鍬鎌等持寄堤川除井堰押切不申候様隨分相防可申候勿論平日無油斷見廻り破損之場所大破ならざる内相圍可申候

附堤に有之候竹木芝草葭萱之類保方之爲に候間一切刈取申間敷其外堤際を切崩し作物等仕附候様之儀堅仕間敷候

- 一 川々満水等にて橋落候節川越賃錢法外に受取申間敷其所にて前々大抵の仕來も可有之儀に候間村役人立合致吟味輕き旅人等迷惑不致候様越立遣し可申候尤難越場所等纒之賃錢を貪往來怪我人等出來候はゞ其役人迄越度たるべく候

- 一 用水之儀先規之例を以兼相定置渴水之節爭論無之様可仕候且又用水掛引之儀川下之差支をも無構手前之勝手宜様いたし或は兩側に井口有之場所片側之井口附替候時雙方申合一方之勝手に任仕置候儀堅相成ず右之類雙方相對を以立合普請致可申候
- 一 堤川除井堀其外普請所之分常々申合小破之内修復を加可申候勿梓岸圍之石垣等破損之場所春中

百姓手透之内に見分致書付を以申出差圖を受可申候小破之節捨置大破に及申出候はゞ村役人可爲越度候條常々油斷致間敷候

附用水之溜池並井堰共每春手透之内渡可申候

- 一 落掛等兼て受取村方より萱芝土俵等無油斷寄置自然水出候節戸前立明け念を入可仕候不念に致し押切らせ候歟戸前立明け延引致し耕作損毛爲致申間敷候且又落井堀掛井堀えうけを伏せ或は魚をかへ取候て井堀を堰留用(水)之障に成候儀仕間敷惣て溜井を不及申堤用水堀土手其外水溜置候場所切落し掛引等猥に致間敷候若水落し候半て不叶節は其時々申出可受差圖候尤切落候跡丈夫に築留可申儀勿論に候

- 一 掛井堀落井堀其外道幅等をせはめ秣場林際を切添田畑を仕出し並先規無之所え道を附馬入等私に附替申間敷若道附替新堀等仕出不申候て不叶場所所有之候はゞ其趣申出差圖を受可申候

- 一 御朱印傳馬其外往還之繼人馬先規より勤來候儀は不及申たとひ宿驛の外在々たりといふ共御用にて通候衆有之候はゞ晝夜風雨を厭はず無遲滯人馬差出可申尤御朱印御證文之外御定賃錢受取繼送可申候囚人通候節是又無遲滯人差出し異變無之様諸事入念可申候

附往還之旅人を對し不作法成儀仕間敷候

- 一 御傳馬宿え助郷村々より人馬寄候儀問屋年寄吟味いたし猥に人馬觸出或は其宿之馬を圍置面々勝手よき荷物を附候様成儀一切致間敷其外前々從公儀被仰出候御法度之趣堅相守御定之人馬退轉無之様常々致吟味人馬共無遲滯繼立可申候

一道中筋宿々定助大助之儀宿場問屋方より人馬申觸次第不(厭)晝夜無遲滯差出問屋年寄差圖に任相勤可申尤人足馬士往來之面々對し慮外いたし或は荷物主宰領合點なくて途中にて荷物附替候儀致間敷勿論一村之内人馬割合無甲乙様に毎度庄屋組頭致吟味尤賃錢無相違割賦相渡可申候

一往還其外にても旅人相煩候節は早速醫師に掛養生いたし遣可申候若又宿村送之儀相頼候は其趣致注進兼て御定之通り取調宿繼村繼を以送り遣可申候

一平日御用向申付候節時刻無相違急度相勤可申候並手代共御用にて致廻村候節無益之人馬等差出候儀致間敷惣て村繼之廻狀晝夜風雨之節共刻付相改無遲滯相送り受取手形取置可申候尤御用にて召呼候節刻限無相違急度罷出可申候

一不謂公事出入致間敷段は勿論之事に候得共無據子細有之出訴不致候て(不)叶儀候は組合親類等得と申談之上村役人迄申出庄屋組頭奥印を以可訴出尤訴狀文面取飾不申願立之趣意相應じ候様之心得を以有体に取調可申出候

附惣て公事出入之儀は百姓衰微之基に候間常々互に相愼可申候若又無據子細有之出訴之儀申出候節庄屋組頭(以)非儀を奥印難澁申候歟又は私欲を以百姓を掠奸曲之取扱等有之無餘儀村役人を相手取願出候様之節は隣村庄屋又は其組割番方を願出候得は其趣意承糾取次候筈に候間其旨を存打越へたる願直訴等堅仕間敷勿論訴訟人非分之儀申立村役人申聞候儀を承引致さず□て奥印無之願書等差出候は吟味之上急度可申付候

一不依何事一味(同)心徒黨々間敷事を企不謂公事出入を好惡事之腰押致候者有之候は早々可申

出候吟味之上頭取は不及申一味之者共迄急度御仕置可申付候若隱置候は庄屋組頭五人組迄可爲曲事候且又郷中にて騒動ヶ間敷儀有之風聞承候は是又早々可致注進候

一村境は勿論田畑山林草野等之境目に付異論無之様常々入念改置可申候

一他所え掛り候公事出入若し出來候は庄屋組頭隨分正路に詮儀いたし内分にて不相濟候は早々可訴出候不詮議にて非分成取扱最負之沙汰等堅仕間敷候

附他所え掛り候出入は添簡を以可罷越筈に候間其趣意申立添簡之儀可願出候

一田畑永代賣之儀前以御制禁に候間堅仕間敷並質田地其外小作等夫々御定有之間其旨急度相守放埒之取扱致間敷候事

一田畑屋敷年季を以質物に入金銀借受候は證文に字位反別水帳之通無相違筆限に認め何ヶ年季に相定金子何程借請年季明元金相濟候は可更戻^(受カ)尤年貢諸役は金主方にて相勤候規定にて庄屋加印致可申若又田畑筆數多く一紙に難認候は別帳に認其譯本證文に書載右別帳をも庄屋判印いたし可申候

一質入年季之儀は十ヶ年を限永年季に入申間敷候自然出入等に相成節庄屋加印無之候間其旨可相心得候若又質置主庄屋に候は相庄屋又は組頭百姓代にて可致加判候

一寺社御寄附之田畑質入^(不脱カ)相成候間縱遣證文を以質物に入候共一切取申間敷候此旨に背質物に取候は地所取上雙方答可申付候

一質地證文に字位反別書載不申村役人加印無之其外質地之年貢諸役質置主方にて相勤質取主は作

取にいたし或は直小作之年貢質取主より差出諸役は小作人より相勤又は質入地面之内半分質置主直小作にいたし年貢諸役共丸(マ)に相勤候類並水帳に一筆之地所を分候て質入いたし候様之儀御法度に候條此旨堅相守不埒取扱致間敷其外證文にあやしき文言有之分たとひ出入に成候共取上無之其上雙方共咎申付候間心得違無之様可致候

一 質地年季中取返度段願出候共取上無之候間年季明候迄相待可申候其外年季定無之金子才覺次第可受戻取極之證文にて質入いたし候分質入年より十ヶ年過取戻度段訴出或は十ヶ年季過例之質地年季明より十ヶ年過訴出又は流地證文之質地年季明候後訴出候類惣て取上無之旨兼て其旨相心得可申候

一 二重質之儀御法度に候且又元地主納得之上は格別預り置候質地を相對も無之亦質に入候儀堅致間敷候

一 田畑小作入之儀是又證文に字位反別水帳之通り無相違筆限に認都合何ヶ所預り小作いたし候上は年貢諸役相勤其上小作米にても金子にても何程に定急度可差出若相滿候はゞ地面取上候様に相認是又庄屋加印いたし可申候年季定は勝手次第に候且小作證文取置不申或は質地本證文にも小作之儀書載不申候分小作滯之儀訴出候共書入金に唯小作借之濟方は不申付候

一 別小作直小作共二十ヶ年以上小作致居候地面は其小作人格別之不埒筋無之候はゞ猥に取上申間敷候若又小作米金借候を幸に右地所取上度段訴出候共小作借之濟方は可申付地面之儀は其儘爲作可申候

一家作衣類食物其外其身之程に隨ひ奢たる儀致間敷事

一 百姓暮方之儀諸事質素に致奢ヶ間敷儀致間敷候惣て年々其土地より出候品を以萬端取賄候事に候得ば豊凶之程も難斗又は臨時入目之儀も有之事に候間常々心掛何事も内端に致事儉約を守可申候

一家作之儀分限より軽く致無益之費を省要用之外目立候普請致べからず惣て門扉庇等有來無之新規之普請不相成御定に候間其旨相心得可申候

一 衣類之儀惣て絹紬木綿麻布此内を以分限に應妻子とも着用致し此外之品無用に可仕其外下女下男之類布木綿に限帶同様之旨公儀御定有之候得共都て絹類不相成候御領法に候間其旨相心得御制度之趣堅相守可申候

附 縞子緞子系織卷物類は猶更帶半襟袖口等にも堅相用申間敷候

一 食物之儀五穀雜穀等は不及申糶米(マ)粉菓物類草木の根葉其外何によらず心掛平日より餘分之貯いたし置凶作等の節飢に不及候様之手當專要に可致候

一 朝夕之給物に奢致すべからず或は魚鳥其外遠方之珍物等賞翫致候儀誰しも好候所に候得共奢は易き物にて入用之入不覺相増候得ばいとなく困窮之基に成候間酒食等奢無之様平日共心掛可申候

一 乗物並無鞍馬停止に候其外一尺五寸以上之長脇指御制禁に候間右寸尺より内端之品相用可申候
一 町人舞々猿樂等は公儀御扶持人に候共刀差申候事(不脱カ)に付其外逆も右に准相心得御免なくして帶刀

致間敷候其外輕き侍奉公に出其後在所引込主人方より少々之合力受居候共刀差候儀不相成御
定に候間心得違無之様可仕尤村役人無油斷心得猥[□]無之様可申付候
一婚禮其外神事佛事惣て吉凶或は日待等何事によらず實意を取失はず手輕にいたし勿論右等之節
酒多く吞申間敷事

一聳嫌養子取組之儀親類組合等得と内談致候上村役人之申出送等差支無之様其外身元等能々念を
入重て異論無之様可致候惣て縁談取極候節雙方共祝儀贈答振舞之類隨分手輕に致し勿論支度等
も分限より輕く可申談候近頃結納引引出等次第に手重に相成困窮者共及難儀自と年だけ候迄も
縁組差延候様に相成中には放埒之儀も出來いたし甚以不可然候勿論大禮之事に候得は可成丈取
繕申度は人情其苦之事に候得共甚敷は持參金之多少を論じ鄙劣之沙汰に落入却て禮儀を取失ひ
賣買同様之躰に相成候ては甚以不相濟事に付此旨村役人等得と勘辨致し猥[□]無之其程相應之
取扱可致候其外新宅又は初産之祝儀等は又手輕にいたし奢たる儀仕間敷且又祝言之水祝或は石
打又は酒をねだり吞其外狼籍成儀堅致間敷候

一神事祭禮等先例に隨成たけ失却不相掛勿論非禮之儀^(マ)無之様可致候或は相撲燈籠揃作り物に法
外之儀仕出し多分之夫錢割掛候様之儀堅致間敷諸事先規之例を追仕來に無之新規之儀相企申間
敷候其外風祭等致候節も右に准可相心得候

一佛事等之節分限不應之取飾いたし名聞に落入或は法事之席におゐて酒宴に長じ遊興ケ間敷體に
相成候ては作供養之本意に叶はず先祖追福之志に不相成候間隨分質素にいたし誠を盡し相營可
^(佛カ)

申候

附葬禮之節野酒停止に候

一新規之社社建立御制禁に候條小堂菴室之類たりとも願取建申間敷候事^(無脱カ)

一惣て堂舎小菴之類私に寺號相用候儀不相成勿論在々にて是迄有來候小祠或は佛像等は^(マ)其分た
ひ供養塔庚申塚之類たり共新規に建申間敷候並祭禮供養是又新規之儀一切取建申間敷候

一寺社山伏等法衣裝束之儀其格式有之事に候得共平日隨分質素に相心得惣て法外之身形不如法之
行跡無之様[□]可申儀且又住持神主寺繼目之節は其段届出可申筈に候間村役人心附可申候

一出家社人山伏行人道心者又は[□]非人等迄常々相改胡亂成者住居爲致申間敷勿論他より來り候
者届なくして寺社境内に差置申間敷段々可申達置候

一開帳扉等致度候は兼て願出差圖を受可申出開帳等之儀は猶更の事に候且又他所より神輿等送
來候儀有之候共一切受取申間敷暫の内も差置候儀致間敷候

一御免勸化相對勸化等兼て御觸有之儀は格別其外無願勸化帳相廻し他所等迄勸化致候様之儀堅致
間敷筋に候組檀家又は氏子等より寄進施入儀は制限に無之候惣て右等之儀寺社有之村々は兼て
相心得居可申候

一踊狂言歌舞妓操之類不相成其外喧嘩口論惣て何事によらず御制禁之儀堅相守火之元別て入念可
申事

一勸進能相撲見せ物類無願致間敷或は神事等にて村中子供打寄草相撲いたし又は獅子舞花火等前

前仕來之儀候共時々申出差圖を受可申候

一在々騒敷節はつまり能所に番屋を建晝夜共番致し郷中は勿論隣村等より聲を立候は早速出合惡黨者捕押候様兼て心掛可申候

一火事喧嘩其外何事によらず不慮之儀有之候は、早速注進可致候勿論火之元之儀平日より能々申合風烈等之節は猶更繁に相廻り夜分之儀は別て心附夜番之者無懈怠申付階子火たゞき水籠手桶水はじき其外火消道具常々用意いたし自然之節手支無之様兼々心掛置村中は勿論隣郷等に出火有之候は、早速駆着隨分消防可申右等之節若出合さるもの有之候はば組合として相糾可申候且又村方出火有之節は鎮火後早速火元並類燒之家數時刻等委細書付可致注進候

但消防之節出置候諸道具等えは一切手附申間敷候

一村中にて若喧嘩口論有之候は、可成たけ取押穩便に爲相濟候様致べし若不相濟候はば庄屋組頭裁判いたし夫にても不相濟候はば其趣注進致べし他村にて喧嘩等有之節猥りに馳集申間敷候

附喧嘩等有之節飛道具持出べからず尤雙方荷擔いたし申間敷候

一馳込もの有之追手之者慕來其届け有候に於ては早速村中之者出合候て取逃不申候(様)致置可致注進候

一喧嘩口論等にて手疵負並手負之者參り候節は其所に留置療治介抱いたし庄屋(餘字カ)組頭立合委細之始末承糾可致注進其外行倒之者有之候は、是又可申出候病氣並宿元親類承届早々可申出若相果候は、其段も可申出候右之類不存ふりを致し捨置候は、後日相知候は(共カ)急度可申付候

附所之者不慮に手疵など負候儀有之候はば猶更早速可申出候

一自害人自縊其外行倒者有之候は、村役人立合其者之年頃容躰着類其場之様子有増取調死骸は其所を替不申番人附置早速注進可仕候尤由縁之者尋來候は、其者之名住所承届是又可申出候

附旅人其外何者にても煩候歟又は酒に醉道路に倒伏者有之は介抱いたし所持之品々相改預り置本復之後右之品相渡尤其者之村所名前承届遣し可申候

一何者によらず人をあやめ候者有之節村中は不及申隣村よりも出合捕押置早速可致注進若切拂逃去候は、先々迄附幕落付候處を見届先方え其段急度申斷早々可申出候理不盡に打殺候様之儀は致間敷候

一惡黨者盜賊或は博奕之輩は不及申惣て徒もの其外身元知れざる者村中に差置申間敷若左様之者の宿いたし候者有之候はば互吟味にいたし早々爲追拂可申事

一盜賊又は惡黨狼藉者有之候は、何方にても鳴を立可申其時は村中並先々之村よりも早速出合搦捕可申候若近郷より追來候は、無油斷出合召捕候上は子細相尋追來候者え相渡可然筋に候は、證文取之相渡遣すべし若難相渡子細有之候は、追來者共に留置可致注進候若又堂宮山林野末川原等に惡者搦り居候は、村中出合搦捕若手に餘候は、早速可致注進候

一在々所々にて盗人入候は、紛失之品々委細相改早々可致注進たとひ雜物不盜取候共其譯可申出候若届方延引致候は、村役人組合迄も可爲不念候

一火を附候者及見聞候は、早々可申出候惣て火附盜賊之類後日仇を致候儀を恐れ注進致兼候哉に

相聞候右等之儀より彌以惡黨者共村々徘徊致し村役人の手に餘候様にも成行事に候間向後無遠慮可申出候假令同類たりとも其科を赦し惡黨者共仇を不致候様可申付候若隱置見遁聞通いたし候はゞ本人同様之罪科に可申付(事)

一在々におゐて馬盜人間々有之候に付晝夜に不限怪敷躰之者馬を牽通り候はゞ相改難心得儀有之候はゞ其趣可致注進候

一衣類諸道具其外門橋等之はつし鉄物類出所知れざる品賣買致べからず右之品々若質物に入候はゞ置主證人吟味致し印形致候上預り可申候不吟味にて盜物買取又は質物に預り候はゞ糾之上答可申付候

一博奕之儀前々御法度之趣堅相守可申惣て賭之諸勝負一切仕間敷尤宿致し候はゞ本人より重き答申付其品に寄村役人組合等迄夫々答可申付候

附三笠附之儀前々御法度に候間堅相守可申候

一遊女飯盛藝子之類宿驛等にても猥に差置申間敷若隱賣女等差置脇より相知候はゞ宿之本人は不_及申其所之役人組合迄可爲曲事候

一金銀衣類其外何品によらず_(拾カ)捨物有之候はゞ早速可致注進候万一隱置後日_(從)寄他所顯候はゞ急度答可申付候

附落主有之候はゞ其品々渡し遣し拾候者えは相應之禮爲致可申候若又落主彌不相知候はゞ其趣届出候上右之品拾候者え爲取可申候

一諸浪人抱置候儀堅無用に候若親類縁者又は遁ざる者に候はゞ其趣庄屋組頭を相斷合點の上證人を立手形取置其譯可致(注)進若又他所え宿替致候はゞ其段も相届可申無其儀猥りに差置儀猥に致間敷候

附所出生之者に候共年久敷他所に罷在立歸候者有之候はゞ先々にての様子能々致詮議慥成様子承届其子細可申出候

一男女によらず欠落者並無宿惣て身元知れざる者一宿之宿をも貸申間敷候飛脚之者其外一人旅之類に能々見届け慥成儀有之候はゞ宿場は問屋年寄え斷り宿貸可申在々村々にては一切宿致べからず若宿貸不申候半で不叶儀有之は庄屋組頭を相斷差圖次第可仕候

一他領他村之者村方に止宿致度段相願候はゞ其者之出所家職之様子承糾先方庄屋を相斷差障無之者に候はゞ慥成受人を立宗旨等相改證文取置其段相届差圖受候上差置可申候若無願差置何等惡事出來候はゞ其品に寄家主は不_及申役人組合等迄答可申付候

附店立候節は店受人より引手形取置可申候

一旅籠屋におゐて通り一通の旅人たり共宿いたし候はゞ名住所等能々承宿に抱可申若病氣其外無據儀有之逗留致候はゞ其趣申出べし尤怪敷体に見受候者は一_夜と留申間敷候

附旅人取荷置候品有之候はゞ早速追掛爲持遣し可申候

右之條々村役人は勿論大小之百姓篤と令承知五人組限能々申合常々遺失無之様堅相守可申候若違背之輩於有之は可爲曲事者也

右御條目之趣村々一統水吞之者迄不殘承知奉畏候上は自今以後御法度之趣彌以嚴重に相守少も違背仕間敷候此條目庄屋方に寫置候に付惣百姓寄合度々爲讀承常々遺失無之様可仕候若五人組之申合に洩御箇條之趣不相用候者有之候は、當人は不及申親類縁者庄屋組頭長百姓五人組迄同様之申事にも可被仰付候爲其庄屋組頭長百姓五人組迄連印之一札差上申處如件

天保四年巳月

信濃國小縣郡

下武石村五人組

- | | |
|-----|------|
| 判頭 | 忠五郎 |
| | 兵五郎 |
| | 五左衛門 |
| | 三之助 |
| | 平右衛門 |
| | 八十吉 |
| 長百姓 | 茂兵衛 |
| 組頭 | 榮助 |
| 同 | 甚之丞 |

〔中略 五人組の各箇名〕

庄屋 治右衛門

上武石村五人組

〔中略 以下六箇村形式前に同〕

御奉行様

右御條目之趣一同承知仕御請書奉差上候に付奥書印形仕差上申候以上

- | | |
|---------|--------|
| 武石村 | 金子利兵衛 |
| 割番 | 下村忠右衛門 |
| 同 | |
| 下武石村 | |
| 上武石村 | |
| 下本入村 | |
| 上本入村 | |
| 鳥居村 | |
| 小澤根村 | |
| 余里村 | |
| 冲村 | |
| 惣六百五十四人 | 百二十六組 |
| 〆百三十七人 | 二十六組 |
| 〆百一人 | 十八組 |
| 〆六十五人 | 十二組 |
| 〆百十九人 | 二十四組 |
| 〆三十五人 | 七組 |
| 〆七十一人 | 十四組 |
| 〆七十六人 | 十五組 |
| 〆五十五人 | 十組 |

〔備考〕

- 一 所在 小縣郡史、六一九頁。
- 一 舊領主 上田藩、松平忠優。(現、長野縣小縣郡武石村)
- 一 形式并に種類 連判原簿。
- 一 箇條數 百二十五箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。從來の五人組帳前書の條目を網羅したものであるが、特に天保の飢饉を背景とした儉約令や地方的な副業獎勵に關する箇條が加へられ、上田藩獨特の前書である。

天保九年石見國那賀郡跡市村五人組御條目帳 (第九十四)

覺

- 一 前々從
- 公儀被仰出候御法度之趣并
- 御領主様御法度之品々堅相守御觸御達之趣一々小前末々之もの迄讀聞せ相守らせ可申候若被仰出之趣下々迄不行届之儀御座候は、村役人越度たるべき旨奉畏候事
- 一 五人組之儀は家並を見合せ^(最)摸寄より各々五人つゝ組合其内にて筋合相分候貞實成者一人を頭分に仕禮法不亂何事に付而も差圖請可申候若し庄屋組頭等非道之義仕百姓共及難儀候儀は右頭分

之者より内々御注進可申上事

- 一 五人組合中は萬事親子兄弟同様に物毎にむつまじく申合せ御法度之趣不背様に共吟味仕若農業家業等無精之輩等有之者組合より心付け出精爲致可申候且つ未進借金之受判等にいたる迄組合にて仕祝儀佛事等にも立合諸事費無之様相共に可仕事
- 一 組合之内長病人牛馬之煩ひ或は不幸に而商買仕後れ御年貢收納等差支候は、共に助合皆濟爲仕べく候并植付蒔付等も助合可申候若組合計に而不行届節は村中助合勿論之事
- 一 若五人組に放れ候者有之候は、早々人數不足之組に入可申候并養子之儀存生の内庄屋へ相届極置死後に爭論無之様可仕候尤筋目違之者養子に仕間敷事
- 一 組合之内心え違之者有之異見差加候共農業不精にて分に過候て未進借金等いたし行末難見届者御座候は、組合并親類相談の上其身又は妻子を奉公に出候而也とも借金濟切村方へ立歸家名相續相成候様に仕跡之田畑山林は不荒様に世話仕小作金を以御年貢又は借金方へ相拂可申候若又如何様意見致候共家名相續無覺束ものは村役人方へ相届御下知受可申候若組合にて隱置脇より相顯れ候節は組合の者迄如何様の御咎にも可被仰付候并に出家社人修驗之類にても行跡不見届者御座候は、兼而御届可申候事
- 一 田畑山林永代之賣買仕間敷年季の儀は拾年を限り共に手形取かけし組合の者并村役人共加判を以取極可申事
- 一 山林竹木みたり伐取申間敷候若伐取候節は御届申上御下知之上伐取可申候

一 盜賊并火之元用心之事常々心懸け兼而手筈申合置若村中へ怪敷もの立入候は、追出すべし若難
澁申におゐては捕置御注進可申事

一 怪敷躰之者夜中歩行候を見懸候者は見送可申候及深夜歩行候者は他所者は勿論所の者にては何
方に何用にて參り候哉と名を聞届可申候事

附船着の村々船中より人出夜ふけあるき候は、是又見送り可申候事

一 風烈之節は村中之もの申合無油斷相廻り火之元共に心付可申候若心許なき様子之家見受候は、
家主呼出し急度吟味可仕候事

附村役人共も不絶相廻り堅く可申付事

一出火之節は早速水桶火消道具銘々持來火元へ駈着精々相働消留可申事

附隣郷に候共火消道具爲持村役人火元へかけ付可申候尤山林に火入さる様精々可仕支

一出火出水之節共早速郷藏へ相集り大切に相守可申候ならひに大風雨の節も見廻大切に相守可申
事

附社倉糶藏御圍藏大切に仕

御直筆の御額等は別而入念不絶見廻り異變無之様可仕たとへ郷中にて御借藏候共御上之藏同
様に大切に仕候義は勿論之支

一 宗旨猥に替申間敷候若無據子細にて替候は、其旨御届可申上事

附召仕之男女宗旨入念相改寺請證文取置可申候事

一 他國他村より越來候者假令當村親類縁者御座候共慥に出所相改其所より急度請人を取其上奉伺
候て村中に差置可申候猥に差置候儀仕間敷事

一 奉公等罷出候儀は不及申用事に而他國へ罷越候節神佛へ參詣等罷出候は、庄屋組頭は御支配え
相願百姓は庄屋へ届可申候届なく他所へ相越夜泊仕候儀堅仕間敷事

一行倒并變死手負之者捨子捨牛馬等御座候節は早速御注進可申上候尤存命候は、隨分介抱仕置可
申事

附何品にても捨物御座候節は御注進申上御差圖うけ可申事

一村内へ盜賊入候而取られ候品御座候は、書付以可申上候若他所へ被盜候品見出し届御座候は、
村役人立會詮儀之上早々御訴可申上候其盜賊欠落爲致候節又は預之雜物紛失仕候は、其宿主は
不及申五人組迄急度御答被仰付候旨奉畏候

附盜賊捕候は、早速御訴可申上候事

一 侍躰之他所者相越相尋義御座候は、其段御届可申上候若書付等さし出候様申者御座候は、其旨
奉訴可受御下知候事

一 御年貢上納之儀は村中大小之百姓不殘立會少しも不審なき様内割仕米金并請紙共早速皆濟可仕
候若御年貢皆濟以前欠落仕候者は組合にて辨上納仕其旨をも尋出御注進可申上候事

附若心え違にて相背候者は如何様の御答にも可被仰付事

一 御年貢百姓より取立候儀は御通帳にて差繼之外相對之勘定御年貢に相加差繼勘定堅仕間敷候事

- 一 諸御普請人足扶持其外差下之米金等有之候節村中大小之百姓立合當座に割渡可申候事
- 一 諸勘定之儀村方諸役夫錢入用帳に明細に認め過不足無之様に仕右帳面前以御支配え差出押切御印形頂戴仕村中披見之上割渡可申候惣而村中寄合之節何事によらず酒肴を出し合飲食仕間敷たとゑ只今迄仕來りとも自今堅停止仕べく旨被仰渡奉畏候事
- 一 御年貢米拵之儀くだけ米死米青米雜穀等之交り物無之様に吟味仕繩俵等入念内俵にも古俵等用ひ不申様可仕候事

附自今以後中札差札等落なく入可申支

- 一 御年貢御藏納之節組頭頭百姓之内才領仕御米大切に運送仕舛目御定之通不足無之様念入可申候所之米は賣拂惡米に仕替相納候は、如何様御咎にも被仰付候事

附海邊村之勝手合に而御米船積仕候節萬一破船仕候とも急度辨納可仕候事

- 一 御年貢米郷藏に詰置候内は番人差出爲相守可申候風雨強節は庄屋組頭見廻り破損有之候は、早速修覆仕雨漏等無之様番之者も別而用心諸事心付候様可申付事

附萬一出火御座候而燒失仕候共村方辨納仕候義勿論之事

- 一 百姓之内不埒有之候逆村役人共無届私に所を追立候様之儀決而仕間敷事

- 一 常に耕作入念仕付手入等時節を考出精仕たとへ壹畝壹歩之田畑にても荒し候而上地に致候義決而仕間敷事

附永荒地引高之内隨分精入立歸る様可仕事

- 一 惣而企惡心神水を飲み誓約をなし徒黨ケ間敷義仕間敷候事
- 一 所々神佛を尊ひ并菩提所を疎略に仕間敷事

附念佛題目庚申塚等候は、願出て御下知之上建可申事

- 一 博奕并賭之諸勝負事は勿論朝寢晝寢を好み或は遊女狂ひ相撲音樂盤上茶之湯鞠活花等無益之義一切仕間敷候若相背候者御座候は、村役人は勿論五人組迄如何様之御咎も被仰付候事

附荷鞍馬に毛氈を敷又は乘鞍置候而乘候儀堅仕間敷候并病人之外村方町方駕籠に而乗步行候儀一切仕間敷將又馬商人之外乘馬飼置候儀堅仕間敷候事

- 一 病死之者御座候節於御領法火葬之儀皆停止可仕之旨奉畏候事

- 一 村役人は勿論末々之者迄御家中諸士へ對し急度下座可仕候輕き衆たり共聊無禮仕間敷往來之旅人たり共武士へ對し無禮無之様仕へ候事

附於途中牛馬等率候節出合候は、牛馬之口をとり急度片脇に寄扣居不調法無之様能く心懸け可申并笠或は手拭等かむり居候は、急度脱き可申事

- 一 往來之旅人其外他所もの村内へ參り煩候而先々參り候事難成候は、能く看病いたし早速御注進可申上事

- 一 雨天之節御圍輪之内におゐて大小之百姓共下駄はき候儀急度仕間敷惣而何方にても帶刀之衆に出合候は、下駄ぬき候而下座可仕候事

- 一 諸御役人方御用御出役之節御賄御定法之通一汁一菜にかさり可申其餘の品は決而差出申間敷候

尤御手輕之御主意には候得共粗相には不仕随分入念清淨に仕立可申候萬一心得違にて餘の品さし出候は、如何様の御咎も被仰付候事

附女給仕者決而差出申間敷候且帶刀之者へは黒ぬり椀にて差出可申中間以下には赤ぬり椀にて差出候而も不苦旨之仰渡奉畏候事

一欠落者諸浪人并獨者惣し而行衛不知者へ宿借し申間敷候往還宿之儀も旅人一夜泊りは格別二夜も泊り度旨申者御座候は、其子細得と承り村役人并五人組へ相届け吟味之上慥成者へ候は、宿貸可申事

附武士一宿致候は、其旨御役所へ御届可申事

一田畑新開等は勿論新規之運上物等有之候節は其旨急度御届可奉申上候若隱置後日相あらわるゝにあつては如何様の御咎にも可被仰付事

一鶴は勿論其外水鳥殺生仕間敷候并御留川へ入殺生堅仕間敷候惣して鳥獸共に憐みを懸け慈悲之心を第一に可仕事

一惣而男女之衣服は木綿布相用頭巾半ふり袖口等に至迄も緒布(緒カ)之類かたく停止可仕候尤七十才以上之もの下着緒類(緒)不苦旨奉畏候事

附女之髮之うへべつかうは勿論たとへ□焼付にても銀色なるは無用可仕事

一家作之儀分限不相應に大造成普請此已後一切仕間敷候若無據目立候普請仕候節は其段御支配え御願可申上事

附新規に門建候儀仕間敷事

一總而御用向大切に心掛け等閑に致候儀決而仕間敷候御召狀到來の節は時日を不違早速罷出御用相勤可申事

一諸觸狀配符等無遲滯先々村方へ品々相届先々村方へ受取手形取置可申候尤別付飛送り之御配符等は晝夜風雨を不厭繼送り少も遲滯仕間敷候事

一村役人共諸願事諸届事等必御手代中へ差出可申萬一直々御代官様へ越訴等仕候は、如何様の御咎にも可被仰付候事

一諸百姓印判常々大切に仕たとへ懇意之者たり共猥に預り申間敷候尤二々通所持致間敷候万一取落し又は損し改候は、村役人へ相届可申候村役人は御支配方へ急度御届可申事

一村内名寄帳毎年仕直し可申候勿論其寫庄屋方に差置御年貢取立埒明け可申事

一總而衣類諸道具何に不寄出所を能吟味仕盜物等買取申間敷候并牛馬賣買之儀も出所能改め村役人五人組へ申談慥成請人を取買調可申事

一川筋之村に出水之節は不限晝夜近村之者出合土手并橋樋等破損不致様出精相せき可申候竹木鍬もつこ繩俵古藁等防之用に立へき品は何にても持寄防留可申事

一井手川除其外御普請所前々不相願場所を申僞願立候儀決而仕間敷候万一右様之儀御座候は、如何様の御咎にも可被仰付事

一御傳馬宿之義

御朱印傳馬人足は不及申駄賃馬人足共に前以先觸到着候は、晝夜に不限無遅滞繼送可申候事
一年若なる後家或は娘等有之方へ若き男打寄長嘶等いたす間敷并若き男女にて途中打つれ立ある
き候儀堅不相成候右は男女の間亂に相成人道を破る基にて人たる者の決面あるまじき所業故た
とへ前々法度に無之とも以後は嚴敷令停止候若し万一右様之儀有之自然相對死等之儀有之候は
は組合は勿論村役人迄も嚴敷御答可被仰付旨被仰渡候趣奉畏候事

附そうかと唱候隱買女躰之者は組合内にて共々吟味仕決て差置申間敷候万一差置候は、組合
村役人共如何様御答被仰付候共御非分とは不奉存候事

一此度五人組合御定之上は別而篤く心掛け子たるものは兩親へ孝養をつくし下人は主人を尊び夫
婦兄弟中むつましく老人をうやまひ老て子なきもの幼して近き親類なきもの又は後家病身片輪
者等を憐み物毎に偽りかさりなく頼母しく申合行跡宜敷ものは出家社人等に至る迄敬ひ尊ひ物
の道理をわさまへ候様專一に心掛可申事

附村中にすくれて忠孝貞實なる者有之候は、急度御注進可申上候并親類身寄もなき片輪もの
等飢寒も凌さかね實程(候カ)のものは組合村役人方にて介抱いたしよ、百姓方之助力に及ひか
たく候は、御支配方へ御届申上可從御下知事

右惣ヶ條之趣村方町方にて寫仕庄屋宿老手前差置一ヶ年三度つゝ村中大小之百姓子供下人召仕之
者に至迄庄屋宿老所にて爲讀聞堅相守可申候若一ヶ條之内相背候者御座候は、當人は不及申に村
町役人五人組迄如何様御答にも可被仰付候万一爲讀聞を等閑に捨置小前末々之者御法度を承知不

仕もの御座候は、村役人共如何様之曲事にも可被仰付候依而連印一札差上申處依而如件

天保九戌十二月

何村	庄屋	何	某印
"	組頭	何	某印
"	"	何	某印
"	五人組	何	某印
何村にて不殘			
百	姓	何	某印
何右衛門下人		何	某印

〔備考〕

- 一所在 原本不明。謄寫本、西村精一氏所藏。
- 一舊領主 未詳。(現、島根縣那賀郡跡市村跡市)
- 一形式并に種類 轉寫本。

(表書)

天保十年亥正月十七日
五人組御條目帳寫
跡市村

一箇條數 五十二箇條。

一内容并に系統 系統未詳。儉約令が嚴重で全體に教化的傾向が強い。

天保十一年上野國邑樂郡仙石村名主組頭五人組連印一札

(第九十五)

差上申一札之夏

一前々從

御公儀様被 仰出候趣者勿論自今(以)其後被 仰付候御法度堅相守可申事

一五人組之儀者家並最寄次第(宛カ)第五軒其元組合諸事吟味仕惡夏無之様可仕若組合之内御法度相背候も
の不及申上惡夏仕候者有之者其組より早速可申上若隱置脇より申出候は、其者には品に寄御褒
美被下五人組之者村役人共に越度被仰付候惡夏仕候者申上自然あたを(タ、)と存候は、隱(密)蜜可
申上旨奉畏候且脇(タ、)より家抱前地店借之者共も五人組を極判形取置可申萬一組はつれ候者御座候
は、村役人共越度可被 仰付夏

一切支丹宗門御制禁之儀は急度相守可申自然不審成者有之者早速御訴可申上若隱置後日於顯者五
人組は不及申上名主組頭迄越度可被 仰附事

一父母に孝行夫婦兄弟親類睦間敷可仕若諸親類と不和にて異見をも不相聞不孝不儀之輩在之者名
主組頭五人組に(而カ)□吟味仕可申上事

附たり下人等に至る迄憐み主人在輩は各其奉公情を(入)可仕事

一御年貢は不及申上惣而金銀米錢無手形取引仕間鋪事
附たり假初之義に而も證文を以取引可申事

一御年貢皆濟不仕已前他所に米穀出申間敷若能米を賣□惡米を御年貢納申候は、當人は不申上及
村役人五人組迄如何様之儀越度に茂可被 仰付并御年貢米之儀あ□無之様米拵いたし繩俵等迄
諸事入念舛目不同無之様仕船中澤手鼠喰等之儀は急度辨納可仕尤も御米何方に御渡に被成候と
も御指圖を請相渡し請取手形取置可申事

一御歳貢御割付惣百姓寄合拜見仕損毛等御座候年は御引方明細割合いたし可申尤茂惣百姓御割付
拜見印形可仕事

一御年貢内割仕候節名主組頭惣百姓寄合御割付之表を以勘定相違無之様割合いたし取立帳之儀者
綴目毎に名主組頭印形仕置御年貢米金并夫金等名主方(錢カ)に請取候度、右帳面に(受カ)□貢取手形其時、
急度相渡皆濟之節反歩米永之員數委細相記名主方押切致印形百姓方□相渡可申事

附たり名寄帳毎年仕迄も御年貢明細に可仕事

一名主百姓印形無沙汰に替申間敷若替候は、名主組頭百姓代は御願申上百姓は名主方(タ、)に相届け帳
面に付可申印形仕候儀其身差合不罷在候節は親子兄弟之外尤も印形預遣し申間鋪事

一惣而村方取立物之儀者名主取替置利足を加へ取立候儀も在之由左候得は百姓とも難儀可相成間其時々取立可申勿論不審入用名主より割合候は承り糺早速可申上事

一農業情を入御年貢御割合之通り急度皆濟仕納方之儀米金共御觸御日限通り急度上納可仕事

附たり御歳貢米金上納之儀御定日限□□村方取立日極置名主方へ組頭百姓代相談取立可申若不納之者在之者右始末名主組頭五人組立會承り糺名前書記し早可差上事

一村入用毎年名主組頭者^(惣カ)百姓立會勘定無相違あゐては銘印形取之名主組頭百姓代奥印して二冊宛差上御役御押切御印形被成一^(脱字アルカ)は壹冊は御下可被下村役人共儀は不依何事心を用ひ村方費無之様村用に而他所^(惣カ)出候節杯無益之逗留不仕様心掛小前割方正路に仕聊義小前之者疑惑無之様可仕事

一村方人足扶持其外被下物之類當座に割合可申且差繼勘定一切仕間鋪事

一郷藏に御米詰置候節村方之者朝晝夜番仕候上は火盜又は御米請取候か何事(に)よらず減米御座候は急度辨納可仕御米出入仕候節村役人立合封印仕置可申自然郷藏近出火在之は惣百姓驅附防可申尤も難防候は早速御米取出可申事

一村方は勿論近村出火之節は火消道具を持驅附情出し消可申若不出合者在之者御吟味之上御咎被仰付且村方出火□□早速御訴可申上事

附たり火之元五人組限り常致吟味大切に可仕事

一出火在之者御高札燒失不仕様早速はつし取可申事

附河筋村方出水之節流失不致様可仕事

一御高札之儀は若文字難相分候得は御墨入之儀可申上事

一惣而御家中御役人方は勿論下々衆迄何に而も音物不仕尤御役人方御廻村之節御賄之儀御定之木錢米代御拂被成候に付請取之所在合之品を以一汁一菜之外御馳走ケ間敷儀不仕并被召連候下々衆迄右同様可相心得金銀米錢酒肴衣類諸道具何様之輕品に而も音物堅仕間鋪且右之品々當分たりとす共一切貸借仕間敷事

附たり御家中御役人方は勿論下々衆^(惣カ)音物之趣に而金銀米錢は不申上及不何(に)寄名主方より百姓とも割掛候義出し申間敷達而出し候様申候は其段^(密)可申上事

一御家中御役人方は勿論下々衆迄名主百姓^(惣カ)對依怙最員御座候歟又は御非分之義御座候は無遠慮可申上事

一村方盜賊這入候は盜取雜物明細に書付早速御注進可申上縱雜物盜取らす候とも其段御訴可申上勿論無心取者有之は親類縁者好身之者たりとも可申上事

一男女にかきらす欠落者參り候は捕置可申上先々搦在之由届在之者□□事斗承り糺早速可申上惣而怪者は不及申上壹人もの一夜之宿も貸申間鋪親類縁者好身之者より浪人いたし參り候は故障無之者は村役人五人組寄合承り糺慥成請人手形取之差置品に寄御届ケ可申上事

一村方男女欠落仕候者御座候得は親類組合村役人申合心當之所々相尋行衛相知れ不申候得は家出之始末承り糺其段御訴可申上事

- 一手負之者他所より參候義は不及申上村方に而も手負候者歟行倒相煩候者有之は乞食非人に限らす其者之名并親類國所宿等承り届ケ醫師相掛看病いたし置早速御訴可申上事
- 一變死人在之者名主組頭立合雜物等迄相改尤死骸其所を替す番人附置右始末明細に相認早速注進可仕尤も尋來者在之者出所等承り届是又可申上事
- 一喧嘩口論癡人等御座候歟又は村方に而内濟難仕儀は早速御訴可申上事
- 一不依何者人をあやめ立退候もの有之は早速出合留置御注進可申上若切拂とも逃候得者附慕ひ落着所相斷置御訴可申上候理不盡に相殺申問敷事
- 一田畑壹歩之所も荒し申問敷若無謂荒置候得は本免之通り御年貢上納爲致其上御答可被 仰付且壹人身之百姓病氣無紛耕作不相成節は五人組は不及申上村之者共田畑仕附收納仕相互に助合可申事
- 一名主加判無之質地證文之事
- 一名主置之質地は相名主又は組頭加判無之證文之事
- 一拾ヶ年季を越質地證文之事
- 右三ヶ條并田畑永代賣買又は地主方御年貢諸役を勤金主は歳貢諸役を不動質地之類は前より御停止之事
- 一享保元申年(以來カ)に成年季明質地は自今年季明拾ヶ年過訴出候は、御取上無之事
- 一金子有合次第可請戻證文等之質地質地入之年季拾ヶ年過訴出候は、御取上無之事

- 一百姓退轉(姓)いたし候跡之田畑持添致候事不相成百姓一軒分之跡は死失候共百姓を仕付壹軒之跡を立可申村中之はからひに不相成候は、家屋敷田畑共書立御差圖請可申(無脱カ)其儀家をこはし或は四壁之竹木を伐荒し其者之田畑持添致一軒分之百姓株潰候は、如何様之越度に茂可被 仰付事
- 一百姓之子共幼少に而親に離農業不相成者は親類組合村役人相談之上右地所は相應之者に預證文置取當人及□□候節無相違相かつさを百姓可爲仕事
- 一宿々助合人馬之儀少茂無遲滯急度相勤可申事
- 一御公儀様御役人方御用に而御通行并御役人方之御廻村之節は晝夜風雨不厭人馬無遲滯差出繼送可申若囚人通り候節茂大切可仕事
- 附たり村繼御送狀晝夜にかさらず先々御届受取書取置可申事
- 一御林有之村方は竹木苗木等に迄伐取申問鋪事
- 附たり立枯風折根返し等在之は御届ケ可申上事
- 一銘々持之林又は四壁之内に而も木木猥りに伐取申問敷若伐候は、不叶儀有之は申上御差圖を受可申勿論小木にても猥りに伐荒し申問敷事
- 一川通堤外百姓家建候義御停止之事
- 一御普請所は勿論村方に而仕來之道橋等不及大破損に様農業之隙之砌取繕可申事
- 一溜池用水惡水路之儀年々農隙之砌浚方并取繕致用水無差支様可仕尤溜池用水惡水堤切落掛引自分の(マ)自分に仕間敷若水落候はて不相叶節は御訴申上御差圖可受申事

附たり用水之儀先規之例を以兼而相定置爭論無之様可相定事

一堀道狭め田畑作出候は、當人は不及申上村役人五人組迄御答可被 仰付事

一博奕并惣而賭之諸勝負前より御法度候間彌々堅相守へき旨奉畏候□□違背候得者勿論五人組村役人□□も迄急度越度可被 仰付事

一百姓寄集賭物致候趣相聞候農業專一に可心掛所百姓之身分にて博奕賭之諸勝負御法度之義は度々御觸も在之彌右躰之儀不仕様堅相守尤も最寄御代官方々及見候は、早速召捕候等之段被 仰渡候趣奉畏候事

一地借店借出稼前地等之者差置候は、其村方人別帳組入候か又は請人を立證文取置差置候歟村方仕來之通入念取斗可申事

一男女奉公人請猥りに立申間敷若立候はて不叶子細有之候は、其者之國所親類等承届下請を取請人に立可申事

一奉公人男女抱候節は宗門相改たしか成請人を立手形を取差置可申事

一在方浪人者抔留置百姓共武藝を學ひ又は百姓同士相集稽古致候趣相聞へ農業を妨候斗にも無之身分を忘れ氣かさに成行基に候へは堅相止可申勿論故無しにて武藝師範いたし候もの抔猥に村方へ差置申間鋪事

一旅人一夜之宿貸候共名主五人組可相斷若無據儀在之翌日逗留仕候におゐては名主五人組間糺留可申尤あやしき者一夜之宿たりとも貸申間敷事

附たり旅人何成(共)取落候は、早速追□□持可遣事

一隱賣女堅差置申間敷右に付てはものつから村方風儀不宜農事怠たり近郷迄衰微におよひ離散之者も出來致不宜者茂立入候間一切差置申間敷若隱置外より於顯者村役人共急度御答可被 仰付事

一農業商賣をも不仕又は遠國に折る罷越候者ならひに博奕其外賭之勝負不似合衣類を着し不審多者在之は名主より急度教訓仕其上にも不相用候は、早速可申上若隱置惡事を□□し外より於顯者親類組合村役人とも御吟味之上夫々御答被仰付惣而一夜泊に他所に罷越候共其□□所并用事之子細名主五人組に相斷罷越候様可仕事

一於村方に同類を集通り者と唱へ身持不埒之者共子分抔號し抱置或は長脇指を帶し目立候衣類を着し不届之仕業等におよひ候由右躰之儀決而不仕萬一前文之風俗にて徘徊致候者御座候得は見あたり次第其品取上早速可申上事

附たり御訴申上御差圖を請候而は手延に相成候か不行届儀も候は、村方最寄之御代官方御陳屋□□御差圖を受可申事

一在る所々惡黨者徘徊致候節は村方取締宜敷所に番屋建置夜番致怪敷義有之節は鳴を立搦捕早速可申上且何者(に)よらず盜賊之宿又は同類之儀常々致詮儀怪敷儀も在之は早速可申上事

一堂宮山林怪敷者徘徊不仕様常々吟味可仕惣而出所不知者一切差置申間敷事

一隱鉄炮致所持候者歟又は打物は勿論右惣事有之由村方名主組頭并村中其外掛合之者夫々重き

御答可被 仰付依之右躰之儀及承候は、相互に遂吟味早々御訴可申上萬一御訴及遠引外より於顯ては急度御答可被 仰付事

一於在馬盜人在之趣に奉^(不カ)限晝夜不審成者馬を牽通り候を見當り候は、其^(者着カ)所迄送り届所之名主五人組に斷り置其段御訴可申上事

附たり儘成口人無之馬賣買仕間敷事

一捨馬之儀は不仕前々之通相守可申自然離馬牛在之は名主組頭立會養置候而早速御訴可申上事

一田畑配分之義高拾石反別壹町より少く分候儀不相成(分)高に不限殘高茂右より少く殘申間敷然

上は高貳拾石地面貳町より少く致所持候者猥に配分之儀不相成筋に候間若小高之者厄介人在之は致同居候而持高之内耕作爲致候か又は他之小作等爲仕可申事

一寺社領之田畑屋敷他所^(儀カ)渡候難相成筋に候間質物に取申間鋪事

一農業常々情出し候而稼第一に心掛徒に暮すへからさる事

一在々^(新)而神事佛事其外何によらず親規之儀仕間敷若無據子細在之は御訴申上御差圖可請事

一有來之外新規に小祠或は佛像建立仕間鋪事

一在々^(新)而神事祭禮等之名目にて右に事寄村内に而芝居見世物等致候勿論又は虫送風祭杯號し芝居見世物等興行致候儀は從前々仕來候場所にて茂堅不相成尤も藝杯致候者入込村之者^(マ)藝事等爲習候儀仕間敷事

一祭禮法事等彌以輕可執行事

一百姓持之地所を寺院へ致寄附又は□□等仕間敷事

一百姓之子供輕侍奉公に出其後在所引込居先主より少々合力杯受とも在方能有候上は刀指申間鋪若相背に於ては名主組頭可爲越度事

一人賣買之儀堅御法度に候間急度相守可申事

一在々^(主カ)而役人之由申僞徘徊いたしねたりケ間敷義在之は捕置早速御注進可申上事

一在々^(主カ)而質物取候は、置而證人吟味致印形爲致質物取可申事

一荒地引高之内隨分手入致起返可仕地主斗之力(不)及所は其村百姓共助力致可申其上にも難行届候得は御訴可申上若等閑に於置候は、越度可被 仰付事

一用水掛井堀堰普請并取繕等之義双方を合熟談之上可取斗一方之勝手に任せ取斗候は及出入候間兼々相心得可申事

一物而出入之儀證據無之非分之儀をも申紛之又は證據在之儀も年を経其年を申紛及出入候も有之

出入之儀は村方困窮之基に候間不得止事を儀は格別右躰之儀堅申出間敷旨被 仰渡奉畏候事

一境論無之様常々入念可申事

附たり親開切并切添等有之は早速可申上事

一在々^(縁カ)而嫁取之節石打致又は酒をねたり其外狼藉在之由右躰之儀急度相愼み可申上事

一婿嫁養子は組之儀名主組頭五人組立合能々入念重而六ヶ敷儀無之様可仕事

一跡式之儀兼而書置仕名主五人組立會加判致死後出入無之様可仕事

- 附たり跡目無之不慮に死失候は、所持品と名主五人組立會相改可申事
- 一捨子堅仕間敷惣而便なき老人幼少之者在之は其所にて介抱致其段可申上支
- 一捨子在之は養育致置早速御訴可申上尤賞候者御座候は、其者之様子儘に承り届御差圖次第可仕内證にて遣候儀仕間敷事
- 一御年貢未進欠落可仕躰之百姓在之者五人組申合詮儀之上早と名主方へも申聞候様可仕若油斷闕落爲致候は、其者之御年貢五人組辨納仕猶又當人尋出可申事
- 附たり及困窮御年貢皆濟成兼候と無紛候は、其五人組親類申合立かへ御觸日限通上納皆濟可申事
- 一堤河除井堰道橋御普請自普請(マ)小抱人足御傳次第差出出情正路に相勤可申支
- 一如何様成小百姓水吞に候とも名主組頭之私に而所追出し申間敷難捨置子細有之は其段申上御差圖を可請申事
- 一惣而百姓仲間公事出入不仕候様常と致吟味物每正路に仕若他村之者は勿(論)村内之者にて茂不得止事儀に而及出入候得は村役人五人組立會可濟之内とに而不相濟儀は名主之奥印を以御願可申上事
- 附荷擔仕候者在之歟又は公事工之出入□間御座候得は可申上支
- 一川通堤其外出水之節無油斷見廻り若危き場所在之は其村中是不申上及隣村迄茂申合破損不仕様相防可申事

- 一川筋村と難破船在之は早速出合落物等取揚流船在之見附候は、揚置仕來之通り机斗(マ)雜聞茂候はは早と御訴可申上事
- 一百姓共何事によらず強訴徒黨逃散(候カ)御儀は前と堅御停止に候間御高札之表彌以堅相守可申事
- 一名主惣百姓不應其身家作不可仕支
- 一百姓之衣類名主は妻子共緋縮布木綿脇百姓は布木綿斗可着之此外多りおひにも堅仕間鋪事
- 一名主惣百姓とも衣類紫紅梅色に染申間敷此外は何色成とも形無に染可着事
- 一食物は常と雜穀を可用米は猥に不食様可仕事
- 一夫食可相成類は貯置可申其心掛なくして自然夫食等之儀相願候共曾て御取上無之事
- 一市町におゐてむさと酒飲申間敷事
- 一名主惣百姓とも乗物に乗申間敷事
- 一他所より罷越田畑を茂不作慥にも無之者村方に差置申間敷事
- 一百姓之儀僮服を着髪等もわらを以てつかね候事古來之風儀(カ)候所近年何となく奢に長し身分之程を忘れ不相應之所着用等致髪は油元結杯用ひ其外雨日には蓑笠而已を用ひ候事に候所當時は傘合羽を用ひ右に隨ひ候ては次第費候入用多相成候間村柄も衰(カ)ひ離散等致候様成行壹人及潰候而は右之者御年貢辨納に相成村方難義茂相心高候支候古代之風忘却不致奢間敷義相改農業相勵可申事

右之御箇條之趣毎年壹度宛惣百姓とも名主方へ寄合可爲讀聞旨被 仰渡之趣急度相守可申候若違

背仕候者有之候は如何様之越度に茂可被仰付候爲其名主組頭五人組連印之一札差上申度仍如件

甚 八印
 五 兵 衛印
 三 郎 兵 衛印
 長 兵 衛印
 市 兵 衛印
 平 左 衛 門印

次 良 右 衛 門印
 次 右 衛 門印
 庄 兵 衛印
 德 左 衛 門印
 文 左 衛 門印
 又 右 衛 門潰

三 右 衛 門印
 甚 兵 衛印
 五 良 左 衛 門印
 作 左 衛 門印
 傳 左 衛 門印
 次 左 衛 門印
 半 右 衛 門潰

茂 太 夫印
 七 良 兵 衛印
 庄 右 衛 門印
 源 左 衛 門印
 與 左 衛 門印
 清 次 郎印
 頭 四 良 兵 衛印
 主 清 兵 衛印

天保十一年
子三月 日

御地頭所
御役所

〔備考〕

- 一 所在 原本、埼玉縣兒玉郡若泉村阿久原、淺見鼎氏所藏。
- 一 舊領主 未詳。(現、群馬縣邑樂郡大川村字仙石)
- 一 形式并に種類 連判原簿。
- 一 箇條數 九十三箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。二十三・三號の同一の箇條が多く、本帳第七十八條(御年貢未進缺落云々)以下は第二十三・十二號ノ一の第六十條以下と配列並びに内容が近似してゐる。尙第九十三條は天保十三年九月水野越前守の風俗取締令(『徳川禁令考』卷四十四所收)を追加したものと思はれる。
- 一 備考 表紙裏に左の如き書入れがある。
 「是は明治維新之際我が縁家之井上勘藏なる者武士をすて我家に頼り來りて紙すき業をはじめ其材料を高崎町に求めし中に交りありしを保存したるものなり」

天保十三年上野國勢多郡川通下箱田村五人組御改附寺社人別帳

(第九十六・一號)

差上申五人組一札之事

一川通下箱田村五人組如左之組下惣百姓水吞等に至迄壹人も不殘明細組合證據印形仕候通少も相違無御座候然る上者組合仲眞之内相互に吟味仕兼而從公儀被 仰出候御法度之趣常々大切に相守可申候若し不作法成者御座候は、仲眞急度可申上事

一田畑耕作之儀常々念を入可申候事

附り仕付之節少も遅々不仕候様相互に吟味可仕候事

一田畑居屋敷に至迄少も荒し申間敷面々居屋敷不苦處に竹木植連々郷村も能見へ候様可仕候事

一村諸入用惣百姓之割掛入目之事惣百姓費無之様不依何事奢ケ間敷義仕間敷事

一年々御年貢御割付之趣小百姓に至迄具に承知仕御定め御日限無相違御皆濟可仕事

附り仲眞之内相滞り候事も有之候は、組合申合急度譯相立可申候事

一浪人者片時も抱置申間敷并修行者に宿貸し申間敷候若し無據儀にて逗留爲仕候事も御座候は、相願可任御下知事

附順禮鉢たき一切入申間敷事

一組合之男女其他所々罷出候は、相願可任御下知事

一召仕之者出所不知者并請人無之者抱置申間敷事

一博奕諸勝負之儀別而御停止被 仰出候趣常々相守組合相互に吟味可仕候若し相背候者御座候は、は早速御訴可申上候事

附り常々不行跡にて村障に相成候者有之候は、前々通以入札可申上候事

一田畑讓渡し仕候は、名主組頭五人組頭立合吟味仕少も違亂之儀無之様可仕候事

一竹木猥に伐取申間敷事

右之通五人組相極連判仕差上候上は組合之内隨分吟味仕兼而被 仰渡候御法度御條目之趣堅相守可申候若し違背之輩御座候は、如何様之曲事にも可被 仰付候爲後日依而如件

家主五人組頭

一庄 造 七 拾
 女子 歳 貳 拾 三
 たつ女子 歳 五
 や 歳 五
 三人内男壹人私一家分

家主

一清 造 貳 拾 七
 壹人男
 畑合壹反壹畝壹步 所持仕候
 馬なし

田畑合七反七畝步 所持仕候

内壹反九畝步 畑

内五反八畝步 畑

馬なし

家主

一治 郎 (附箋「不出候名主代印」)
 男長子 歳 七 拾 四
 男 歳 八 拾 六
 男 歳 七 拾 四
 忠子 歳 七 拾 四
 忠子 歳 七 拾 四

四人内男三人私一家分

忠治郎

畑合三畝七步 所持仕候

馬なし

一家主

市左衛門 歳四拾五

房 歳四拾五

ち 歳拾壹

さ 歳五

女子 歳貳

五人内男壹人私一家分

市左衛門

田畑合五反八畝五步 所持仕候

内貳反壹步

馬壹疋

一家主

浪治郎 歳貳拾八

一三四

歳四拾九

歳貳拾貳

歳四

歳拾八

五人内男三人私一家分

浪治郎

田畑合貳反七畝拾九步 所持仕候

内壹反貳畝貳步

馬なし

一家主五人組頭

八 歳貳拾七

平 歳四拾八

長平八弟 兵衛 歳貳拾五

三人内男貳人私一家分

平 八

田畑合八反九畝步 所持仕候

内貳反六畝步

馬壹疋

一家主

吉 歳三拾七

母 歳七拾四

女 歳三拾壹

喜子 歳拾貳

幸子 歳三

五人内男三人私一家分

幸 吉

畑合壹反四畝步 所持仕候

馬なし

一家主五人組頭

吉 歳四拾九

女 歳四拾四

次男 歳四拾四

三人内男貳人私一家分

吉 歳拾四

一三五

馬なし

一家主

造 歳拾九

母 歳五拾

貳人内男壹人私一家分

造

畑合壹反六畝八步 所持仕候

馬なし

一家主

治郎 歳四拾貳

伊次郎 歳六拾七

女 歳三拾四

定男 歳拾五

安子 歳五

五人内男四人私一家分

定治郎

畑合三反六畝五步 所持仕候

田畑合三反七畝步 所持仕候

内 貳反壹畝步 畑田

馬なし

一家主

佐次 兵衛 歳 貳拾四

佐五 兵衛 歳 七拾貳

母 歳 五拾七

四人内男貳人私一家分

佐次 兵衛 歳 七

田畑合壹反九畝拾三步 所持仕候

内 壹反三畝拾五步 畑田

内 五畝廿八步 畑田

馬なし

一家主後

家 歳 四拾九

貳人女 私一家分 歳 拾三

後 家

田畑合七反八畝廿六步 所持仕候

内 壹反九畝九步 畑田

馬なし

一家主五人組頭

清次 郎 歳 三拾七

三父 太夫 歳 六拾四

男女 房 歳 三拾壹

清子 三郎 歳 拾

伯母 三み 歳 五拾九

五人内男三人私一家分

清次 郎 歳 九

畑合三反八畝六步 所持仕候

馬なし

一家主

清 兵衛 歳 六拾五

辨男子

治郎 歳 三拾

三人内男貳人私一家分

清 兵衛 歳 拾

田畑合四反八畝七步 所持仕候

内 貳反八畝三步 畑田

内 貳反四步 畑田

馬なし

一家主

儀 兵衛 歳 五拾

男女 房 歳 四拾六

亦子 衛 歳 拾八

女子 の 歳 拾六

四人内男貳人私一家分

畑合壹反五步 所持仕候

馬なし

一家主

傳 兵衛 歳 五拾

永子 房 歳 四拾八

男子 之 介 歳 貳拾五

由子 造 歳 拾三

女子 ち 歳 貳拾貳

五人内男三人私一家分

田畑合壹町四反拾六步 所持仕候

内 五反三步 畑田

内 九反拾三步 畑田

馬壹疋

一家主

加 七 歳 拾三

加弟 歳 貳拾九

三人内男貳人私一家分

加 十 歳 拾三

加 七 歳 拾三

畑合壹反拾五步 所持仕候

馬なし

一家主

良子

造 歳六拾

市 歳貳拾

貳人男 私一家分

良 造 歳拾

田畑合三反壹畝步 所持仕候

内壹反七畝拾五步

畑

馬なし

馬なし

一家主

常子

郎 歳六拾

女子

ね 歳貳拾六

女子

あ 歳貳拾四

女子

も 歳貳拾壹

女子

と 歳拾六

男子 吉 歳五 〆

六人内男貳人私一家分

常 五 郎 歳拾

田畑合四反壹畝拾六步 所持仕候

内貳反貳畝廿貳步

畑

馬なし

一家主

專

兵 衛 歳貳拾壹

弟

三

郎 歳拾四

妹

三

郎 歳拾六

善

三

郎 歳拾六

四人内男貳人私一家分

專 兵 衛 歳拾

田畑合五反七畝廿步 所持仕候

内壹反七畝廿步

畑

馬なし

一家主五人組頭

左

兵 衛 歳五拾三

女子

房 歳四拾九

女子

た 歳貳拾八

三人内男壹人私一家分

左 兵 衛 歳拾

田畑合六反步 所持仕候

内貳反壹畝步

畑

馬なし

一家主

淺

郎 歳四拾三

母

五

房 歳六拾貳

女子

五

造 歳貳拾壹

男子

五

郎 歳四拾

女子

五

き 歳拾貳

女子

五

み 歳拾

六人内男三人私一家分

淺 五 郎 歳拾

畑合貳反六畝廿三步 所持仕候

馬壹疋

一家主

妹

左

歳四拾六

貳人女 私一家分

歳四拾

田畑合五反壹畝三步 所持仕候

内壹反八畝五步

畑

内三反貳畝廿八步

畑

一家主

善

郎 歳三拾四

女子

四

房 歳貳拾貳

男子

十

郎 歳拾壹

女子 くら 七歳
女子 たろ 三歳

五人内男三人私一家分
善四郎

田畑合壹町三反九畝廿步 所持仕候
内六反拾五步 畑田
内七反九畝五步 畑田
馬壹疋

家主 初五郎 歳 貳拾八

女子 房 歳 貳拾四
女子 くら 歳 三

三人内男壹人私一家分
初五郎

田畑合五反步 所持仕候
内壹反九畝壹步 畑田
内三反廿九步 畑田
馬なし

藤兵衛

田畑合壹町貳反七步 所持仕候
内四反貳畝廿八步 畑田
内七反七畝九步 畑田
馬壹疋

家主 治郎 八歳 拾壹

壹人男
田畑合四反七畝拾步 所持仕候
内壹反五畝廿九步 畑田
内三反壹畝拾壹步 畑田
馬なし

家主五人組頭 兵衛 歳 三拾貳

女子 房 歳 貳拾六
女子 忠三郎 歳 九
女子 いし郎 歳 拾
女子 さく 歳 四

家主五人組頭 造 歳 貳拾五
女 房 歳 貳拾

二人内男壹人私一家分
造

田畑合七反三畝廿壹步 所持仕候
内貳反七畝廿貳步 畑田
内四反五畝廿九步 畑田
馬壹疋

家主 藤兵衛 歳 貳拾四

祖母 八歳 八拾貳
女子 房 歳 貳拾貳
女子 つ 歳 八

六人内男貳人私一家分
み 歳 拾七

五人内男貳人私一家分
忠兵衛

田畑合六反八畝拾五步 所持仕候
内壹反五畝廿壹步 畑田
内五反貳畝廿四步 畑田
馬壹疋

家主 才兵衛 歳 四拾貳

女子 房 歳 三拾七
男子 三郎 歳 拾三
男子 次郎 歳 貳拾
女子 たき 歳 拾

五人内男三人私一家分
才兵衛

田畑合七反壹畝拾七步 所持仕候
内貳反九畝拾五步 畑田
内四反三畝貳步 畑田
馬壹疋

一家主 金主
太郎 三拾四
次郎 五拾九
母 五拾七
女房 貳拾

四人内男貳人私一家分
田畑合七反貳畝拾八步 所持仕候
内壹反七畝廿八步 畑
五反四畝廿步 畑
馬なし

一家主 龜主
造 三拾九
畑合壹反八步 所持仕候
馬なし

與兵衛
田畑合八反三畝拾貳步 所持仕候
内壹反八畝拾六步 畑
六反四畝廿六步 畑
馬壹疋

一家主 伯母
ん 六
ち 四拾貳
市 六
和 六
三人内男壹人私一家分
田畑合四反七畝廿貳步 所持仕候
内壹反七畝廿貳步 畑
三反步 畑
馬なし

一家主 長
左衛門 五拾九
母 七拾五

一家主 淺
造 七
畑合壹反三畝廿貳步 所持仕候
馬なし

一家主 岩
造 八
兵衛 五拾壹
貳人男 私一家分
岩
造

一家主五人組頭
一與兵衛 五拾三
房 五拾貳
勝男 五
郎 拾
五人
三人内男貳人私一家分
畑合貳反壹畝廿步 所持仕候
馬なし

男女房 三拾四
長男 吉 拾
四人内男貳人私一家分
長左衛門
田畑合貳反七畝拾五步 所持仕候
内九畝廿四步 畑
壹反七畝廿壹步 畑
馬なし

一家主 惣
兵衛 三拾
房 貳拾貳
由男女子 松 四
三人内男貳人私一家分
惣兵衛
田畑合壹反八畝拾步 所持仕候
内六畝拾六步 畑
壹反壹畝廿四步 畑
馬なし

家主五人組頭

友 造 三拾八

四人内男壹人私一家分 高 造

父 右衛門 歲六拾五
母 衛門 歲五拾七
女 房 歲四拾
女子 八

田畑合三反四畝貳步 所持仕候
内九畝貳步 畑
内貳反五畝步 畑
馬なし

五人内男貳人私一家分

友 造

家主 淺 治 郎 歲五拾八

田畑合壹町八畝拾四步 所持仕候

内壹反五畝拾步 畑
内九反三畝四步 畑

田畑合壹反廿貳步 所持仕候
内七畝步 畑
内三畝廿貳步 畑
馬なし

馬壹疋

馬なし

一家主 高

造 貳拾六

一家主 源

治 郎 歲六拾

母 造 五拾五
女 房 歲拾八
女子 三

源 治 郎 歲六拾
長子 次郎 歲貳拾
女子 歳拾四
三人内男貳人私一家分

源 治 郎

田畑合四反七步 所持仕候

内貳反貳畝壹步 畑
内壹反八畝六步 畑

女子 歳九
女子 歳三

馬なし

五人内男貳人私一家分 常 造

一家主 辨

造 貳拾九

五人内男壹人私一家分

造

田畑合五反貳畝步 所持仕候

内壹反七畝步 畑
内三反五畝步 畑

馬なし

一家主 太

市 歲三拾四

母 市 歲五拾七
女 房 歲貳拾九
喜子 市 歲七
男 介 歲四

家主五人組頭

造 貳拾八

父 常 造 六拾貳
女 房 歲貳拾九

五人内男三人私一家分

太 市

田畑合五反壹畝拾貳步 所持仕候

内壹反六畝拾壹步

畑田

馬壹疋

内貳反壹畝廿五步

畑田

馬なし

一家主

兵衛

三拾八

女

房

三拾四

女子

五

み

ち

歳拾五

四人内男壹人私一家分

徳兵衛

田畑合六反八畝廿三步

所持仕候

内壹反八畝五步

畑田

馬壹疋

一家主

造

歳拾八

田畑合七反五畝廿三步

所持仕候

一家主

助男

吉

歳五拾

貳人男私一家分

常

吉

一家主

高治郎

歳貳拾三

母

歳六拾五

貳人内男壹人私一家分

高治郎

田畑合貳反五畝拾五步

所持仕候

内壹反五畝廿五步

畑田

馬なし

(註・組別けの部原本は一段書き)

右之寄

惣人數合百六拾七人

内男八拾六人

本組四拾九軒

家數三拾九軒

職人貳人内壹人大工職

一持高田畑貳拾壹町九反七畝廿步

内六町五反貳畝步

畑田

下男 無御座候

下女 無御座候

馬數拾六疋

右之通相改相違無御座候以上

川

下箱田村

五人組頭

庄

清勇

次

郎

造

造

御代官

御役所

家社人吉田支配
一高梨伊賀正

外

壹人男

畑合壹反五畝廿四步 所持仕候

馬なし

歳五拾四

本寺前橋向町橋林寺末

曹洞宗玉泉院

田畑合壹町貳反拾步 所持仕候

内五反八畝拾貳步
六反壹畝廿八步

畑田
馬なし

本寺上野國新田郡世良田長樂寺末

天台宗寶藏寺無住

上南寶村代判

同宗正善寺

田畑合壹町六反貳畝貳步 所持仕候

内四反壹畝五步
壹町貳反廿七步

畑田
馬なし

家主
一今井善兵衛

女善之介 房
男善之介 房
女善之介 房

歳五拾八
歳五拾八
歳五拾七
歳三拾六

名 " 組 " " " " " "
主 頭
傳 忠 與 常 友 勇 平 左
兵 兵 兵 兵 兵
衛 衛 衛 造 造 吉 八 衛

一二二八

同人男子 三 郎 歲拾九
 善養子 助 歲貳拾貳
 庄助 房
 女 庄助

七人内男四人私一家分

今井善兵衛

田畑合貳町八反拾步 所持仕候

内七反八畝廿七步 畑

馬壹疋

右之通相改相違無御座候以上

川 下箱田村

長百姓 定治郎
 組頭 與兵衛
 " 忠兵衛
 名主 傳兵衛

天保十三壬寅年

御代官 御役所

〔備考〕

- 一 所在 原本、群馬縣勢多郡北橋村今井氏所藏。
- 一 舊領主 前橋藩。(現、群馬縣勢多郡北橋村下箱田)
- 一 形式并に種類 連判原簿。組別けの部は人別明細帳の形になつてゐる。

(表書)

天保十三壬寅年
 五人組御改附寺社人別帳
 川通下箱田村

一箇條數 十一箇條。

一 内容并に系統 系統未詳。本村では同様の前書が明治四年にも行はれてゐる。(第九十六・二號參照)
 一 備考 前書傍註に「明」とあるのは明治四年同村五人組御改帳(第九十六・二號)に據つて附したことを示す。尚、越後國中頸城郡中の某村には、本帳前書第一條―第六條に同じ前書を有する五人組帳を藏し、(補遺第二十三參照)組別けの部では本帳と同様の人別改の書式を記してゐる。

明治四年上野國勢多郡下箱田村五人組御改帳 (第九十六・二號)

(第一條―第九條省略。第九十六・一號、同條に略く同じ、備考參照。)

一田畑讓渡し仕候は、云々(第九十六・一號、第十條に同じ、「附」増)

附田畑讓渡之儀は御定も有之義に付分地配當之養子或は由緒御座候者之外相對賣買之儀決而仕間敷事

(第十一條及び請書省略。第九十六・一號、同條及び請書に同じ。)

家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主
一今井傳治平	一今井廣吉	一高橋清治郎	一今井彌吉	一今井平七	一狩野三造	一狩野太治郎	一狩野林造	一狩野篠吉	一狩野留重郎	一高橋才平
伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長

家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主
一今井傳平	一今井勘造	一奈良高造	一奈良長七	一高橋藤吉	一高橋銀平	一飯田嘉七	一高橋忠平	一高橋才三	一高橋才三	一高橋才三
伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長

家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主
一飯田與平治	一奈良仲七	一高橋治三郎	一飯田福治郎	一奈良鎌市	一高橋勇吉	一高橋小三郎	一奈良金五郎	一高橋友吉	一高橋卯之吉	一高橋才平
伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長

家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主	家主
一今井善四郎	一今井清造	一今井傳三郎	一登坂宗十郎	一近藤ひ乃	一近藤仙三	一今井熊吉	一登坂清三郎	一今井伊三郎	一登坂惣治	一神谷喜市
伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長

家 家 家
 主 主 主
 登 飯 飯
 坂 田 田
 岩 茂 直
 造 平 治
 造 平 郎
 造 平 郎

家主 伍長
 根 根 根
 井 野 野
 庄 金 壹
 平 郎 郎
 平 郎 郎

右之寄

一家數四拾貳軒
 一竈數四拾貳
 一人數合貳百五拾貳人
 內男 百貳拾九人
 內女 百貳拾三人
 御直支配之者
 一今井善三郎

家 家 家 家主
 伍長
 主 主 主 主
 高 高 高 高
 橋 橋 橋 橋
 吉 五 才 五
 平 市 治 郎
 平 郎 郎 郎

(註・組別けの部原本は一段書き)

右之寄
 一家數合壹軒
 一竈數合壹軒
 一人數八人
 惣人數合貳百六拾人
 內男 百三拾貳人
 內女 百廿八人

上州勢多郡下箱田村

伍長 狩野三造
 " 今井傳治
 " 高橋忠平
 " 同勇吉
 " 今井善四郎
 " 近藤仙三
 " 根井庄平
 " 神谷喜市
 長百姓 狩野篠吉
 組頭 今井傳平

民 政
御 役 所

名 " 高橋五郎平
主 飯田與平次

一三三六

〔備考〕

- 一所在 原本、群馬縣勢多郡北橋村今井氏所藏。
- 一舊領主 岩鼻縣管内。(現、群馬縣勢多郡北橋村下箱田)
- 一形式并に種類 連判原簿。

(表書)

明治四辛未年
五人組御改帳
三月 勢多郡 下箱田村

一箇條數 十一箇條。

一内容并に系統 第九十六・一號、十一箇條の中、第三條の後半(面々居屋敷以下二十五字)を缺き、第七條に語句の改正を加へ(第九十六・二號傍註参照)新しく第十條に「附」(田畑讓渡之儀云々)を加へてゐる。尙第一條で「公儀」の二字を除いて居り、組別の部で組頭が伍長と呼ばれてゐるが、これ等は明治になつてからの改變であらう。

天保十四年相模國久良岐郡岡村五人組帳 (第九十七)

- 一五人組之儀仲間致吟味家持之分は不殘組合可申候
- 一御制札之趣惣而御法度之品々彌以堅相守之家内者共無斷絶可聞申事
- 一不忠不孝之儀不可仕惣而生類憐可申候勿論捨馬之儀不可仕候相背もの有之ば急度可申出事
- 一耕作可精出仕付之時分煩候者は五人組仲間而肝煎可申候下人持小百姓植付蒔取之節は親類縁者共に而助合候様名主組頭心付可申候惣而作之間には相應之かせぎ致しいたづらに暮へからざる夏
- 一繩目之外落地隠田切開又は引方等之内起歸り田畑有之ば急度可申出候隱置脇々於顯るは可爲罪事
- 一附り惣而作場に可成處は可訴之事
- 一田畑永代賣買彌以前御停止也且又質地を取候者御年貢不出質入候者より御年貢勤させ候義御停止候猶相背ば名主五人組迄可行曲事之事
- 一田畑質入候共又は分地致し候共役人方可申來私として質地取引又は分地致儀一切不可仕事
- 一切支丹宗門は不申及宗旨疑敷者有之ば急度可申出之同類たりとも品に御褒美可被下事
- 一何事によらず一列致儀堅停止に候若取持もの有之ば穿鑿之上可被行罪科事

一博奕御制禁候若密々催者有之隠置候はゞ其五人組兩隣のもの可爲曲事事

附り惣而家業も不仕鳥亂成者有之ば早速可訴之事

一常々火の用心可仕候若出火有之節は所之者早速掛付精出火消し可申事

一火付之者有之ば早速注進すべき事

一途中倒伏候者有之ば其所之者共寄合介抱仕彌煩もり仕候歟早速相果候はゞ急度可注進事

附り其者存命之内出所其外申旨有之ば相尋口上書可取置候

一手負たる者は勿論可注進人をあやめ候ものは早速出合可捕置打拂通り候とも跡をしたひ先々之

に急度相届け早速可申來左様之者に候共理不盡に打擲すべからざる事

一出所不知あやしき賣物一切買取不可商人に片時も宿かし申間敷候

一往還之宿場旅人又は商人泊り候義其所之名主并肝煎之もの毎夜改之帳面可記逗留致義有之ば子

細名主承届け品により役人方にも申届べき事

一宿なし宿中に不可差置疑しきもの宿かし申間敷候事

一惣而行衛不知者は不及申親類縁者に候共他所のもの一夜茂不可差置泊り不申候ねば不叶子細あ

らば名主訴之名々改候而慥に成ものに候はゞ泊め可申候若改なく差置候歟又は改不仕候にお

ゐては名主五人組共可爲曲事事

一浪人もの(は)不及申町人百姓何者不寄他所引越來るもの下知なく差置ば其所の名主年寄五人組迄可爲曲事事

一他國他領に罷出候はゞ名主は役人方相届べし百姓は名主に斷可相越事

附他所に候は可罷歸時節歸宿不致候はゞ早速相尋參可申處に不罷在候はば可注進候

一缺落者男女共早速可注進事

一奉公人年季拾ヶ年を可限事

一人をかどはかし又は人賣買致し候義御制禁也若密々に人の賣買致し候もの有之ば可訴之隠置脇

か於顯は名主五人組隣家有之もの迄可爲重罪事

一御免なく而鐵炮所持せしむる輩は可被行重罪之旨名主五人組立合村中無斷絶可改事

一山林四壁たりとも猥に不可採荒事

一相撲操見物もの郷中に一切不可差置事

附り祭禮之時分大勢人集り他所にも段々送り遣之儀堅停止に候勿論他所にも請取間敷候惣じて新規之祭禮無用候

一御下知なく新規之寺社取立申間敷事

一新酒屋致儀停止之事

一不寄何事可用儉約百姓衣類儀縮木綿麻布此内を以分限に應じて妻子共に可着下人男女共に布

木綿之外は不可着る袖口頭巾等迄絹布一切用申間敷候惣而百姓長脇指を差し又は妻子乗物に

乗り候義堅停止之事

一祭禮法事等も彌軽く可仕并婚姻之砌諸事分限に寄軽く可仕候奢たる義一切致べからず(候)迄

- 一 持高拾石以下百姓分地仕事堅停止之事
- 一 養子男女筋目違ひたる義不可仕事
- 一 道橋悪しき所は名主見廻り無斷絶拵させ可申事
- 一 公儀之御用何方より申來り候共即刻油斷不仕可達之遲滞者は可爲曲事事
- 一 五人組帳面仕り上候印判紛失致し候は、早速相調役人方と相斷替り印形帳面に押之其上に而所持すべき事
- 右之通り皆々相守之若違背之者有之ば急度曲事に可申付もの也

吉住 鐵 吉
吉住 東 馬

右ヶ條書堅相守家内者共下人男女迄急度可申渡候家持之分は不申及借屋店子之者迄壹人も不殘組合連判仕一札差上申候依而如件
天保十四卯年六月

甚	左	衛	門	庄	右	衛	門	德	兵	衛	門	
佐	兵	衛	門	幸	右	衛	門	惣	兵	衛	門	
伊	兵	衛	門	伊	右	衛	門	次	郎	右	衛	門
小	左	衛	門	岡	右	衛	門	銀	右	衛	門	
與	兵	衛	門	與	左	衛	門	久	太	郎	衛	門

御地頭所様御役人衆中様

百姓代	佐	兵	衛	門
組頭	甚	左	衛	門
名主	伴	右	衛	門

〔備考〕

- 一 所在 横濱市史稿、政治篇一、五九一頁。
- 一 舊領主 未詳。(現、横濱市磯子區岡村町)
- 一 形式并に種類 連判原簿。(但し前掲の如く組別けが三段組みに記されてゐるのは、原簿のまゝか否かは明らかでない)
- 一 箇條數 三十五箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。

弘化三年安房國安房郡坂井村五人組御改帳 (第九十八)

差上申一札之事

一 公義御法度之趣彌堅相守御制禁之儀少茂不可背之并役所々相達候儀不可違背事

一父母に孝を盡し夫婦兄弟睦敷諸親類にしたしく主人有輩は能奉公を勤め村中和融いたし長者を敬ひ下人に憐愍を加へ老て妻なく老て夫なく幼稚に而父母に離れ又は獨身にて便り所なく困窮之者有之は別而相勞り諸夏順路にして村中風俗正敷家業專に精を出し其分限を辨質素儉約可相守事

一名主組頭は別而其身を慎み誠實正路を本とし聊後閭儀無之様潔白に致し村中治方大切に心掛家業を勵まし一人たり共遊民無之人別不減様厚可相心得事

一五人組之義最寄之家五軒宛大小之百姓地借等迄不洩様組合取極親族同様親敷いたし萬端申合妻子召仕之者に至迄御法度能相守候様組中相互に無油斷可示合候家業を嫌ひ都而心得違之者於有之は親類組合村役人打寄精々異見を加へ改心可爲致候若異見をも不相用増長いたし百姓に不似合風俗を好み長脇差を帶し喧嘩口論遊興大酒醉狂いたし或は無謂訴訟を企僞を巧惡事をなし都而良民之害に相成候者有之は早々可訴出事

一切支丹宗門之儀御高札之趣急度相守人別宗旨入念相改每年三月中帳面可差出之若御制禁之宗門於有之は早々可訴出宗門改相濟候後下人等相抱候は、寺請狀別紙可取置事

附切支丹轉之者并類族有之候は、別帳に記之可差出候若他所縁組に而右之族來候は、早速可訴出事

一農業之儀隨分出精いたし種物相撰蒔植耕作相互に勵合用水等に心を配り勿論村役人折々村中相廻り耕作懈怠無之様可心付候尤耕作之(隙)男女共相應之稼可致候若無精成者有之者急度相糺可

申獨身者長煩致し候歟或は老幼之もの其外耕作仕付難成もの有之は五人組に而相助け其上難行届候は、村中に而助合田畑不荒様可致候漁業渡世之者も右に准し専ら相稼長病老幼之もののは是又助合都而實意を以て世話可致事

附五穀に宜田畑を費し衣食之助けに不成もの一切作るへからす且又古畑にたばこ作り申間敷事

一用水之儀常々申合先規仕來相守懸引可致候井堰等仕立候時も一方之自由に不任爭論無之様可取斗事

附若水論有之飛道具を持出令荷擔者於有之は其科本人を重かるへき事

一用水井堰溜堤堀浚川除波除之儀家業之透を考ひ普請仕立候様常々心懸小破之時早速修復を加田畑損毛無之様可致候大破に而難及自力候は、村役人立會下目論見いたし帳面仕立願書相添可申立事

一村役之道橋は縱令申觸は無之共常々無油斷手入いたし往來不及難儀様可致候尤有來之外新規に道付人馬出入不可致若道付替又は新堀等不致候而難成處は訴出可任差圖事

一田畑^(境)徑界を正敷可致他之畔を切付或は堀溜を埋立道を狭め又は秣場林際塚等を切潰田畑を仕出し候儀等堅不可致事

一荒地有之は精々手入いたし起返之儀可心懸候永荒場起返切添又は新田畑有之は聊之場所たりとも早速可申出候隱置脇々相知候は、地主は勿論村役人迄可爲曲事事

一御林之竹木并往還之並木大切に可致候枝葉下草等迄御用之外不可苅取風折立枯根返等有之節は村役人并山守立會木數寸間相改可訴出候且又御林之荒間有之歟又は御用に而伐出候跡はたとひ申付は無之共早々苗木植立候様村役人山守共可相心懸事

附下草永等相納來候場所は可爲前々之通事

一百姓持林屋敷四壁之木たり共目立候木を伐候は、訴出可伐採之并山方に而焼畑仕來之外山野に火を付候儀制禁之事

一田畑子孫の配分之儀高拾石地面壹町歩少く當り候は、不可分尤殘高も右定少く殘べからず然上は高貳拾石地面貳町歩少き田地持は配分難成筋に付二三男有之は在所に而之相應之渡世奉公稼等可爲致事

一退轉百姓之田畑山林等近親たりとも持添に不可致親類組合村役人立會相談之上相續人可相立候若無謂田畑持添にいたし候歟家屋敷致破却候義等於有之には當人は勿論親類組合村役人迄可爲曲事事

一田畑山林等永代賣渡御停止候質地に入候は、年季は拾ヶ年を可限右證文之儀名主組頭五人組加印いたし可相極候質田畑を金主に爲作御年貢諸役は地主より出し候儀不可致内證相對を以不埒證文差入候歟又は切地坏に致候義決而不可致事

附御朱印寺社領并什物等質に不可取事

一不依何事誓約を成し徒黨を結ひ強訴逃散之儀は別而嚴敷御制禁に候條前々被仰出之趣堅可相

守事

一跡式之儀存生之内親類組合村役人立會取極後日無違亂様可相心懸事

一御年貢皆濟無之以前穀物他所へ不可出之金納爲米賣候共納米丈ヶ上米拵置餘米を以可賣出事

一御年貢割付相渡候は、村中大小之百姓并入作之者迄不殘立會致披見無甲乙割合之相違無之趣割附之末に相記致印形且又銘々可納員數別帳記印形取之右寫人別に相渡一同疑心不相立様可致候村中小入用を御年貢に入不交様差別相立書損算違無之様入念可取調事

一御年貢米之儀証合精々相撰碎糝青米等無之様吟味いたし舛目缺減無之様斗立繩俵等入念都而大切に可相心得事

附中札に國郡村名年號月米主舛取名主組頭名印いたし米見御足輕印形を受差札は竹に而表は何御年貢米何國何郡何村誰納裏に貫目書記し可申候尤大豆も右同様に可相心得事

一御年貢を始諸上納物名主に取立候節帳面に納員數相記納主之印形取之名主方より受取書可相渡候手形通帳渡置候は、扣帳に押切印形致置後日出入無之様可致事

一小物成運上物之内年々増減有之分は不及申年期受負物は年季明候は、跡受之儀其時々可訴出事一人足扶持米其外被下物有之節當座に割渡受取印形可差置候惣而差繼勘定不可致事

一村方年中之諸役小入用等多分不相懸様名主組頭急度心を可用可取斗候尤入用之度毎帳面に書記し立會候者共印形可致事

一他所に罷越二三夜も泊り候程之儀は組合村役人の相斷可罷出候他國に奉公稼又は神社佛閣巡禮

或は用向に而罷出候節名主組頭は勿論平百姓に而も訴出可受差圖候且又
 公邊御奉行所其外他之御役所罷出候は、其子細委敷申立添簡を以可罷出候尤歸村之上御用之
 次第以書付相届可申候都而他之御役所書面差出候は、寫を以可届出事
 一 出家社人山伏行人道心者其外非人躰之もの迄常々遂吟味胡亂成者村内に不可差置事
 附堂社山林等に胡亂成者隱忍候は、急度相糺品に寄差押可訴出若立去候は、跡を慕ひ落着所
 相届早速可訴出事

- 一 諸色直段其時々所相場を以致賣買猥高利を貪へからざる事
- 一 衣食住不可過分限衣類之儀百姓は布木綿可用之名主組頭妻子たりとも百姓に不似合衣類不可着用家作之義も物好き目立候普請不可致都而花麗奢ケ間敷儀決而不可致事
- 一 附食物は勿論其外諸色何程潤澤に候共猥に費さす凶年饑歲之手當に貯候様可心懸事
- 一 門扉庇等之普請は往古檢地之節致高請候百姓之外不可致縱令右高請百姓之分家親類たり共都而
 在來は格別親規不可致事
- 一 聲取娶取之祝儀分限々輕く取斗奢ケ間敷義不可致大勢相集大酒亂舞停止之此外諸祝儀所により
 仕來を以取斗候共可成丈ケ輕く可致事
- 一 附聲取娶取之節石打又は酒をねだり吞其外不法之義無之様可致候若右躰之儀於有之は急度
 可申付事
- 一 通船之儀川船御役所浦賀御番所御定之趣急度相守可申事

一 印形之儀宗門帳五人組帳に押候外別判所持不可致若子細有之印形替候は、名主組頭百姓代は役
 所相届印鑑可差出候平百姓は名主組頭相可相斷事

附銘之印形を名主組頭方不可預置事

- 一 御年貢筋之儀は不及申金銀米錢其外何品に而も書付なしに取引致間敷事
- 一 名前相改候は、名主組頭は役所相届可申候平百姓は村役人相斷宗門帳五人組帳々相記置可
 申事
- 一 鉄炮之儀獵師筒威筒免許之外不可致所持候若隱鉄炮於致所持は急度咎可申付候たとひ免許たり
 共持主之外親子兄弟に而も余人の貸候儀一切不可致事
- 一 鶴白鳥取候儀御停止に候若鶴白鳥賣買いたす者有之は可訴出事
- 一 街道筋は不及申に在るに而も
- 一 御朱印御證文人馬は勿論都而先觸有之往來之人馬不限晝夜無遲滯差出旅人難儀無之様可致候助
 合村々人馬觸當候義村役人致吟味猥に觸當申間敷候先觸無之人馬斷有之歟或は賃錢不相拂罷
 通候者於有之は名主組頭立會得と相糺怪敷躰に候は、差押置早々可訴出事
- 一 惣而武士の對し慮外不可致かふり物をととり下駄足駄をぬき馬に而乘候は、おり候而可通候無禮
 不法之儀無之様可致事
- 一 村中申合晝夜火之用心第一入念可申候若出火有之は火消道具を持早速馳着精力を盡し可消防之
 鎮火之上出火之始末燒失之家數取調可訴出事

一 川筋之村に洪水之時堤川除圍候節は貝を吹立可申候十五歳以上六拾歳以下之男不殘罷出精可相防候若不出合もの有之は村役人に而相糺品に寄可申立事

一 海邊附村に浦御高札之趣彌相守海上往來之船難風に逢漂流罷有候は、早速助船差出乗組之もの共厚介抱いたし船中荷物無紛失様大切に相守早可訴出候萬一欲心を以船寄場惡敷所にまねきを立又は簞を焚破船に及はせ荷物等奪取候類於有之は當人共は勿論村役人迄可爲曲事事

附破船又は荷打等に而何品に不限海岸に流寄候は、取揚置早速可訴出候若隱置後日於相顯には急度可申付事

一 往來之輩若煩ひ候は、村役人立會早速醫療を加ひ食物等入念與へ看病いたし懷中に往來手形無之哉否相糺可訴出病人早速快氣無之在所に歸り度候得共路用貯無之送届吳候様申聞候は、書付取之其段訴出差圖を受可取斗候若病養も不加内にて而送出候儀於有之は急度可申付候尤右病人致死去候は、猶更早速可訴出事

一 村に地内に變死人倒死人有之は其所を不替其もの、雜物村役人立會相改番人附置早速可訴出候手負之もの惣而不慮之義出來候は、右同然可申出事

一 火附盜賊惡黨者見付次第搦捕之若又手に難及時は所之もの共取圍置可訴出候たとひ同類たり共其罪をゆるし御褒美被下其上怨を不成様可申付事

附盜賊忍入取逃候は、被盜候品に其始末委細可訴出事

一 喧嘩口論制禁之若其事有之時は名主組頭立會取鎮大勢不可出會候人を殺候もの有之は搦捕之早速可訴出事

一 可訴出若逃去候は、跡を慕ひ落着處に急度相斷搦置之其旨可訴出事

一 郷藏番晝夜無油斷相守火盜之用心可致候自然出火之節は其村は不及申近村より駈着大切に圍ひ可申事

一 博奕三笠附惣而賭之勝負前より嚴敷御制禁之上追々被仰出候趣堅可相守候取逃無盡五十人講百人講と名付博奕に似たる類何に而も不可致若相背候者有之歟右之宿又は取次等いたし候族於有之は早速可訴出候同類たり共其罪をゆるし御褒美被下其上訴人之知さる様に可申付事

一 新地之寺社建立堅御停止に候祠又は供養塔庚申塚石地藏之類たり共新規建立不可致若無據子細有之は訴出可任差圖事

一 神事祭禮佛事等輕可執行之新規之儀不可取立之たとへ仕來に而も品を替候歟致中絶候義は取立間敷若無據子細有之は訴出可任差圖事

附神佛開帳或は其所之神佛を他所に而開帳之節は訴出可受差圖候且又他所に佛像神輿等送り來候儀有之共不可受取之暫も不可差圖事(置カ)

一 歌舞妓操相撲見世者之類惣而人集之儀堅停止に候右躰之義渡世にいたし候ものは勿論旅商人河原もの抔決而爲立入申間敷前より村方仕來に而寺社寄進之爲致興行候儀は願書可任差圖事

附野郎遊女之類差置候儀は不及申に一夜之宿を爲致間敷事

一 人賣買堅御停止に候男女奉公人年季は十ヶ年可限候たとへ譜代に差置候共又は(壹)ヶ年限に相抱候共儘成證文取置可申事

附人請之儀猥に不可致候乍去親類或は出所能存慥成者に候は、名主五人組へ斷之上可相立候人受之儀に付及出入候共名主五人組立會急度埒明可申事

一其所に往來候浪人之外諸浪人不可差置候子細於有之は訴出可任差圖事

附浪人出家社人たり共田畑を作り候者は御年貢筋之儀は諸事百姓同然に可相心得事

一百姓之子輕き侍奉公に出其後在所引込候者はたとへ先主を合力受候共刀差候儀停止に候惣而旅の出候節刀を指待に似せ主人を名乗或は荷物に贋札を差旅行不可致事

一追放所拂又は帳外に相成候もの一切村内に不可差置自然令徘徊は差押置可訴出事

一行衛不知ものに一夜之宿をも不可貸他所之者致住居度旨相願候は、出所家職等之様子聞届先方村役人の相達慥成受人手形を取宗旨相改可願出候尤店借地借等差置候而も可爲同然候惣而他所

來候もの村役人の不申聞一宿たり共爲致間敷事

一村内之者立退又は欠落いたし候は、早く可訴出候且又他所を子細有之立退來候ものは親類たり共一切不可差置事

一縁組等に而他村を來候は、先方村役人を送り書付取之人別に入候義も先方の書面可差出候尤村内のもの他所に遺候節同然たるべく候惣而人別送り儀入念可取斗事

一諸職人有來之外親規相始候は、願出可任差圖候且又農間商之義仕來之分も連々相止候方一躰之御趣意に候條心得違無之様可致事

一酒造之儀從前々株高取持之外堅停止之勝手合を以讓渡候は、双方を願出可受差圖候無株隱造い

たすにあつては吟味之上急度可申付事

一捨子堅不可致若捨子有之は所之者致養育置早速可訴出事

一捨牛馬致へからす自然他所を離牛馬來り持主相知候は、持主并村役人を證文取之可相返何方之牛馬共不相知候は、村方に而飼置早く可訴出候若隱置後日於相顯は村役人迄可爲曲事

附牛馬賣買之儀出所聞糺慥成受人相立可致賣買事

一唐物拔荷又は紛敷品或は出所不知衣類諸道具又は門橋等之はつし金物之類其外何によらず不慥成賣物買取候義は勿論不可預置事

一風水早損等有之檢見相願候節は地主村役人立會致内見帳面仕立願書相添可差出候取得之義申立見分之上事實於致相違は地主は勿論村役人迄急度可申付事

一諸御役人召仕之ものに迄聊之品たり共音信禮物等堅不可致若借貸或は押買又は非分之儀申懸候歎其外不作法之義有之は品を可訴出候若隱置後日於相聞は村役人共可爲曲事

一諸御役人出在之節物入無之様隨分手輕に可取斗之休泊賄之義上下之無差別一汁一菜所有合之品を以取賄酒肴等不可出之并無用之人馬不可出事

附下々に迄調物いたし候は、相當之代錢可受取之若代錢不拂者有之は縱令聊之品たり共早速可申立事

一村中の相拘り候願筋は名主組頭百姓代調印を以可申立候其身一分之願は親類組合村役人加印寺社之分は名主組頭加印寺院は檀中も調印に而可申立事

一寺院住職并社人山伏代替り之節は願出可受差圖事
 一名主組頭役願之義惣百姓出會之上人撰いたし連印を以可申立候百姓代引替之節は村役人々届書可差出事

一御爲筋之儀は勿論御役人不正之義有之歟村役人々度々相願候而も不取次下々難儀に及候義等有之候は、其段名印相記目安箱に可相願候名印無之分は幾應相願候共其儘燒捨可申付且目安箱に不相願張訴投訴等いたし候は、不埒之仕形に付縱令名印有之候共是又其儘燒捨可申付事
 一父母え孝行主人に能奉公を盡候者并實体に而人之爲にも成候もの又は貞節之女有之は其行狀委細書付可訴出吟味之上夫々之御褒美可被下事
 右御條目之趣一々承知奉畏候年々宗門御改之節村中大小之百姓地借之もの迄不殘寄合村役人共々爲讀聞五人組印形可仕候萬一御々條之趣一事たり共相背候もの有之者五人組は不及申上村役人迄何様之御科にも可被 仰付候依之惣組合一同連印仕差上申處如件

房州安房郡坂井村 山崎惣右衛門

此主 梅吉

〔備考〕

- 一所在 原本、大倉精神文化研究所所藏。
- 一舊領主 未詳。(現、千葉縣安房郡西岬村酒井)
- 一形式并に種類 轉寫本。

(表書)

弘化三丙
五人組御改帳
四月

- 一箇條數 七十一箇條。
- 一内容并に系統 系統未詳。

弘化四年近江國蒲生郡松尾山村申渡條目 (第九十九)

條々々

一御領分中之者共奉重 公儀前々被 仰出候御法度之趣堅相守惣而御觸書等忘却不可仕且 御家之御法度は又堅相守可申事
 一村々御高札常々入念若損候か文字見え兼候は、早速可申出火事風烈等之節は猶更心を付可申事
 一村々五人組を可定置尤町場は家並在郷は最寄次第家五軒宛組合家内子供下人地借店借之者に至迄惡事不仕様常々組合中相互に改合若心得不宜者有之ば五人組は勿論村役人共も異見を加へ可

申其上心底不改に於ては代官所可訴出事

一 毎年宗門改帳三月迄に代官所へ可差出累年御制禁之切支丹宗門等不審成者は無之哉兼而御高札に有之趣相守人別入念可相改且召抱之下人等も得と相糺し寺證文取置可申事

附他領より引請候嫁養子入夫等の取組致候は其者之宗門得と遂吟味可申事

一 親に孝を盡し主人を敬候事は勿論之儀夫婦兄弟親類等睦敷致し諸人へ對し實意に可致惣而農業家業精出可申且孝心並都而奇特成者は代官所申出又不孝不實の者も可申出仍其品可及賞罰之沙汰之事

一 耕作之儀^(マ、)重もに精出田畑^(マ、)作不可仕若病氣等にて手後れ相成候時は親類組合之者共相互に助合可申事

一 御年貢之儀は米銀共日限相達次第遲滯不仕銀納は代官所相納米納は天津御藏所相納可申事

附米納之儀は米性隨分相撰び猶干立を能いたし^(マ、)粗又はくだけ米青米等取除け米拵格別に入念舛目俵拵等も^(マ、)龜略無之様相仕立都而後闇儀不可仕且御年貢皆濟不仕内は米一切他^(マ、)出し申間敷候万一利欲に迷ひ能米を引替惡敷米を納候は後日に相知候共當人は勿論村役人五人組迄も可爲曲事且^(マ、)半方又は三分一等銀納之ために米賣拂候は先づ米納之分丈^(マ、)けは上米を相撰置其餘米を拂可申事

一 御年貢免狀相渡候は大小之百姓入作之者迄も披見爲仕疑敷不存様廉直に割付爲相納庄屋より請取手形銘々相渡可申尤帳面拵置夫々得心の旨印形爲致置可申事

一 御年貢米銀若未進致し缺落仕候者有之候は五人組庄屋年寄可致辨納之且庄屋年寄之内引負候儀有之ば百姓共之内より早速代官所可告來致遠慮其儘に相濟し置候に於ては可爲越度事

一 郷藏雨漏不致様其外^(マ、)等入念修覆可仕御收納米之時節に相成候は番人付置猶無油斷村役人共も見廻り可申候若盜賊來り候か又は近邊出火有之候は兼て手筈申合置村役人は勿論村中之者共も早速に馳集り可申事

一 年中村入用之儀帳面に記し置翌春に至り惣百姓共^(マ、)得と見届させ疑敷義も無之に於ては庄屋年寄惣百姓連印いたし毎年三月中に右帳面寫共貳冊代官所にて押切印形之上壹冊は留置壹冊は庄屋^(マ、)可下ヶ渡事

一 郷方懸り之役人音物賄賂ヶ間敷儀堅仕間敷候然上は右入用杯と唱へ惣百姓共へ疑敷出銀割懸申間敷候且役人出郷之節賄賂之儀其所有合の品を以取賄一汁一菜之外馳走ヶ間敷儀一切可爲無用事

附右役人之内若心得違の義申懸村方及迷惑候様之儀有之ば其趣無遠慮郡奉行所可申出事

一 庄屋年寄之儀は御年貢取立納方等之儀重もに入念可取扱役前に候へば別而正直實意を専らにいたし私欲ヶ間敷事は勿論惣而疑ひを不請様物每正路に致し上を重じ惣百姓共^(マ、)に憐みを加へ極難ものへは猶更慈悲を施し可申且百姓共之儀も物每正路實躰にいたし御年貢納之儀第一に相心得庄屋年寄共申間候義相背申間敷事

一新規之運上物有之ば代官所可申出事

一御年貢米は勿論惣而金銀米錢印形付之手形無之しては取引仕間敷候
 一印形之儀籠略に心得申間敷候宗門帳五人組帳の押置候を證にいたし相用ひ可申別印形拵置申間敷候無據改候義有之ば庄屋年寄は代官所の相斷印鑑可差出平百姓共は庄屋方の印鑑差出可相斷且名を改候はゞ是又其心得可有之事

附御用にて罷出候節印形無失念可持出事

一水除其外共諸普請人足賃夫扶持米等從上被下候節明白に割渡立繼勘定には一切仕間敷候且諸代米之儀も同様可相心得事

一田畑荒し置べからず永荒場起返切添地新開所等有之ば早速可申出隱置後日相知候はゞ庄屋年寄可爲越度事

附永荒場起返可相成地所持主之方に難及所は村中助合可起返其上難出來所は可申出事

一堀を埋又は道を狭め秣場林際等切添田畑屋敷地等不可仕並新規之道を付間敷候無據子細有之ば其旨代官所の申出可請差圖事

一用水懸引之儀先規之例を以常々申合置渴水之節爭論無之様可仕事

一堤川除等常々心懸霖雨之節切所不出來様手入いたし置且出水之節は村中之者出合猶更精入可圍之事

附惡水吐ケ用水堀小溝迄も年々浚方之儀近村申合無滯様可仕事

一御普請所道橋等籠末無之様心を付可申若損所出來候はゞ早々代官所の可申出候且村方普請に致

來候場所往來之差支に不相成様常々心懸修覆可仕事

一往來筋並木常々大切に相心得籠略に不可仕年々松苗植繼候様可仕事

附往來筋請々之丁場掃除道造り等入念可申事

一御林之竹木伐採すべからず他の者不立入様村中之者心を付可申事

附村持百姓持之林又は屋敷近邊之立木に候とも何木によらず大木之儀は猥に不可伐之無據子細有之ば其旨代官所の申出可任差圖事

一持高之内分家等に分け遣度候共高は拾石町歩は壹町より少くは分け申間敷定に候殘高も右定より少くは不可殘仍而は高は貳拾石町歩は貳町より少き高持にては分地不可仕事

一田畑山林屋敷等永代賣買之儀は御停止に候之間其旨堅可相心得若質地に入候はゞ十ヶ年を限り右質入中年貢諸役金主方にて相勤地主は其儀相勤間敷候且右質地證文に村役人之加印可取置其儀無之時は若及出入候とも不可取上且又村役人自身に質地を入候はゞ隣村役人の加印可取置事
 一男女衣類之儀庄屋初め身分格合有之者に候とも綿麻布相用之奢ヶ間敷着用堅仕間敷候且格合無之者共は猶更之儀半より帶袖口等に至迄一切絹類可爲無用事

附身分格合之者に候共割羽織着用仕間敷候且男女共乗物乗鞍に不可乘事

一惣而家作之儀分限を考奢ヶ間敷儀一切仕間敷事

一智取嫁取之儀身分相應之者を取組着用諸道具等都而奢ヶ間敷義堅仕間敷候且何事に不寄祝儀之振舞輕く可致縱令一代之内廉立候振舞に候共一汁三菜に不可過事

一葬式之節野酒一切用ひ間敷事

附齋非時廉立候節たり共一汁三菜に不可過事

一常々凶年之節之難儀を深く相考惣而穀物不費様大切に可致縱令豊作に候共心ゆるみ不申様家内
中申合雜穀たり共貯置候之儀心懸け可申事

一惣而跡式之儀末最(期カ)に至り筋違之遺言等不可致存生之内親類共之遂相談庄屋年寄五人組等立會に
て書付置後日出入無之様可仕縱令實子たり共不孝不實之者にて人の異見をも不相用ものに候は
ば其趣を以得と相談之上相應の養子に可仕事

附遺跡は親之遺言次第たるべし若疑敷義も有之ば村役人五人組等立會相糺し故障に不相成様
取扱尤代官所之可申出事

一常々火之元可入念若出火有之候は、郷中之者共銘々火消道具を持早速馳付消留可申候仍而は兼
々火消道具無油斷用意致置可申事

附在郷の出火は兎角灰小屋より事起り候間灰を入候節別而心を付可申毎月丑の日には惣而家
内より灰を外へ出さぬ事を申教有之候間兼而其心得可有之事

一若盜賊忍入候は、被盜取候品委細書付代官所へ可注進縱令は這入候迄にて何も被盜取候儀は無
之共其様子可申届且盜人は勿論被盜取候品有所相知候は、是又早速可訴出事

一在々所々にて若惡黨もの立入候時は郷中之者共早速出合搦捕之代官所之可告來其節之品に寄御
褒美可被下之且堂宮山林等に籠り居候を見出候は、是又搦捕可注進右兩様之節万一捕逃し候は

ば跡を慕ひ落着所へ申斷搦候様可致若見遁しに致に於ては後日に相聞候共可爲越度事

一何者に不寄人をあやめ候もの有之ば郷中之者共早速出合其者を留置代官所之可注進自然遁去候
は、是又跡を慕ひ落着所之申斷押置可告來理不盡に打擲杯仕間敷候

一他所より欠落者有之追手之者來り候は、其子細委敷相尋代官所之可申出若討留か搦捕候に於て
は其所に押置早々可訴出事

一村内にて喧嘩口論は勿論都而故障事有之時は庄屋年寄五人組其外長立之者等出合理非を能々辨
別いたし無依怙最負事穩に可取扱若殺害人自害人等有之節は不及申惣而事立候儀有之ば早速代
官所之注進可仕事

附何事に不寄爭論之節手物を不可持出惣而荷擔不可致若右に相背候者有之ば其科本人より重
かるべき事

一出火出水盜賊惡黨者等有之節之手筭兼而村々申合置鳴を立候は、老人子供之外郷中之者共早速
馳付相互に働可申若其場へ不出者有之ば村役人共吟味を遂代官所之可申出事

一在中にて若物騒敷儀有之節は締り能場所へ番屋を建て村中申合晝夜順番いたし怪敷者來り候は
ば捕置代官所之注進可仕事

一惣而結徒黨企公事候もの有之ば御大法之可爲御仕置若無據次第にて訴訟之儀有之ば當人々村役
人五人組差添双方共五三人づゝに不可過差圖無之もの押而多人數於罷出は不糺理非最初に罷出
候もの可爲曲事且徒黨強訴逃散等之儀に付ては御高札之趣彌堅可相守事

附吟味中落着を不待若 公邊御奉行所罷出候か又は筋違之御役所等罷出候者有之ば是又
可爲曲事且荷擔之者有之ば其科本人より重かるべき事

一當御領分之儀は御料御私領御知行所等入會多之場所に候條村役人を初何れも常々別而相慎御領
所は不及申他御領に對し公事出入は勿論都而故障ケ間敷事無之様可仕且御相給村又は山野秣場
等入會に相成居候村方は猶更深く可相心得若他御領主公事出入出來^(マ)湧候時は品に寄最初之程は
至而聊之心得違より事起り候義に候共追々差縫れに及び候時は縱令其事には勝を取候共手間隙
を費し候而已ならず無益之入用も余分相懸り夫がために一村潰にも可及程之次第に成行候事間
間有之義に候へば右等之趣何れも厚く相心得居常々思慮深く相慎可申事

一博奕賭業之諸勝負一切御停止に候若相背候もの有之ば當人は勿論宿致候者も御仕置被 仰付所
役人五人組迄も急度過怠可被仰付候條常々堅相守不絶村中相改其證據無之共若風聞不宜者にて
も有之ば代官所可告來事

一 人賣買似藥毒藥種之賣買似辨似秤等之儀兼而御制禁之趣彌堅可相守事

一 男女奉公人之儀年季は十年を限可申候且譜代に召抱置候共又は一ヶ年限に抱候共懽成受人可取
置事

一 附人請之儀猥に立申間敷候右は出所身元之様子懽成者に候はゞ村役人五人組も相斷候上受
に立可申事

一 村々隱賣女堅差置申間敷事

一 捨子捨馬堅仕間敷候若他所より捨子致候はゞ村中にて養育いたし早速代官所可告來貫請度旨
申者有之ば其もの身元等様子得と承糺し相伺候上可任差圖内分にて遣し候義堅仕間敷事

一 放牛馬若他村より來候はゞ絆ぎ置村役人申出持主方可相返尤先方より手形取置可申候且牛
馬賣買之儀出所不正之取遣不可仕懽なる受人相立賣買可仕事

附馬之筋を延候儀仕間敷候

一 鐵砲之儀願相濟候獵師筒又は威筒之外は所持仕間敷候右等之筒たり共御停止場は勿論他御領に
ては一切相用ひ申間敷候且貸借堅仕間敷候其者相果候はゞ代官所申出可受差圖事

一 附右之外に村内にて鐵炮所持之者有之ば早々可告來若隱置後日相知候はゞ村役人五人組可爲
曲事事

一 獵師之外鳥獸一切不可取獵師たり其他領へは堅入込間敷事且鶴白鳥之類取候儀御停止に候若村
方にて取候て賣買いたし候者有之ば早速代官所可訴出事

一 川殺生之儀は勿論溜池堀等にての殺生も一切可爲無用尤兼而渡世にいたし候もの有之ば其旨代
官所申出可請差圖事

一 生類たり共憐み申べし不實不仁なる儀一切仕間敷事

一 御免無之もの自儘に帶刀仕間敷候若侍奉公致し其後村内罷歸り候もの有之縱令先主より合力
扶持方等請候共刀差し候儀は不可仕事

一 附村役人初頭立候もの差候脇差たり共壹尺五寸より長き品は用間敷事

- 一 御朱印地之田畑什物は勿論都而寺社付之田畑品物等一切質に取申間敷事
- 一 衣類腰物又ははつしかな物類其外何品によらず出所不正之品買取候儀は勿論質に取又は預り置候義も堅仕間敷候且出所相知れ候品に候共請人無之質物一切取申間敷事
- 一 金銀米錢高利之貸借堅仕間敷候事
- 一 諸色共高直之賣買堅仕間敷事
- 一 前々有來候酒造稼之外新規之酒造一切仕間敷事
- 一 有來之堂社修覆は格別新規建立不可仕事
- 一 相撲狂言芝居見せ物花火之類村方費なる儀一切村内にて爲仕申間敷候若他之村方より境目紛敷場所にて興行之様子有之ば不相始以前早々代官所可訴出事
- 一 寺社奉加之儀分限不相應成事不可致且諸勸進物貫之類猥に村内へ立入せ申間敷事
- 一 在々所々役人之由申偽り怪敷者罷越金錢等ねだりヶ間敷事申懸け候者有之ば其所に押置早速代官所可訴出事
- 一 宿場之外は在郷にて旅人宿一夜たり共堅不可仕縱令宿場に候共惣而怪敷もの又は一人旅のものは宿貸申間敷候尤一人旅に候共飛脚のものは格別其外にても人柄慥成者と見受候はゞ様子得と相尋候上所役人の相斷一夜の宿は貸可申候若逗留候はゞ猶其旨役人の申出可請差圖事
- 一 附宿場之外に候共近邊に參詣所有之全其參詣之者斗前々より宿貸來候村方も有之ば代官所可村役人より兼而其譯申出置べし尤宿屋之作法相心得居宿可致旨可申付事

- 一 宿屋にて旅人相煩候節は隨分深切に養生之心を付べし若病氣重き様子に候はゞ早々所役人共へ申出役人共も實意に相心得來所行先等能々相尋置自然相果候はゞ立會之上荷物等封印致置早速代官所可訴出可任差圖事
- 一 於途中何によらず拾ひ物致候はゞ早速村役人へ可申出其主相知候はゞ相渡之證文取置可申候且其品不相知時は其品代官所可差出之且又書狀か書付の類に候はゞ竹にはさみ拾ひ候所可建置惣而拾ひ物不可隱置正直に於申出は依其趣御褒美可被下事
- 一 御領分中にて往來のもの相煩候躰を及見候はゞ早速程近き人家へ告知らせ深切に養生之心を付べし猶近邊の人家にても不人情之取扱仕間敷事
- 一 村内堂宮道路等に旅人行倒者有之ば村役人共立會其者之雜物相改委細に書付早速代官所可訴出可請差圖若疵請居候者に候はゞ猶更入念番人付置其旨可申出惣而内分にて取片付杯不可仕事
- 一 旅人病人村送りにて來り候はゞ無遲滯次村送之可申尤元送り出之村方役人印形付之添書無之候はゞ其旨相斷受取申間敷事
- 一 附村内にて旅人之病人有之節在所へ村送りに致吳候様其者申間候共往來手形所持致か其外にても慥成義有之ものは其儀書添送り出可申若又不慥成者に候はゞうかつに送り出申間敷候次村にて其儀に心付受取不申節は送り出候村役人不都束に相成候事ゆへ其心得可有之事
- 一 御領分中の者其他所罷越候節往來手形不持而は罷越間敷事に候間其節々村役人共申出代官所可願出若他所にて病氣付候か又は不慮の故障等有之節往來手形不持者は無宿者の取扱に相

成候間其旨可相心得事

一二六四

一男女共他所奉公には成丈出間敷候奉公致度候は、御領分内は有付候様可致若無據譯にて他所奉公に出る者有之は村役人の申出差圖次第に致すべし且年季は十ヶ年を限るべし若惡事いたし立戻り候は、其趣に寄代官所へ申出片時も差置申間敷事

一他所(者)村内は住居致度旨申候は、渡世方の様子先方よりの送り狀宗門等之儀得と相糺し疑敷儀も無之候は、慥成請人取候上差置候義は不苦候且所生之者に候共年久敷他所罷越居候者罷歸り村内住居爲致候は、右同様相糺可申尤兩様共其節々代官所へ申出可任差圖事
附諸浪人又は御構もの出家社行人同心者其外□□非人の類に至る迄常々村内吟味致し胡亂なる者は一切不可差置事

一在中立廻り候諸商人風躰に心を付或は陰陽師之類惣而怪敷相見候者は暫時も村内に不差置往還筋へ追出可申彌難心得躰に候は、近村へも告知らせ相互に油斷仕間敷事

一訴狀目安其外怪敷書物頼來り候者有之共調遣し申間敷候若左様之者有之ば來所行先得と相尋其旨代官所へ可告來事

一村内にて農業も不致渡世方の様子不審なるもの或ははか／＼敷家業も不致身分不相應之衣類など着用いたし渡世方不審なる者又は何商賣とも不相分不斷他行致渡世方不審成者等は無之哉其外無商賣無家業之者は無之哉村役人五人組常々心を配り其様子怪敷ものは代官所へ可申出事
一農業家業を鹿略にいたし或は大酒を好賭事遊藝等をすき身持不宜都而百姓に不似合之所業有之

者村内に罷在候ては若き者共之風儀を亂し村中のため不宜候間村役人五人組より精々心を付不相用者有之ば代官所へ可訴出事

一宿場並助郷村之儀道中御奉行所より御沙汰之趣堅相守可申御用宿繼は不及申早追囚人等來候時大切に相心得時刻不移即刻先き宿へ繼立可申其外 御朱印人馬は勿論藩中通行之節人馬無滯様早々繼立可申事

附宿役人初宿場之者共諸家方藩中之族並飛脚荷宰領等へ對し無禮不可仕且人足馬方等は其旨宿役人共より常々急度可申付事

一御傳馬宿の助郷村より人馬を寄候は、其日入用之人馬高問屋役人共能々相心得猥に人馬觸致間敷候且其宿之人馬を圍置自儘に得手勝手なる儀一切不可仕事

附助郷村之儀は人馬觸來候は、刻限無遲滯可出之若人馬割難心得義有之候共先づ人馬は無滯差出置後日其旨代官所へ可申出事

一御朱印又は御證文等も無之無賃にて人馬繼立通り候族有之ば得と様子相尋怪敷躰に相聞へ候はば其所に留置代官所へ可告來事

一宿場には無之候共公儀御用通り之節は大切に相心得晝夜に不限人馬無滯可差出且御急之配符等來り候は、是又同様相心得縱令刻付は無之候共時刻不移即刻次村へ繼送り可申事
附御家之御用通り並配符等も右に準じ等閑に仕間敷事

一在中にて往來之旅人賃人馬入用之時は御定之賃錢取之繼立可申御定無之所は最寄繼場之御定を

以道法割合相當之賃錢貫受可申過分之儀申懸間敷事

一 渡船場有之村方は往來之旅人無滯可相渡惣而怪我無之様入念可申旨渡守へ可申付事
附不案内に相見へ候旅人に候共定之外賃錢不可取惣而旅人の對し無禮不仕様可申付事

一 御領分中之者共途中は勿論何れの所にてても帶刀いたし候人の對し無禮不可仕惣而諸人に對し無作法無之様常々相慎可申事

附諸家方藩中の對し馬にて乘打仕間敷事

一 右ヶ條之寫此度村々庄屋共相渡置候間若相分り兼候者も有之ば庄屋年寄共より幾度も讀聞せ可申向後正月七月年に兩度づゝ其筋之役人廻村爲致村中之者共へ庄屋宅へ呼寄讀聞可申候條何れも常々合點致居心得違無之様可仕尤其度々請書印形可仕事
右之條々堅可相守之若相背候者有之におゐては可爲曲事者也

弘化四丁未年九月

郡奉行所

村々

庄屋
年寄共
惣百姓

前書御簡條之趣村中之者共一々奉承知畏候若相背候儀茂御座候はゞ如何様之曲事にも可被仰付候爲其庄屋年寄惣百姓共不殘連印御請書奉差上候處依而如件

〔松尾山村庄屋吉兵衛・年寄惣助・百姓代七右衛門並に高井作右衛門外五十三人連印〕

〔備考〕

- 一 所在 近江日野町誌、上、七七一頁。(日野町松尾内組共有文書)
- 一 舊領主 棚倉藩、松平周防守康爵領。(現、滋賀縣蒲生郡日野町松尾)
- 一 形式并に種類 連判原簿。
- 一 箇條數 八十二箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。

嘉永元年出羽國置賜郡一本柳村五人組御仕置帳 (第百)

(五人組法規集、五一二頁、所收)

〔備考〕

- 一 所在 原本、讀律書屋所藏。
- 一 舊領主 幕府領、米澤藩預。(現、山形縣東置賜郡屋代村一本柳)
- 一 形式并に種類 轉寫本。

(表書)

嘉永元年

出羽國 米澤御預所一本柳村五人組御仕置帳

置賜郡 米澤御預所一本柳村五人組御仕置帳

戊申四月吉祥日

一二六八

一箇條數 七十九箇條。
一内容并に系統 系統未詳。第三十二型と同一の箇條が、四十一箇條ある。但し配列は全く異つてゐる。

嘉永二年出羽國村山郡寒河江料五人組御仕置帳 (第百一・一號)

條々

- 一御高札之旨謹而可相守事
- 一追々布告する趣不可違背事
- 一邪宗門并怪異之宗法堅禁之然上者五人組互に穿鑿し不審之者有之者速に可申出若緩にして他於洩聞者五人組之ものも可爲越度事
- 一五人組之儀者家並最寄を以て組合せ親戚同様に親敷可相立事

附組内喧嘩口論其他故障出來之節者組頭へ届組頭取捌かたきときは庄屋へ相届可成丈は村内に而取治ひべし自然庄屋心にも不任時は可言上事

附他所人別に加り度願出つるものあらば出所産業等を聞糺し是迄の在所役人より送狀を取り人柄不審も無之請人等も有之は其書置願出聞届之上五人組へ加ふべし其儀なく不審者留置に於ては五人組の者可爲越度事

附他所人出稼に來るものも同斷是迄の在所役人の添書を取り人柄不審も無之請人等有之は可免滞居其儀なく不審者留置に於ては家主五人組共迄も可爲越度事

附他所々年限奉公人雇入るゝ時は篤と取糺し親元名前年齢等書記し庄屋へ可届出無其儀不審者留置に於ては主人可爲越度事

附他所へ轉居此地之人別を外れ度願出る者は組合庄屋旨趣を詳に聞糺し道理至極の義あらば其段願出聞届の上庄屋より送狀差出し先方の人別に加へ此地之五人組を除くべき事

附年限を以て他所稼に出るも同斷庄屋々添書可差出尤歸期限を誤るべからず無據滞留いたすに於ては其趣速に可申越事

附組内死生縁組改名田畑山林賣買讓與其外廉立出入有之者其度々庄屋へ相届戸籍へ書記すべき事

一村内懇和し吉凶相助善を勧め惡を戒め共に渡世の安穩を謀るべき事

附孤獨癡疾無告の窮民者村内互に申合常に心を附け救助申出等遺漏沈滞不有之事

一二六九

附 火災盜難或者病氣に而産業を失者あらば組合村内心遣ひ産業に基かしむべし不任心事あらば速に可申出事

附 盜賊亂暴人水難火災等都而非常警の儀者五人組村内に而兼々申合置急度相救ふべき事

附 用事に而他國に出づる者其趣庄屋へ相届け庄屋より往來券を取り可申出然上者於他國病氣或は死去等之義相聞え親類組合の内又村役人の者罷越一躰可取捌事

附 諸事心得不宜身持放埒なるものあらは五人組村役人教諭を加へ善道に導くべし自然徒を構へ折檻を不用惡業相募るに於ては可訴出事

附 善行奇特者あらは申出つへし善人の出るは兼て示し方宜しき故にて其段組合の美事たり當人は勿論品により庄屋五人組のもの迄も可與褒美事

一 農業を不動不正の商賣を事とし高利を貪る事堅く誠る所なり諸事農の風を不失耕作精々可相勤事

附 有徳の百姓米穀を貸といへとも利息尋常たるべし貸家貸地過當の代料取間敷諸職人作料手間賃申合高價にすべからざる事

附 米穀商物締買或は申合高價にすべからざる事

附 盜物買取又は質に取置者は品物取あげ申付べし盜物と知り乍ら買請又は質に取者は答を可申付事

附 賈金銀其外惡たくみを以て人の目を掠める者あらば速可訴出たとひ一旦其事に携るといへとも其咎を免し遣すべし

一 博奕其外賭の諸勝負堅禁之若竊に取扱ふ者あらは可訴出隱置他より於洩聞者村役人五人組迄も可爲越度事

一 横死人自害人倒人等有之者番人附置可遂注進事

一 往來之者怪我病氣飢餓等に而相煩ひ候はし醫師へ見せ能々介抱いたし遣すべし若歩行も不相叶時は其者の在所承り村送にして送届歟又は迎を呼寄か無疎略可取扱致病死時は其者の道具等不紛失様に封印緋にして在所へ可掛合事

一 捨子墮胎禁制たり自然貧窮に而養育不能者可申出救助遣すべく(候)事

附 捨子有之節は村内申合致養育置可届出事

一 出所不慥者へ宿貸間敷都而旅人止宿を乞ふ時は在所其外聞糺し往來券相改所役人へ相届其上に而止宿致さすべし一己之了簡に而宿貸べからざる事

附 遊女野郎之類一切不可留置一夜の宿も貸間敷事

附 寺社堂宮に隠れ忍ぶ胡亂之者あらば近邊のもの申合致吟味搦捕可遂注進事

一 新規之社寺建立停止之事

附 猥りに僧尼となる事禁之自然理至極の義あらば願出の上可免許事

附佛名題目の石塔供養塚石地藏等建立の義向後停止たり理至極の義あらは願出の上可免許事
 一角力芝居狂言等私に興行致し間敷願出可請免許事
 一兼而免許無之場所に而遊女藝妓等不抱置事

附百姓の妻娘共三味線舞曲等遊藝を専とし遊客酒宴の席に立交り藝者遊女の見習する事堅可
 相誠事

(身カ)
 一自分に應せざる饗應事僭に驕奢之風儀相誠る處なり聳取嫁取養子取組出産年賀葬祭等之義華美
 虚飾を省き實意を旨とすべき事

一田畑不荒様にすべし水損等に而荒地となり起返し一家の力に不及所は村中互に助力すべし村中
 の力にも不及程の事は可申出事

一田畑を開き可然地は村々申合所役人立會秣場作道等の妨にも不相成者可申出新開可申付事
 附堀を埋溝筋道筋を附替又は堀堤等築時は村役人立會吟味之上可請差圖事

一溝川道橋堤防等大破に至らざる内可加修覆尤下に於ては普請等難成程之義は可申出洪水等の節

は村中出合可守護其儀も無之且常々修覆に怠り及大破(候は)其村役共之可爲無念事
 附川中寄洲等私に田畑を開き又は樹木を植付家屋を構ふる事停止之事

一御用人馬者申不及往來之者迄人馬繼立晝夜に不限無滯差出べく(候)事

一御林御立山之竹木枝葉たりとも御用之外採用停止之事
 一耕作秣場等之障に不相成土地見立樹木可植置事

一出役之面々權威を振ひ或は私曲を構へ無理を仕掛ける等の事あらば不隱可訴出末々家來下人等
 にても可爲同斷事

右條堅可相守是永世の制法より聊不可違背者也

嘉永二年十月

〔備考〕

一所 在 編年西村山郡史、卷之七、四二頁。

一舊領主 幕府領、代官吉田條太郎、寒河江役所管内。(現、山形縣西村山郡の内)

一形式并に種類 不明。

一箇條數 二十二箇條。

一内容并に系統 本帳及び明治三年郡中御制法伍組帳(第百一・二號)を第百一型とする。明治に入つてから
 は條文に増補を加へ(第百一・二號参照)、「諸事公論に決し云々」の箇條を追加して『郡中制法』と稱し
 東京府・京都府・大阪府・名古屋縣・滋賀縣・德島藩・上田藩をはじめとする諸藩府縣廳から刊行された。
 (『五人組制度論』五五頁参照)

一備考 本帳は末尾に「嘉永二年十月」と記されてゐるのでこゝに掲げたが、「布告」(第二條)「戸籍」
 (第四條末文)等の文言があり、内容は著しく明治的である。特に第一條「御高札之旨云々」は慶應三
 年王政復古の際の御高札でなければ生きて來ない。西村山郡史には「嘉永二年十月、村山郡寒河江料
 代官吉田條太郎五人組仕置帳ヲ頒ツ」との見出しが附せられ、山形縣史卷四、八六頁にも、郡史所載

のまゝの見出しで採られてゐるが、尙成立については再考の餘地がある。

明治三年武藏國入間郡大岱村郡中御制法伍組帳 (第百一・二號)

(五人組法規集、六五五頁、所收)

〔備考〕

- 一 所在 原本、東京府北多摩郡東村山村大岱、當麻喜重氏所藏。
- 一 舊領主 品川縣管内。(現、東京府北多摩郡東村山村大岱)
- 一 形式并に種類 連判原簿。
- 一 箇條數 二十五箇條。
- 一 内容并に系統 第百・一號、二十二箇條に新しく三箇條(本帳第十三・二十四・二十五條)及び第六條付(出所不知物云々)及び「人之賣買云々」、第十七條付(永荒之地云々)第十八條付(用水堤云々)第十九條付(堤防川岸云々)第二十三條付(廻郡之節云々)并びに末文(前書御條目之趣云々)を加へてゐる。特に第二十五條では王政御一新の趣意を徹底させようと務めてゐる。
- 一 備考 尙本帳の前書と同様のものが他の各藩府縣廳から『郡中制法』の名を以つて、一種の達し書として廣く板行せられてゐる。(『五人組制度論』五五頁参照)

嘉永三年近江國神崎郡木流村村中五人組掟書之事 (第百二)

村中五人組掟書之事

- 一 御公儀様御法度之趣大切に相守可申候猶又博奕諸勝負業之儀急度致間舖候事
- 一 村中無覆藏互に正路に御百姓大切相勵み可申候事
- 一 五人組之内は互に氣を附實意を以心得違出來不申候様急度示合可致候萬一心得違致し組内示合も聞不入候者御座候得者頭分相談之上火別に可致候事
- 一 五人組吟味汁として二月神事七日前十一月十八日年々右兩度組内打寄御上様御法度之件々者不及申村役人衆々被仰出之趣實意を以急度互に示合可致候事
- 一 諸事何事によらず組内頭分相談之上村役人衆方相届ケ出可申候事
- 一 何事に不寄組内願出候得者其組頭分方五人組頭衆寄合被下御相談之上御取斗被下候若又其節愚意申□候者へは村中火別に被成被下候共一言之申譯急度致し間舖候尙頭衆御寄合被下候節之諸入用如何程相懸り候共急度差出し可申候尤始末柄により願人相手方二ツ割に可致候其節難澁ケ間舖義申間舖候萬一心得違仕彼是申出諸入用差出し不申候者御座候へは如何程に御取斗被下候とも不苦候愚意申間舖候
- 右之件々村役人衆五人組頭分村中一同取究申候に付向後急度相守可申候仍之村中承印致候爲後日

仍而如件

嘉永三年

庚戌十一月

村役人衆中

五人組頭衆中

〔六十五人連署捺印〕

〔備考〕

- 一 所在 近江神崎郡志稿、上卷、六三七頁。〔木流共有文書〕
- 一 舊領主 未詳。〔現、滋賀縣神崎郡旭村木流〕
- 一 形式并に種類 連判原簿。
- 一 箇條數 六箇條。
- 一 内容并に系統 村内規約の一種である。

嘉永三年武藏國多摩郡下恩方村五人組書上帳 (第百三)

(五人組法規集、五三八頁、所收)

〔備考〕

- 一 所在 原本不明。謄寫本、讀律書屋所藏。
- 一 舊領主 旗本領。〔現、東京府南多摩郡恩方村下恩方〕
- 一 形式并に種類 庄屋控。
- 一 箇條數 二十一箇條。末尾に宗門改前書四箇條を附す。
- 一 内容并に系統 系統未詳。
- 一 備考 第二十一條に明らかに示されてゐる如く、本村はもと幕府領であつた所が旗本給地にされたもので、旗本某氏拜領後直ちに出した法規であると思はれる。

嘉永五年下野國都賀郡野尻村五人組御改書上帳 (第百四)

- 一 毎年被 仰出候五人組村中相改指上申候諸事御法度不相背様に常々組中吟味仕自然身持之作法悪敷者茂御座候は互に致異見承引不仕候は、急度可申上候致用捨隠置申間敷候事
- 一 一切支丹宗門前々御法度に付無懈怠今以相改村中に有之非人等に至迄致吟味候處不審成者壹人も無御座候若隱置他所より訴人御座候は、名主年寄五人組は不及申上一郷不殘御仕置に可被仰付事

附 御公儀様は不致書揚不受不施之法花宗無御座候自然他所より參候とも所に差置申間敷候事

一主從親子夫妻兄弟不及申親類等縁者出合睦敷向々に應して禮儀正敷相交り可申事
 一博奕かけ之諸勝負を好み又は於市町錢勝負跡々御法度に御座候間相背申間敷候殊に宿仕候者は重科に可被 仰付候若違背仕者御座候は、可申上候他所より御聞出候は、名主年寄五人組迄曲事に可被 仰付事
 一耕作商賣をも不仕又は遠國に罷越^(賭)欠之勝負をこのみ不似合衣類を着し不審成者御座候は、可申上候隱置其者惡事仕脇々相知候は、親子兄弟は不及申上名主年寄五人組迄曲事に可被 仰付候惣而他所に一夜泊に參候共其行所用事之子細名主年寄五人組迄相斷可罷越事
 一他所を參候浪人者一切抱置申間敷候但し由緒有之不叶者に御座候は、御斷申上親類縁者并其所之名主年寄の手形取差置可申事

附惡黨人欠落來候は村に留置早速可申上若見逃聞逃後日露顯仕候は、名主年寄五人組曲事に可被 仰付事

一不叶用事有之郷中の參候者は各別用事なくして他所を節々參候者留置申間敷候隱置候は、五人組詮儀仕可申上候油斷仕惡事出來候は、曲事可被 仰付事

一盜人為用心村境に番屋を作り番仕盜人出來申候時郷中は勿論隣村に而成共聲を立候は早速出合捕候様に常々心懸油斷不仕候自然見逃聞逃又は出合不申後日に相聞へ候共御穿鑿之上曲事に可被 仰付候盜人捕參候は路次之入用百姓不致迷惑候之様可被下由畏奉存候

附出家山伏虛無僧鉦打□□乞食非人等之宿仕者常々致吟味由緒有之而慥成者は各別不慥成る

もの一夜之宿をかし申間敷事

一村中に而夜盜に逢申者御座候は早速可申上候隱置申間敷事

一堂宮并山林にかゝり不審成者有之候は相搦御斷可申上候搦捕候儀難成候は行所迄慕參落着之所迄相斷罷歸其段可申上候事

一從已前鉄炮御免之者は各別其外在々百姓共鉄炮所持仕儀御法度に御座候間自然相背他所を借持者も有之候は可申上候若又晝夜をかきらす鉄炮を持山林に住者見付候は、早速御注進可仕候見逃聞逃脇々相知候は、村中之者曲事に可被 仰付事

附獵師筒并定御免玉込どし鉄炮又は月切どし鉄炮御免之者果候は、名主方迄早速鉄炮取上御改可申上候且又右之者共名を替候は、是又御斷可申上候事

一在々馬盜人御僉儀有之に付晝夜を不限不審成者馬を率通候者心を付あやしき躰見及候は、送り届け其所之名主方迄相斷可申上候尤慥成口入無之候は牛馬賣買仕間敷事

一盜人贓物之由届有之候は、早速名主年寄五人組立合穿鑿仕埒明可申候たとへ如何様之者申來候共疎略仕間敷候若油斷いたし其盜人於致欠落は名主年寄五人組曲事可被 仰付事

一通り之者にかきらす所之者に而も喧嘩口論仕候は早速出合取鎮め可申候若人を殺し人をあやめ立退き申者有之候は、所之者は勿論隣村に出合い留置可申候自然打拂のき候は、何方迄も慕行落着之所迄渡其所之名主年寄五人組迄申斷罷歸り可申候むさと打殺申間敷事

一手負之者村中を參候は留置様子可申上候又所之者あやまちに而も疵付參候は、五人組より早々

可申出候隱置申間敷事

一往來之旅人僧俗男女によらず於路次相煩歩行不叶臥罷在候は名主年寄出合近所之家に入置加看病其出所行所を尋先く申届相渡可申候左様之節は村中立合疎略仕間敷事

一道中雲助并宿なしもの跡く御制禁に付而左様之疑敷者に一夜之宿茂借し申間敷事

附親子兄弟親類縁者に而も他領より之儀は不及申上御領分之内たりとも他村に住居仕罷在候者其村を浪人仕來り申候共其段名主年寄五人組に相斷差圖次第に差置可申候指圖無之内には一宿之儀は不及申上少之間も宿貸し申間敷候まして他人之儀は不及申上候尤他所に而被拂申者は村之内にいか様之由緒有之來り候共勿論少之間も指置申間敷事

一事觸占算等之者何によらず住居不知者に一夜之儀は不及申上少之間も宿貸申間敷事

一不依何事一味同心之徒黨仕間敷候尤他所之親類縁者六ヶ敷出入仕出候刻一味同心仕 御公儀様并他領之御地頭に罷出理非申上間敷候事

但他領之儀は不及申上百姓仲ヶ間に而申分御座候共斷をつくし毛頭もかさつ成る儀仕間敷候尤人請并米金之請人に他領之者に請人に立申候は名主年寄に斷なくして立申間敷候尤親類縁者たりとも善惡共に他領之者と一味仕間敷事

一田畑永代賣買仕間敷候年季を定置可申事

一人賣買御法度之趣彌堅相守可申候召仕之下人男女年季之限り無之間譜代召抱申候共相對次第に可仕旨奉畏候事

附下人男女召仕候節宗旨を改寺證文取人主請人を吟味仕爲致請狀指置可申候事

一衣類之儀名主年寄は縮紬布木綿脇百姓は布木綿斗着し可申候縮布類襟帶等に茂仕間敷候別而大脇指一切指申間敷候名主年寄男女共に乗物に乗申間敷候事

附染色之儀紫紅梅に染申間敷候并馬之裝束結構に仕間敷候事

一從 御公儀様被 仰出候通新寺之儀は不及申上道心者に而茂新寺立置申間敷候惣而定り之外新規に立申間敷候事

一百姓共所持仕候牛馬常々相勞り可申候自然病馬老馬に罷成候共猶以育勞り可申候手前不成者には御地頭様を飼料可被下候段兼而被 仰付候故承届罷在候惣而生類憐之儀前より被 仰付候通相守申候尤鳥類畜類無益之殺生仕間敷候事

一百姓身に不應神事祭禮年忌之佛事仕間敷候佛神參詣之刻人を催し申間敷候不叶宿願有之候而遠方に參詣仕候者御役人衆に相斷指圖を請參詣可仕候尤悴共拔參堅致させ申間敷候事

一淨瑠璃歌舞岐勸進的勸進相撲其外不依何に見物仕らせ申間敷候諸勸進之者郷中むむさと入申間敷候事

附開帳并千日四十八夜等之念佛取立候共其段申上候而御差圖を請可申候事

一御公儀様御用之儀何方より申來候共遅く不仕御配符先く相届證文取置可申候若日付時付相違仕候は御穿鑿之上曲事に可被 仰付事

一常々公事を好大酒を呑喧嘩口論を仕出博奕をすぎ又馬工郎をすぎ耕作無情之者御座候は急度

可申上候隱置申間敷候事

一一八二

附親類之内不届者有之(久)舊離をきり申候は、其段御斷申上手形差上置可申候尤理不盡に百姓を所拂候は、名主年寄曲事に可被 仰付事

一請酒屋御吟味候節證文差上候通請酒商賣仕候者無御座候此以後御斷不申上酒商賣仕候者御座候は、名主年寄并五人組迄如何様にも可被 仰付候事

一百姓不應身借金借米爲致申間敷候御年貢皆濟以前若欠落仕候もの御座候は、その跡々御年貢急度相納其身も尋出可申候勿論田畑荒し申間敷候事

一田畑少之所茂荒申間敷候并永荒之内起し返候は早速御斷可申上候山野其外無構地新田畑に可罷成所茂御座候は、御注進申上御差圖次第開可申候事

附獨身之百姓病氣差合耕作不情に罷成或牛馬農具等不自由之者有之候は、其組中々助合いたし仕付可申事

一堤川除井堀道橋等之御普請御座候節人足不參仕間敷候并道橋惡敷所は御觸無御座候共往還之迷惑に不罷成候様入念作り可申候自然堰溝堤往來之道橋を狭め田畑仕出し亦は切添我儘に仕仲ケ間百姓之内田地早損水損爲致候は、曲事可被 仰付候事

一他領境は不及申上御領分一所之儀に御座候共村境之儀先規々之道敵等に至迄猥りに取崩し申間敷候并百姓仲ケ間出入有之候は名主年寄立合無依怙最員取扱埒明可申候不相濟儀に御座候は申上其年に埒明候様に可仕年經申出候は双方共に曲事可被 仰付候尤名主年寄同前に可被 仰付

候事

一百姓明田地御座候共致持添役儀潰申間敷候自然死失申候百姓田地御座候は村中立合致吟味家屋敷牛馬等迄書上任御差圖可申候御斷不申内に家壞取申間敷候若明田地御座候而百姓仕付候共門屋貸申候共尤店借り等差置申候共跡々之出所迄相斷不慥成者に御座候は、請人を相立手形取其上に而差置可申候事

附近年所に不罷在者古郷迄立歸り度由申候は其者召連參り前々之様子申上御穿鑿之上御差圖次第可仕事

一御年貢之儀御檢見之上御免定頂戴仕候刻名主年寄小百姓立合致拜見無筆之者には讀爲聞甲乙無之様に免割帳相認百姓不殘判形仕御尋之砌差上可申候納方米金之儀は不及申上邑中に而之入用度々入目帳に附置毎年極月勘定仕互に申分無之との致奥書惣百姓判形仕年々之帳名主方に預置以來申分御座候は、右之帳出可申候惣而米錢當座之取遣にも手形取かはし可申候證據無御座候儀後日に公事に仕候は、双方曲事に可被 仰付候事

一御代官御手代并御内衆迄何に而も音信禮物一切遣申間敷候自然名主方より左様之儀有之候由金銀米錢何によらず出之候割掛申候は、其段有躰に可申上候事

附御役所に而御手代御役人御足輕并御内衆并名主年寄非分之儀有之候は早々可申上候尤金銀米錢何によらず口入仕亦は借り申間敷候若左様之儀有之申上候共御取上被成間敷候事

一御林竹木之儀は不及申上百姓自分之立木四壁之竹木等迄自用に伐採申間敷候不叶入用之儀御座

候は、其品書付差上可請御差圖事

一往還馬繼之宿 御朱印傳馬之儀不及申上晝夜に不限無油斷相勤其外諸事 御高札之面毛頭茂相背申間敷候事

附壹人旅之者宿かり申候節は能く吟味仕あやしき躰に御座候者貸申間敷候其者申わけ御座候共名主年寄五人組の相達吟味之上に而貸可申候尤手負其外不審成もの少之内茂差置不申其上一切宿借り馬雇申候共貸申間敷候并出家山伏其外何者によらず女童を引連あやしき躰に而馬をかり宿を借り申候は、一切貸申間敷候是又其者申わけ御座候は、名主年寄五人組の相達吟味之上貸可申事

一御公儀様御用御通之衆は不及申上常く旅人に御座候共川増水之時分渡りかゝり及難儀候は、早速駆付其難を救ひ尤荷物等まで紛失不仕候様に情出可申事

附材木并薪其外何にも流來り候は取上少茂猥りに取散し不申指置後日に右之主來り其段斷申候上に而彌主に究申候は證文取置相渡可申候主來り不申候は其段申上御差圖を請可申事

一衣類刀脇指其外何によらず無證據物買申間敷候事

一男女共質物奉公人に他領の出し申候は其段御役人衆の相斷可請御差圖事

一百姓共娘を縁に付男子を何方に成共居跡に遣候歟又は手前を取申候共先を致吟味其段名主年寄の相斷差圖次第相究取組可申候無斷取組若六ヶ敷事出來候は急度曲事に可被 仰付事

附不縁に而罷歸候歟又は手前を返申候は其段名主年寄の相斷可申候斷置不申候而追而六ヶ敷

事に罷成候は、急度曲事に可被 仰付候尤名主年寄共之縁組之儀は御役人衆の相斷其上に而取組可申候事

一町在く共火之廻り念を入番屋作り番貳人宛替く夜中番屋を明け不申油斷不仕其上夜更に通る申者有之候者氣を付相改不審成者御座候は可申上候縦所之者に御座候共夜更に罷通候者様子相尋吟味可仕候自然致出火候は男女によらず早速火本にかけ付消可申候致身構遲參仕候者御座候は可申上候尤火事場におゐて何にても撈もの仕間敷候事

一五人組帳面に仕上げ申候印判取替申間敷候於紛失は早速相調御役人衆の其段御斷申上判鑑相渡置可申候事

右之條に儘に請合申候尤於名主所毎月無懈怠節句其外之遊日にも讀聞せ置御法度之通承届申候間少茂相背申間敷候若相背申におゐては其者之儀は不及申上五人組并名主年寄迄急度重科に可被 仰付候其時一言之御斷不申上尤御恨に奉存間敷候依之村中大小之百姓は不及申上水呑に至迄不殘、如斯判形仕差上申候爲後日仍如件

年 號 月 日

新	重	万	清
兵	藏	藏	七
衛	藏	藏	七
伴	政	與	甚
初右衛門	藤吉	左衛門	千代藏
藏	七	門	兵
儀	要	善	龜
兵	藏	兵	治
衛	藏	衛	郎

半兵衛 卯之八

茂右衛門

金左衛門

清右衛門

久左衛門

忠右衛門

源右衛門

清政右衛門

太米助

龜右衛門

與右衛門

金彌

伴右衛門

常八

善善兵衛

彌助

丈助

平藏

久治郎

久治郎

出來藏

久治郎

與

與

右之條々名主方に書留置村中御百姓大小共に壹人茂不殘爲讀聞爲致承知向後節句并毎月遊日に茂爲讀聞嚴相守申候様に可申聞候若御ヶ條之内相背申者有之御詮儀之上に而ヶ様之義は名主年寄々終々不申聞不存候由申上候は、名主年寄急度嚴科に可被 仰付候其時一言之御斷申上間敷候爲後日仍而如件

年號 月 日

年寄 誰 印
名主 誰 印

御領主様

御役所

〔備考〕

- 一 所在 原本、桑原三郎氏所藏。
- 一 舊領主 壬生藩。(現、栃木縣上都賀郡加蘇村野尻)
- 一 形式並に種類 村控。

(表書)

嘉永五子年三月
五人組御改書上帳扣
野州都賀郡
野尻村

- 一 箇條數 四十五箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。

嘉永五年上總國長柄郡櫻谷村五人組帳 (第百五)

條

- 一 御公儀様被 仰出候御條目之趣彌以御法度之儀不相背急度相慎可申候五人組之儀は大小之百姓借地水呑迄最寄次第家五軒宛組合可申候事
- 一 不知行衛壹人もの一夜成共宿借申間鋪候縦親類縁(者)たり共三ヶ年當地へ通路無之者一切留申間鋪候事
- 一 一家より五人組仲間不届成者壹人も無御座候若横合より不届者有之候様申出候は、我等罷出急度御申譯可仕候事
- 一 博奕惣而不依何事掛之諸勝負一切仕間敷候勿論博奕之宿□以仕間敷候事
- 一 他所へ諸用有之罷出候は、五人組先く在所申置罷越可申候尤遠方或は江戸に罷越可申候は、用事之子細先く在所逗留之日限五人組者不及申に名主組頭まで相届罷越可申候歸宅之節も相届可申候事
- 一 喧嘩口論令停止之自然有之は早く出向い可止爲手負者隱置申間敷候事
- 一 徒黨ケ間敷儀御法度有之候間何事に而も徒黨ケ間敷儀一切仕間鋪候事
- 一 狼藉之族有之則刃物に而不可出向棒持寄合をとむへく候事

一村中は勿論近所支配之場所往還之旅人相煩候歟又は酒酔いたし倒有之(は)其近邊之者共看病いたし能成候は、無相違其者在所送り届可申候事

一人請金請に無差立申間敷候事

一太途御用之趣無遅く相勤可申候事

一御年貢定之通り十一月十日限り急度皆済可仕候若皆済難義成者御座候は、五人組仲間にて吟味仕急度皆済可申上候事

一御年貢之砌御藏番之儀急度可仕候事

右之條も少も違背仕間敷候若違背仕候もの有之候は、其五人組迄如何様之曲事に而も可被 仰付候爲其村中立合吟味之上五人組相立一札申候依如件

(五人組三組・六人組一組、計四組二十一名連判あり。省略。)

櫻谷村

嘉永五年	百姓代	庄	太	夫
子	組	頭	三	郎
四	年	番	仁	右
月	後	見	長	右
日			衛	門
			藏	門
			清	藏
			仁	右
			右	衛
			長	右
			衛	門
			門	藏

(百姓代以外の村役人は何れも五人組に入らず)

〔備考〕

- 一 所在 原本、大倉精神文化研究所所藏。
- 一 舊領主 旗本、水野清六。(現、千葉縣長生郡日吉村櫻谷)
- 一 形式并に種類 連判原簿。

(表書)

嘉永五壬子之年

上總國長柄郡櫻谷村五人組帳

四月 日

一 箇條數 十三箇條。

一 内容并に系統 系統未詳。

嘉永六年下野國足利郡大岩村五人組帳 (第百六)

差上申證文之事

一 宗門并五人組人別御改毎年證文差上來申候彌當春被遂御吟味候に付大小之百姓立會明細致詮儀家持之儀は不及申上下人門屋借屋水吞百姓に至迄不殘連判仕差上申候五人組に不入申候者壹人茂無御座候其外□□乞食非人等所に住居仕候もの壹人茂不殘此帳面之末に記差上申候事

附此度仕上申候印形取替申間敷候若紛失仕改候は、新規之印形求候段百姓は名主の斷仕印鑑指出可申候名主組頭は 御役所に御届申上印鑑差出可申候自分之印判親子兄弟たりといふ共少く之内茂預置申間敷候縱御用之儀に而も名主組頭の印形渡置申間敷候且又名改候は、其御斷可申上事

一 さりしたん宗門御法度之趣其上御制札之通彌堅可相守之旨被 仰渡奉畏候村中男女非人等迄吟味仕候所御法度之宗門之者壹人茂無御座候若怪敷者御座候は、早速御注進可申上候隱置他所を露顯仕候は、名主五人組は不及申上一郷之者迄曲事可被 仰付候事

新嫁娶并下人召抱候節宗門入念相改可申候事

一 常く父母に孝行いたし夫婦兄弟親族之間睦敷召仕之者に至まて憐愍を加へ可申候不孝不義之もの有之候は、名主五人組を遂異見承引於不仕は急度可申上候親も亦子に對無慈^(悲)非成儀御座候は可申上候事

一 常く無油斷耕作に人情百姓に不似合遊興何に而茂仕間敷候若作物不情成もの有之候は、致異見於不相用は可申上候事

一 御年貢御免狀御渡被成候は、村中大小之百姓出作之者迄立會拜見仕相違無之様に割合百姓壹人

〔備考〕

- 一 所在 原本、大倉精神文化研究所所藏。
- 一 舊領主 旗本、水野清六。(現、千葉縣長生郡日吉村櫻谷)
- 一 形式并に種類 連判原簿。

(表書)

嘉永五壬子之年
上總國長柄郡櫻谷村五人組帳
四月 日

- 一 箇條數 十三箇條。
- 一 内容并に系統 系統未詳。

嘉永六年下野國足利郡大岩村五人組帳 (第百六)

差上申證文之事

一 宗門并五人組人別御改毎年證文差上來申候彌當春被遂御吟味候に付大小之百姓立會明細致詮儀家持之儀は不及申上下人門屋借屋水吞百姓に至迄不殘連判仕差上申候五人組に不入申候者壹人茂無御座候其外□□乞食非人等所に住居仕候もの壹人茂不殘此帳面之末に記差上申候事

附此度仕上申候印形取替申間敷候若紛失仕改候は、新規之印形求候段百姓は名主に斷仕印鑑指出可申候名主組頭は、御役所御届申上印鑑差出可申候自分之印判親子兄弟たりといふ共少く之内茂預置申間敷候縱御用之儀に而も名主組頭に印形渡置申間敷候且又名改候は、其御斷可申上事

一 さりしたん宗門御法度之趣其上御制札之通彌堅可相守之旨被 仰渡奉畏候村中男女非人等迄吟味仕候所御法度之宗門之者壹人茂無御座候若怪敷者御座候は、早速御注進可申上候隱置他所を露顯仕候は、名主五人組は不及申上一郷之者迄曲事可被 仰付候事

一 新嫁娶并下人召抱候節宗門入念相改可申候事

一 常々父母に孝行いたし夫婦兄弟親族之間睦敷召仕之者に至まて憐愍を加へ可申候不孝不義之もの有之候は、名主五人組を遂異見承引於不仕は急度可申上候親も亦子に對無慈非成儀御座候は可申上候事

一 常々無油斷耕作に人情百姓に不似合遊興何に而茂仕間敷候若作物不情成もの有之候は、致異見於不相用は可申上候事

一 御年貢御免狀御渡被成候は、村中大小之百姓出作之者迄立會拜見仕相違無之様に割合百姓壹人